

第一回

数と時間をとらえる

数字だけでなく、何を数え、どこで区切るかまで確かめる。

今日の中心漢字

日 今 代 始 兩 万 紀 隻

いっしょに覚える漢字

一	十	二	前	六	最
億	節	序	升	軒	幾

日付・数量・順序を表す語を確かめたあと、同じ数字でも単位や基準によって意味が変わることを考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
日	ニチ・ジツ・ひ・か	太陽／一日の単位 日光・毎日・休日・日程	両	リョウ	二つ／双方 両方・両手・両立・両面
今	コン・いま	この時／現在 今・今日・今後・今朝	万	マン・バン	一万／非常に多い 一万・万一・万能・万全
代	ダイ・タイ・かわる	かわる／時代の区切り 代わる・時代・世代・代表	紀	キ	時代を分けて記す 紀元・世紀・紀行・紀要
始	シ・はじめる・はじまる	物事を起こす 始める・始まる・開始・始業	隻	セキ	船などを数える語 一隻・二隻・数隻

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
一	イチ・イツ・ひと	一つ／最初 一つ・一度・統一	億	オク	一万の一万倍 一億・数億・億万
十	ジュウ・ジッ・とお	数の十 十人・十字・十分	節	セツ・ふし	区切り／つなぎ目 節目・季節・節約
二	ニ・ふた	数の二 二つ・二倍・二者	序	ジョ	順番／始まり 順序・序文・序列
前	ゼン・まえ	先／正面 前日・以前・前方	升	ショウ・ます	容量の単位／ます 一升・升・升目
六	ロク・む	数の六 六つ・六月・六角形	軒	ケン・のき	家を数える語／のき 一軒・数軒・軒先
最	サイ・もっとも	いちばん 最初・最大・最近	幾	キ・いく	いくつ／どれほど 幾つ・幾度・幾何

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「日程」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 行事などの日取りや予定。
- イ ほぼ同じ時期に生まれた人々。
- ウ 二つの事柄をともに成り立たせること。
- エ 百年を一つにまとめた期間。

(2) 「今後」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事を始めること。
- イ 少しも手落ちがないこと。
- ウ 船を一つと数える言い方。
- エ これから先。

(3) 「世代」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 二つの事柄をともに成り立たせること。
- イ 百年を一つにまとめた期間。
- ウ ほぼ同じ時期に生まれた人々。
- エ 行事などの日取りや予定。

(4) 「開始」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 少しも手落ちがないこと。
- イ 物事を始めること。
- ウ 船を一つと数える言い方。
- エ これから先。

(5) 「両立」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 二つの事柄をともに成り立たせること。
- イ 百年を一つにまとめた期間。
- ウ 行事などの日取りや予定。
- エ ほぼ同じ時期に生まれた人々。

(6) 「万全」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 船を一つと数える言い方。
- イ これから先。
- ウ 物事を始めること。
- エ 少しも手落ちがないこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 日程 万全 二者 今後 世紀 前日 世代 一隻 六角形 開始 統一 最初 両立 十分

(1) 校外学習の（ ）を、雨天時の案まで含めて組んだ。

(8) 霧の向こうから漁船が（ ）戻ってきた。

(2) この制度は（ ）も続ける方針だ。

(9) 報告書では、用語の表記を（ ）した。

(3) 同じ（ ）の作家でも、社会の見方は一人ずつ異なる。

(10) 全員分の水と食料は（ ）に用意されている。

(4) 受付は午前9時に（ ）する。

(11) 最終候補の（ ）を、実績と方針から比較した。

(5) 仕事と介護の（ ）を支える制度が求められている。

(12) 試合の（ ）は、練習を早めに切り上げた。

(6) 避難訓練に備え、準備を（ ）に整えた。

(13) 蜂の巣には（ ）の部屋が規則正しく並んでいる。

(7) この発明は20（ ）の暮らしを大きく変えた。

(14) （ ）に結論を示し、そのあとに理由を述べる。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「日程」と「時刻」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 時刻は行事の日取りや進み方、日程は一日の中の特定の時点を表しやすい。
- イ 日程は行事の日取りや進み方、時刻は一日の中の特定の時点を表しやすい。
- ウ 日程は「集合（ ）を十時にする」だけに、時刻は「（ ）を三日間に分ける」だけに使う。
- エ 「（ ）を三日間に分ける」と「集合（ ）を十時にする」では、日程と時刻を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「開始」と「最初」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 最初は物事を始める行為や時点、開始は並びや時間のいちばん初めを表す。
- イ 開始は「（ ）の一行を読む」だけに、最初は「受付を（ ）する」だけに使う。
- ウ 「受付を（ ）する」と「（ ）の一行を読む」では、開始と最初を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 開始は物事を始める行為や時点、最初は並びや時間のいちばん初めを表す。

(3) 「世紀」と「世代」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 世代は百年の期間、世紀はほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまりを表す。
- イ 世紀は百年の期間、世代はほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまりを表す。
- ウ 世紀は「親の（ ）」だけに、世代は「二十一（ ）」だけに使う。
- エ 「二十一（ ）」と「親の（ ）」では、世紀と世代を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「一隻」と「一軒」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 一軒は船などを、一隻は家や店などを数えるときに使う。
- イ 一隻は「店を（ ）訪ねる」だけに、一軒は「船が（ ）進む」だけに使う。
- ウ 「船が（ ）進む」と「店を（ ）訪ねる」では、一隻と一軒を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 一隻は船などを、一軒は家や店などを数えるときに使う。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）を三日間に分ける」 B「集合（B）を十時にする」

- ア A＝日程／B＝時刻 イ A＝時刻／B＝日程
- ウ A＝日程／B＝日程 エ A＝時刻／B＝時刻

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「二十一（A）」 B「親の（B）」

- ア A＝世代／B＝世紀 イ A＝世紀／B＝世代
- ウ A＝世紀／B＝世紀 エ A＝世代／B＝世代

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) キュウジツには、町の博物館をゆっくり見学した。 | (9) 赤い線が地図の中央でジュウジに交わっている。 |
| (2) 二つの資料をリョウホウとも読み、違いを比べた。 | (10) この建物は、イゼンは郵便局として使われていた。 |
| (3) 発表会はキョウの午後二時から始まる。 | (11) 方眼紙のマスメに合わせて、図形を描いた。 |
| (4) 一つで多くの作業に使えるバンノウな道具だ。 | (12) 北海道では、ロクガツにも涼しい日がある。 |
| (5) ジダイが変わると、同じ言葉の意味も変化する。 | (13) 会場に入れる人数のサイダイ値を確認した。 |
| (6) 西暦は、キリスト生誕をキゲンとして年を数える。 | (14) 卒業は、人生の大きなフシメの一つである。 |
| (7) 始業の鐘が鳴り、教室でシギョウ式が行われた。 | (15) 作業のジュンジョを守ると、間違いが減る。 |
| (8) 昔話では、貧しい若者がオクマン長者になる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 節目 () | (17) 順序 () | (18) 一升 () | (19) 一軒 () | (20) 幾度 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

数字の後ろにあるもの

夏休み前、悠人と真央の班は、町の資料館で開く「昔の暮らし展」の日程を作ることになった。案内には「八月六日、午前十時開始」とある。ところが、準備を始める時刻、見学を始める時刻、船着き場へ移る時刻が一枚に並び、どの時刻が何の始まりなのか分かりにくかった。

資料館の人は、二十世紀初めの町を写した地図を見せた。海には漁船が一隻、浜には店が十軒ほど描かれている。米一升の値段や、町の人口が一万を超えた年も記されていた。同じ数字でも、船・家・米・人では、後ろに置く単位が違う。

【予定表の点検】 いつか／何を始めるか／幾分かかかるか／前後の順序はどうか／両方を同じ欄に入れてよいか

真央は、数字を大きい順に並べれば見やすいと思っていた。しかし、人口の一億と時間の十分を比べても意味はない。何を数え、どの単位で区切った数字なのかを確かめなければ、大小だけでは判断できない。悠人は「数は、それだけで立っているわけではないんだ」と言った。

二人は、予定表を「準備」「見学」「移動」の三つの節に分けた。最初に始業前の準備、次に展示の見学、最後に船着き場への移動を置く。前日までに終える仕事も別にした。順序を統一すると、同時に行う二つの作業を両立できるかも見えやすくなった。

展示の説明には、「一万年前」「一世紀」「今から六十年前」など、幅の異なる時間が出てきた。先生は、紀元や世紀は長い歴史を区切り、日や分は身近な予定を区切ると話した。世代ごとに時間の感じ方も異なる。幾度も使う数字ほど、どの幅を示しているかを慎重に読む必要がある。

完成した表を見た資料館の人は、「これなら万全です」と言った。だが悠人は、今後の変更に備え、時刻の横に担当者と連絡先も書き加えた。予定表は、未来を完全に固定するものではなく、変化が起きたときに皆が動けるようにする道具でもある。

数字を正確に書くことは大切である。しかし、その数字が何を数え、どの時間を区切り、だれの行動に関わるのかまで示して初めて、数字は人に届く。真央は、数の学習が町の日を整えることにつながるのだと気づいた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「物事を並べる決まった順番」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「セイキ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「両立」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 二つの数字を足して一つにすること。

イ 古い単位をすべて新しくすること。

ウ 二つの事柄をともに成り立たせること。

エ 予定を一つだけ残してほかを消すこと。

(4) 「数は、それだけで立っているわけではない」とは、どのようなことか。

ア 数字は大きいほど、どんな場合にも重要だということ。

イ 数字は、何をどの単位で数えたかを確かめて初めて意味を正しく捉えられるということ。

ウ 数字を使うときは、単位を書かなくても内容が伝わるということ。

エ 昔の数字は現在の予定には使えないということ。

(5) 予定表を「準備」「見学」「移動」に分けたことで、何が分かりやすくなったか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「単位」「順序」の二語を用い、数字を正確に伝えるために必要なことを70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| (1) ア 行事などの日取りや予定。 | (4) イ 物事を始めること。 |
| (2) エ これから先。 | (5) ア 二つの事柄をともに成り立たせること。 |
| (3) ウ ほぼ同じ時期に生まれた人々。 | (6) エ 少しも手落ちがないこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 日程 | (8) 一隻 |
| (2) 今後 | (9) 統一 |
| (3) 世代 | (10) 十分 |
| (4) 開始 | (11) 二者 |
| (5) 両立 | (12) 前日 |
| (6) 万全 | (13) 六角形 |
| (7) 世紀 | (14) 最初 |

使い分けを確かめよう：日程は行事の日取りや進み方、時刻は一日の中の特定の時点を表しやすい。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 日程は行事の日取りや進み方、時刻は一日の中の特定の時点を表しやすい。

用例：日程を三日間に分ける／集合時刻を十時にする

(2) エ 開始は物事を始める行為や時点、最初は並びや時間のいちばん初めを表す。

用例：受付を開始する／最初の一行を読む

(3) イ 世紀は百年の期間、世代はほぼ同じ時期に生まれた人々のまとまりを表す。

用例：二十一世紀／親の世代

(4) エ 一隻は船などを、一軒は家や店などを数えるときに使う。

用例：船が一隻進む／店を一軒訪ねる

(5) ア A＝日程、B＝時刻。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝世紀、B＝世代。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 休日	(11) 升目
(2) 両方	(12) 六月
(3) 今日	(13) 最大
(4) 万能	(14) 節目
(5) 時代	(15) 順序
(6) 紀元	(16) ふしめ
(7) 始業	(17) じゅんじょ
(8) 億万	(18) いっしょう
(9) 十字	(19) いっけん
(10) 以前	(20) いくど

七 文章の中で考えよう

- (1) 順序 本文中では「順序」と表されている。
- (2) 世紀
- (3) ウ 二つの事柄をともに成り立たせること。
- (4) イ 数字は、何をどの単位で数えたかを確かめて初めて意味を正しく捉えられるということ。
- (5) 解答例（48 字）

各活動の開始時刻と前後の順序が整理され、同時に行う二つの作業を両立できるかも分かりやすくなった。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（73 字）

数字だけを示すのではなく、何を数える数か、どの単位で区切るかを明らかにする。さらに行動の順序や担当も添えれば、予定が変わっても皆が動きやすくなる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第二回

位置と方角

地図の記号と、実際に歩いた場所の感じを重ねて読む。

今日の中心漢字

中 京 島 南 崎 浜 丘 峰

いっしょに覚える漢字

上	田	建	央	陸	陰
岐	尾	邸	峡	涯	棟

方角・地形・建物を表す語を確かめたあと、地図の線だけでは見えない高低や危険を、歩いた記録から補う文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
中	チュウ・なか	内側／まんなか 中央・途中・中心・中身	崎	さき	海などへ突き出た所 崎・長崎・宮崎
京	キョウ・ケイ	都／大きな町 東京・京都・上京	浜	ヒン・はま	海や湖の岸 浜・浜辺・砂浜
島	トウ・しま	水に囲まれた陸地 島・半島・列島	丘	キュウ・おか	小高い土地 丘・丘陵・砂丘
南	ナン・ナ・みなみ	方角の南 南・南方・南北	峰	ホウ・みね	山の高い頂 峰・連峰・最高峰

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
上	ジョウ・うえ・あ がる	高い所／上がる 上・上方・上る	岐	キ	道などが分かれる 岐路・分岐・多岐
田	デン・た	水田／耕す土地 田・水田・田園	尾	ビ・お	末端／動物の尾 尾・尾根・末尾
建	ケン・コン・たて る	建物をつくる 建てる・建物・建設	邸	テイ	大きな住まい 邸宅・官邸・私邸
央	オウ	まんなか 中央・震央・月央	峡	キョウ	山や水路の狭い所 峡谷・海峡
陸	リク・ロク	水でない土地 陸・陸地・大陸	涯	ガイ	果て／長い時間の端 生涯・境涯・天涯
陰	ケン・けわしい	けわしい／危ない 険しい・陰悪・危険	棟	トウ・むね	建物を数える語／屋根 一棟・病棟・棟上げ

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「中心」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 三方を水に囲まれた陸地。
- イ 物事のまんなかや重要な部分。
- ウ 「崎」の字を含む地名。
- エ なだらかな丘が続く地形。

(2) 「上京」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 都、とくに東京へ行くこと。
- イ 南の方角。
- ウ 海や湖の水際に近い場所。
- エ いくつかの山の中で最も高い峰。

(3) 「半島」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 「崎」の字を含む地名。
- イ なだらかな丘が続く地形。
- ウ 物事のまんなかや重要な部分。
- エ 三方を水に囲まれた陸地。

(4) 「南方」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 海や湖の水際に近い場所。
- イ いくつかの山の中で最も高い峰。
- ウ 南の方角。
- エ 都、とくに東京へ行くこと。

(5) 「長崎」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア なだらかな丘が続く地形。
- イ 「崎」の字を含む地名。
- ウ 物事のまんなかや重要な部分。
- エ 三方を水に囲まれた陸地。

(6) 「浜辺」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 海や湖の水際に近い場所。
- イ いくつかの山の中で最も高い峰。
- ウ 都、とくに東京へ行くこと。
- エ 南の方角。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 中心 浜辺 建設 上京 丘陵 中央 半島 最高峰 陸地 南方 上方 危険 長崎 田園

(1) 駅を（ ）に商店街が広がっている。

(8) 富士山は日本の（ ）である。

(2) 進学のため、春から一人で（ ）した。

(9) 江戸の人々は、京都や大阪などを（ ）と呼んだ。

(3) 海に細長く突き出した（ ）の先端に灯台が立つ。

(10) 列車の窓の外に、のどかな（ ）が広がった。

(4) 渡り鳥の群れは、冬を越すため（ ）へ向かった。

(11) 駅前に新しい図書館を（ ）する計画が進んでいる。

(5) 修学旅行で（ ）の港と坂の町を歩いた。

(12) 広場の（ ）に大きな時計台がある。

(6) 夕暮れの（ ）に、波の音だけが響いていた。

(13) 長い航海の末、船員たちはようやく（ ）を見つけた。

(7) なだらかな（ ）に茶畑が続いている。

(14) 崖の近くは落石の（ ）があるため、立ち入れない。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「中心」と「中央」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 中心は重要な部分にも使い、中央は範囲や位置のまんなかを具体的に表しやすい。
- イ 中央は重要な部分にも使い、中心は範囲や位置のまんなかを具体的に表しやすい。
- ウ 中心は「広場の（ ）」だけに、中央は「議論の（ ）」だけに使う。
- エ 「議論の（ ）」と「広場の（ ）」では、中心と中央を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「丘」と「峰」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 峰は低くならかな小高い土地、丘は山の高い頂や連なる頂を表す。
- イ 丘は「（ ）に雪が残る」だけに、峰は「（ ）を越える」だけに使う。
- ウ 丘は低くならかな小高い土地、峰は山の高い頂や連なる頂を表す。
- エ 「（ ）を越える」と「（ ）に雪が残る」では、丘と峰を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「浜辺」と「海岸」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 浜辺は水際の身近な場所、海岸は海と陸が接する地帯を広く表しやすい。
- イ 海岸は水際の身近な場所、浜辺は海と陸が接する地帯を広く表しやすい。
- ウ 浜辺は「（ ）線を測る」だけに、海岸は「（ ）を歩く」だけに使う。
- エ 「（ ）を歩く」と「（ ）線を測る」では、浜辺と海岸を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「峡谷」と「海峡」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 海峡は山間の狭く深い谷、峡谷は陸地に挟まれた狭い海を表す。
- イ 峡谷は「（ ）を渡る船」だけに、海峡は「（ ）を流れる川」だけに使う。
- ウ 峡谷は山間の狭く深い谷、海峡は陸地に挟まれた狭い海を表す。
- エ 「（ ）を流れる川」と「（ ）を渡る船」では、峡谷と海峡を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を越える」 B「(B)に雪が残る」

- ア A=峰/B=丘 イ A=丘/B=丘
- ウ A=丘/B=峰 エ A=峰/B=峰

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を流れる川」 B「(B)を渡る船」

- ア A=海峡/B=峡谷 イ A=峡谷/B=峡谷
- ウ A=海峡/B=海峡 エ A=峡谷/B=海峡

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) 目的地へ向かうトチュウで、古い橋を見つけた。 | (9) 丘の上に、赤い屋根のタテモノが見える。 |
| (2) 夕方のスナハマに、波が静かに寄せていた。 | (10) 地震のシンオウに近い地域ほど、揺れが強かった。 |
| (3) 日本レットウを北から南へ地図でたどった。 | (11) 海を隔てた二つのタイリクを航路が結ぶ。 |
| (4) 海岸のサキユウは、風で少しずつ形を変える。 | (12) 話し合いがケンアクになり、進行役が休憩を入れた。 |
| (5) ナンボクに長い国では、地域によって気候が違う。 | (13) 山のオネに沿って、細い登山道が延びる。 |
| (6) 雪を頂いたレンボウが、遠くまで続いている。 | (14) 明治期に建てられたテイタクが公開された。 |
| (7) 進学か就職かというキロに立ち、将来を考えた。 | (15) 川は深いキョウコクの底を流れている。 |
| (8) 春になると、スイデンに水が張られる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 尾根 () | (17) 邸宅 () | (18) 峡谷 () | (19) 生涯 () | (20) 一棟 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

地図の余白を歩く

町の南にある丘へ行く道を調べるため、悠人と真央は古い地図と新しい地図を重ねた。中央の駅から浜辺までは太い線で示されているが、その先は細い道が途中で消えている。地図の上では近く見えても、実際には険しい坂があるらしい。

二人は駅を出て、田園の中を南方へ歩いた。建設中の建物を過ぎると道が二つに分岐し、片方は海へ、もう片方は尾根へ向かう。上方には連峰の最高峰が見えたが、目的の丘はその手前にある。

【歩いた記録】 中央駅―水田―分岐―旧邸宅―丘陵―砂浜／高低差と危険な場所も書き込む

海へ向かう道の先には小さな半島があり、対岸の島との間は狭い海峡になっていた。昔は一隻の渡し船が人を運んだという。長崎から来た職人が建てた一棟の倉も残り、壁には東京へ上京した家族の記録が貼られていた。

尾根の道を選ぶと、古い邸宅の裏から急に傾斜が強くなった。真央は地図に「危険」と赤で記した。少し先には雨水で削られた小さな峡谷があり、紙の地図だけでは、その深さも足元の滑りやすさも分からなかった。

丘の上で出会った人は、「私は生涯この土地に暮らしてきたが、道の感じは季節で変わる」と話した。夏は草が茂り、冬は風が強い。位置を示す線は同じでも、歩く人の年齢や天候によって、安全な道は異なるのである。

悠人は、地図の中心に目印を置くだけでは足りないと気づいた。陸地の形、坂の向き、浜からの距離、分岐の見え方を言葉で補う必要がある。二人は、地図の余白に歩いた時間と注意点を書き込み、別の班にも確かめてもらった。

地図は場所を縮めて見せる道具である。けれども、縮めるほど消える情報もある。方角と位置を正確に読み、実際に歩いた人の記録を重ねることで、地図は初めて、次に歩く人を支える案内になる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「道や物事が途中で分かれること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「チュウオウ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「尾根」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 海と陸が接する広い地帯。

イ 建物の屋根の内側だけを指す部分。

ウ 川の水が最も深くたまる場所。

エ 山の高い所が細長く続く部分。

(4) 「縮めるほど消える情報もある」とは、どのようなことか。

ア 地図では距離や位置を示せても、坂の陰しさや季節による歩きにくさまでは表しにくいということ。

イ 地図を小さく印刷すると、町そのものが狭くなるということ。

ウ 古い地図には方角が一切書かれていないということ。

エ 実際に歩けば、地図の情報はすべて不要になるということ。

(5) 二人が地図の余白に、歩いた時間と注意点を書き加えたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「分岐」「危険」の二語を用い、地図を案内として役立てる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) イ 物事のまんなかや重要な部分。 | (4) ウ 南の方角。 |
| (2) ア 都、とくに東京へ行くこと。 | (5) イ 「崎」の字を含む地名。 |
| (3) エ 三方を水に囲まれた陸地。 | (6) ア 海や湖の水際に近い場所。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 中心 | (8) 最高峰 |
| (2) 上京 | (9) 上方 |
| (3) 半島 | (10) 田園 |
| (4) 南方 | (11) 建設 |
| (5) 長崎 | (12) 中央 |
| (6) 浜辺 | (13) 陸地 |
| (7) 丘陵 | (14) 危険 |

使い分けを確かめよう：中心は重要な部分にも使い、中央は範囲や位置のまんなかを具体的に表しやすい。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 中心は重要な部分にも使い、中央は範囲や位置のまんなかを具体的に表しやすい。

用例：議論の中心／広場の中央

(2) ウ 丘は低くなだらかな小高い土地、峰は山の高い頂や連なる頂を表す。

用例：丘を越える／峰に雪が残る

(3) ア 浜辺は水際の身近な場所、海岸は海と陸が接する地帯を広く表しやすい。

用例：浜辺を歩く／海岸線を測る

(4) ウ 峡谷は山間の狭く深い谷、海峡は陸地に挟まれた狭い海を表す。

用例：峡谷を流れる川／海峡を渡る船

(5) ウ A＝丘、B＝峰。(2) の使い分けを参照。

(6) エ A＝峡谷、B＝海峡。(4) の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 途中	(11) 大陸
(2) 砂浜	(12) 陰悪
(3) 列島	(13) 尾根
(4) 砂丘	(14) 邸宅
(5) 南北	(15) 峡谷
(6) 連峰	(16) おね
(7) 岐路	(17) ていたく
(8) 水田	(18) きょうこく
(9) 建物	(19) しょうがい
(10) 震央	(20) いっとう

七 文章の中で考えよう

- (1) 分岐 本文中では「分岐」と表されている。
- (2) 中央
- (3) エ 山の高い所が細長く続く部分。
- (4) ア 地図では距離や位置を示せても、坂の陰しさや季節による歩きにくさまでは表しにくいということ。

(5) 解答例（48 字）

地図の線だけでは坂の陰しさや道の見え方が分からず、次に歩く人が安全な道を選べないことがあるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例（74 字）

方角や距離だけでなく、道が分岐する位置や坂の傾きも記す。実際に歩いて危険な場所と季節による変化を確かめ、その記録を地図の余白に補うことが大切である。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第三回

人と家族

呼び名や続柄だけで、一人の人を決めつけない。

今日の中心漢字

人 子 者 女 昆 叔 侶 婿

いっしょに覚える漢字

君	佐	児	包	娘	御
併	雄	倫	侍	倣	関※

家族・呼称・人との関係を表す語を確かめたあと、家系図に見える線と、実際の支え合いとの違いを考える文章を読みます。 ※再会漢字：関（第一冊第六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
人	ジン・ニン・ひと	ひと／人々 人・人物・人生・人間	昆	コン	仲間／兄弟 昆虫・昆弟
子	シ・ス・こ	こども／小さいもの 子・子ども・弟子・様子	叔	シュク	父母の年下のきょうだい 叔父・叔母
者	シャ・もの	ある人／もの 者・記者・若者・作者	侶	リョ	ともに行動する人 伴侶・僧侶
女	ジョ・ニョ・おんな	女性 女性・女子・女王	婿	セイ・むこ	結婚した娘の夫 婿・花婿・婿養子

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
君	クン・きみ	相手の呼び名／主君 君・君主・諸君	併	ヘイ・あわせる	一つに合わせる 併せる・合併・併用
佐	サ	助ける 補佐・佐官・大佐	雄	ユウ・お	おす／力強い 雄・英雄・雄大
児	ジ・ニ	こども 児童・幼児・孤児	倫	リン	人としての関係や道 倫理・人倫・倫常
包	ハウ・つつむ	中へ入れておおう 包む・包装・包容	侍	ジ・さむらい	仕える／武士 侍・侍女・侍従
娘	ジョウ・むすめ	女の子／自分の娘 娘・娘婿・一人娘	倣	ハウ・ならう	手本にしてまねる 倣う・模倣
御	ギョ・ゴ・おん	敬意を添える／治める 御礼・御飯・制御	関 ※	カン・せき・かかわる	再会：つながる／さえぎる 関わる・関係・関連

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「人物」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 年の若い人。
- イ 体が頭・胸・腹に分かれ、脚が六本ある動物。
- ウ ある人を性格や行動も含めて捉えたもの。
- エ 人生をともに歩む相手。

(2) 「子ども」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 女の人。
- イ 年少の人、または親から見た子。
- ウ 父母の弟、または父母の妹の夫。
- エ 結婚式を迎える男性。

(3) 「若者」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 年の若い人。
- イ 体が頭・胸・腹に分かれ、脚が六本ある動物。
- ウ 人生をともに歩む相手。
- エ ある人を性格や行動も含めて捉えたもの。

(4) 「女性」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 父母の弟、または父母の妹の夫。
- イ 結婚式を迎える男性。
- ウ 年少の人、または親から見た子。
- エ 女の人。

(5) 「昆虫」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人生をともに歩む相手。
- イ ある人を性格や行動も含めて捉えたもの。
- ウ 体が頭・胸・腹に分かれ、脚が六本ある動物。
- エ 年の若い人。

(6) 「叔父」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 結婚式を迎える男性。
- イ 父母の弟、または父母の妹の夫。
- ウ 年少の人、または親から見た子。
- エ 女の人。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 人物 叔父 児童 子ども 伴侶 包容 若者 花婿 一人娘 女性 諸君 御礼 昆虫 補佐

(1) その伝記は、歴史上の一人の（ ）を多面的に描いている。

(8) 披露宴で（ ）が来客に感謝を述べた。

(2) この催しは、大人も（ ）も一緒に参加できる。

(9) 校長は卒業生に「（ ）の前途を祝う」と語りかけた。

(3) 地域の（ ）が中心となり、祭りを再開した。

(10) 副隊長が隊長を（ ）し、現場をまとめた。

(4) この施設では、多くの（ ）が技術職として働いている。

(11) 小学校では全（ ）を対象に避難訓練を行った。

(5) 夏の草原で、羽の美しい（ ）を観察した。

(12) 異なる立場を受け止める（ ）力が、彼女にはある。

(6) 父の弟である（ ）が、週末に訪ねてきた。

(13) 祖父母は遠方で暮らす（ ）からの手紙を楽しみにしている。

(7) 長年の（ ）を失った悲しみに、皆が寄り添った。

(14) お世話になった方へ、改めて（ ）の品を届けた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「児童」と「子ども」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 子どもは制度や学校で用いる範囲のある呼び方、児童は日常で年少者を広く指す。
- イ 児童は「（ ）と話す」だけに、子どもは「（ ）館を利用する」だけに使う。
- ウ 「（ ）館を利用する」と「（ ）と話す」では、児童と子どもを意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 児童は制度や学校で用いる範囲のある呼び方、子どもは日常で年少者を広く指す。

(2) 「伴侶」と「友人」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 友人は人生や生活を長くともにする相手、伴侶は親しく交わる相手を広く表す。
- イ 伴侶は人生や生活を長くともにする相手、友人は親しく交わる相手を広く表す。
- ウ 伴侶は「（ ）に相談する」だけに、友人は「（ ）と暮らす」だけに使う。
- エ 「（ ）と暮らす」と「（ ）に相談する」では、伴侶と友人を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「婿」と「夫」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 夫は結婚した娘との関係や花婿を表し、婿は妻から見た配偶者を表す。
- イ 婿は「（ ）と相談する」だけに、夫は「娘（ ）を迎える」だけに使う。
- ウ 「娘（ ）を迎える」と「（ ）と相談する」では、婿と夫を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 婿は結婚した娘との関係や花婿を表し、夫は妻から見た配偶者を表す。

(4) 「模倣」と「参考」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 参考は形や方法をまねること、模倣は判断や工夫の手がかりにすることを表す。
- イ 模倣は形や方法をまねること、参考は判断や工夫の手がかりにすることを表す。
- ウ 模倣は「意見を（ ）にする」だけに、参考は「作品を（ ）する」だけに使う。
- エ 「作品を（ ）する」と「意見を（ ）にする」では、模倣と参考を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「娘（A）を迎える」 B「（B）と相談する」

- ア A=婿／B=夫 イ A=夫／B=婿
- ウ A=婿／B=婿 エ A=夫／B=夫

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）館を利用する」 B「（B）と話す」

- ア A=子ども／B=児童 イ A=児童／B=子ども
- ウ A=児童／B=児童 エ A=子ども／B=子ども

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 長いジンセイでは、立ち止まる時期もある。 | (9) 二つの町がガッペイし、新しい市が生まれた。 |
| (2) 職人のデシとなり、道具の扱いから学んだ。 | (10) 陸軍のサカンが、部隊へ命令を伝えた。 |
| (3) 幼いころ、近所に住むオバによく遊んでもらった。 | (11) ヨウジにも分かるよう、絵を使って説明した。 |
| (4) 新聞のキシヤが、住民へ取材をしていた。 | (12) 炊きたてのゴハンを、皆で食卓に運んだ。 |
| (5) 寺のソウリョから、地域の歴史を聞いた。 | (13) 民衆を救った人物は、後世にエイユウと呼ばれた。 |
| (6) 大会のジョシ百メートル走を観戦した。 | (14) 技術の利用をめぐるリンリ的な問題を考えた。 |
| (7) 家を継ぐため、彼はムコヨウシとして迎えられた。 | (15) 宮中で働くジジョの日記が史料として残っている。 |
| (8) 国を治めるクンシュの権限を、史料から調べた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| (16) 英雄 () | (17) 倫理 () | (18) 侍 () | (19) 模倣 () | (20) 関係 () |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

家系図にない線

町の聞き取り調査で、悠人と真央は家族の記録をまとめることになった。最初に渡された家系図には、親と子、叔父や叔母、娘と婿が線で結ばれている。だが先生は、「線があることと、実際にだれがだれを支えてきたかは同じではない」と話した。

二人が訪ねた女性は、若いころ東京で昆虫の研究をしていた。結婚後は伴侶と町へ戻り、一人娘を育てたという。娘の花婿も同じ家に住んだが、介護を主に担ったのは近所の友人と、遠くに住む叔父だった。

【聞き取りの約束】呼び名を決めつけない／本人が使う言葉を尊重する／関係の線だけで役割を推測しない

真央は「家族なら助けるのが当然ですか」と聞きかけ、言い直した。女性は、「家族にもできることとできないことがある。血のつながりがなくても、長く補佐してくれた人がいる」と答えた。人と人の関係は、家系図の内側だけに収まらない。

古いアルバムには、侍の姿を模倣した祭りの写真もあった。そこでは男性が英雄役、女性が世話役と決められていたが、今は児童も大人も役を選べる。昔の形をそのまま倣うのではなく、皆を包容できる形へ変えたのだという。

聞き取りの最後に、女性は「御礼を言いたい人は何人もいる」と話した。食事と配達を併用して支えた人、病院へ付き添った人、ただ話を聞いた人。それぞれの働きは違うが、どれも暮らしを支える大切な一部だった。

悠人は、君・娘・婿・叔父といった呼び名は、関係の一面を示す便利な言葉だと思った。しかし、その呼び名だけで人物の性格や役割まで決めると、本人の経験を見失う。記者のように話を聞く者にも、決めつけない姿勢が要る。倫理とは、決められた役割に押し込むことではなく、相手の言葉を確認する姿勢にも関わる。

二人は家系図とは別に、「支えたこと」を色の違う線で描いた。すると、家の外まで伸びる線がいくつも現れた。家族を学ぶことは、呼び名を覚えるだけでなく、人がどのような関係を結び、支え合ってきたかを見ることなのだ。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「二つ以上のもののつながり」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ハンリョ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「包容」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 違いも含めて受け入れること。

イ 役割を一つに固定して変えないこと。

ウ 家族の名前を順番に並べること。

エ 他の作品と同じ形だけを作ること。

(4) 「家系図にない線」とは、本文では何を表しているか。

ア 古い家系図から消えてしまった人の名前。

イ 祭りの写真に写った衣装の模様。

ウ 家の外へ続く道路や鉄道の位置。

エ 血縁や婚姻の線では表れない、友人や近所の人による支え合いの関係。

(5) 悠人が、呼び名だけで人物の役割まで決めてはいけなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「関係」「包容」の二語を用い、人や家族について聞き取るときの姿勢を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) ウ ある人を性格や行動も含めて捉えたもの。 | (4) エ 女の人。 |
| (2) イ 年少の人、または親から見た子。 | (5) ウ 体が頭・胸・腹に分かれ、脚が六本ある動物。 |
| (3) ア 年の若い人。 | (6) イ 父母の弟、または父母の妹の夫。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|----------|
| (1) 人物 | (8) 花婿 |
| (2) 子ども | (9) 諸君 |
| (3) 若者 | (10) 補佐 |
| (4) 女性 | (11) 児童 |
| (5) 昆虫 | (12) 包容 |
| (6) 叔父 | (13) 一人娘 |
| (7) 伴侶 | (14) 御礼 |

使い分けを確かめよう：児童は制度や学校で用いる範囲のある呼び方、子どもは日常で年少者を広く指す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 児童は制度や学校で用いる範囲のある呼び方、子どもは日常で年少者を広く指す。

用例：児童館を利用する／子どもと話す

(2) イ 伴侶は人生や生活を長くともにする相手、友人は親しく交わる相手を広く表す。

用例：伴侶と暮らす／友人に相談する

(3) エ 婿は結婚した娘との関係や花婿を表し、夫は妻から見た配偶者を表す。

用例：娘婿を迎える／夫と相談する

(4) イ 模倣は形や方法をまねること、参考は判断や工夫の手がかりにすることを表す。

用例：作品を模倣する／意見を参考にする

(5) ア A=婿、B=夫。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A=児童、B=子ども。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 人生	(11) 幼児
(2) 弟子	(12) 御飯
(3) 叔母	(13) 英雄
(4) 記者	(14) 倫理
(5) 僧侶	(15) 侍女
(6) 女子	(16) えいゆう
(7) 婿養子	(17) りんり
(8) 君主	(18) さむらい
(9) 合併	(19) もほう
(10) 佐官	(20) かんけい

七 文章の中で考えよう

- (1) 関係 本文中では「関係」と表されている。
- (2) 伴侶
- (3) ア 違いも含めて受け入れること。
- (4) エ 血縁や婚姻の線では表れない、友人や近所の人による支え合いの関係。
- (5) 解答例 (46 字)

呼び名は関係の一面しか示さず、実際にだれが支えたかや本人が選んだ役割を見失うことがあるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

家系図に示された関係だけで役割を推測せず、本人が使う呼び名と経験を確かめる。血縁の外にある支えも包容して記録すれば、その人の暮らしを丁寧に捉えられる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第四回

からだと健康

不調を一語で済ませず、場所・感覚・変化に分けて伝える。

今日の中心漢字

医 肉 病 傷 胆 胴 痘 喉

いっしょに覚える漢字

直	看	汗	脱	髪	牙
肖	拳	眉	眺	腎	唾

身体・病気・手当てを表す語を確かめたあと、体の状態を相手に正確に伝えるための「からだの地図」を考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
医 肉 病 傷	イ	病気を診て治す 医師・医学・医療	胆	タン	胆のう／思い切る心 胆のう・大胆・落胆
	ニク	からだの肉／食肉 肉・筋肉・肉体	胴	ドウ	体の中心部分 胴・胴体・胴囲
	ビョウ・ヘイ・や む	心身の具合が悪い 病気・病人・発病	痘	トウ	発疹が出る病気 水痘・種痘・天然痘
	ショウ・きず・い たむ	きずつく 傷・負傷・損傷	喉	コウ・のど	口の奥から首の内側 喉・咽喉・喉元

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
直 看 汗 脱 髪 牙	チョク・ジキ・た だす・なおす	まっすぐ／改める 直す・直接・正直	肖	ショウ	よく似る 肖像・肖像画・不肖
	カン	見守る／世話をする 看護・看病・看板	拳	ケン・こぶし	握った手 拳・拳法・拳銃
	カン・あせ	皮膚から出る水分 汗・発汗・冷汗	眉	ビ・まゆ	目の上の毛 眉・眉間・白眉
	ダツ・ぬぐ・ぬけ る	外す／抜け出す 脱ぐ・脱水・脱出	眺	チョウ・ながめる	遠くまで見る 眺める・眺望
	ハツ・かみ	頭に生える毛 髪・頭髮・散髪	腎	ジン	体内の水分を調整する器官 腎臓・腎炎
	ガ・ゲ・きば	動物の鋭い歯 牙・象牙・毒牙	唾	ダ・つば	口の中の液 唾・唾液・唾棄

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「医療」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 病気の症状が現れること。
- イ 思い切って行動する様子。
- ウ 水ぶくれのような発疹が出る感染症。
- エ 病気やけがを診て治すための働き。

(2) 「筋肉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア けがをすること。
- イ 頭や手足を除いた体の中心部分。
- ウ 体を動かしたり姿勢を保ったりする組織。
- エ 口の奥から食道や気管へ続く部分。

(3) 「発病」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 思い切って行動する様子。
- イ 病気の症状が現れること。
- ウ 水ぶくれのような発疹が出る感染症。
- エ 病気やけがを診て治すための働き。

(4) 「負傷」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア けがをすること。
- イ 頭や手足を除いた体の中心部分。
- ウ 口の奥から食道や気管へ続く部分。
- エ 体を動かしたり姿勢を保ったりする組織。

(5) 「大胆」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水ぶくれのような発疹が出る感染症。
- イ 病気やけがを診て治すための働き。
- ウ 病気の症状が現れること。
- エ 思い切って行動する様子。

(6) 「胴体」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 口の奥から食道や気管へ続く部分。
- イ 体を動かしたり姿勢を保ったりする組織。
- ウ 頭や手足を除いた体の中心部分。
- エ けがをすること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 医療 胴体 発汗 筋肉 水痘 脱水 発病 咽喉 頭髮 負傷 直接 象牙 大胆 看護

(1) 山間部では、地域（ ）を守る人材が不足している。

(8) 診察票に「（ ）の痛みが続く」と記入した。

(2) 運動の前後に体を伸ばすと、（ ）の負担を減らせる。

(9) 本人に（ ）会って、事情を確かめた。

(3) 旅先で突然（ ）し、予定を変更して療養した。

(10) 家族は交代で祖父の（ ）に当たった。

(4) 転倒して足を（ ）したが、骨に異常はなかった。

(11) 激しい運動で（ ）が増え、服が汗でぬれた。

(5) 彼女は古い慣習を改める（ ）な案を示した。

(12) 暑い日はこまめに水分を取り、（ ）を防ぐ。

(6) 魚の（ ）を支える骨の形を観察した。

(13) 画家は人物の（ ）の流れまで細かく描いた。

(7) 予防接種によって（ ）の重症化を防ぐ。

(14) （ ）を目的とする密猟や取引は、象の生存を脅かす。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「医療」と「看護」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 看護は診断や治療を含む広い働き、医療は病人やけが人の生活と回復を支える働きである。
- イ 医療は「患者を（ ）する」だけに、看護は「地域（ ）を整える」だけに使う。
- ウ 医療は診断や治療を含む広い働き、看護は病人やけが人の生活と回復を支える働きである。
- エ 「地域（ ）を整える」と「患者を（ ）する」では、医療と看護を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「発汗」と「脱水」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 発汗は汗が出ること、脱水は体から水分が失われて不足した状態を表す。
- イ 脱水は汗が出ること、発汗は体から水分が失われて不足した状態を表す。
- ウ 発汗は「（ ）を防ぐ」だけに、脱水は「運動で（ ）する」だけに使う。
- エ 「運動で（ ）する」と「（ ）を防ぐ」では、発汗と脱水を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「眺める」と「見る」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 見るはある程度の時間、広がりや全体に目を向けること、眺めるは目で捉える行為を広く表す。
- イ 眺めるは「傷口を（ ）」だけに、見るは「山並みを（ ）」だけに使う。
- ウ 眺めるはある程度の時間、広がりや全体に目を向けること、見るは目で捉える行為を広く表す。
- エ 「山並みを（ ）」と「傷口を（ ）」では、眺めると見るを意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「負傷」と「損傷」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 負傷は人がけがをすること、損傷は体の組織や物が傷つき壊れることに広く使う。
- イ 損傷は人がけがをすること、負傷は体の組織や物が傷つき壊れることに広く使う。
- ウ 負傷は「筋肉が（ ）する」だけに、損傷は「転倒して（ ）する」だけに使う。
- エ 「転倒して（ ）する」と「筋肉が（ ）する」では、負傷と損傷を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「転倒して（A）する」 B「筋肉が（B）する」

- ア A＝損傷／B＝負傷 イ A＝負傷／B＝負傷
- ウ A＝負傷／B＝損傷 エ A＝損傷／B＝損傷

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「運動で（A）する」 B「（B）を防ぐ」

- ア A＝脱水／B＝発汗 イ A＝発汗／B＝発汗
- ウ A＝脱水／B＝脱水 エ A＝発汗／B＝脱水

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| (1) 地域のイシに、長く続く咳を相談した。 | (9) フショウの弟子ですが、師の教えを受け継ぎます。 |
| (2) 期待した知らせが届かず、深くラクタンした。 | (10) 熱を出した弟を、一晩カンビョウした。 |
| (3) 心だけでなく、ニクタイにも休養が必要だ。 | (11) 突然名前を呼ばれ、ヒヤアセが出た。 |
| (4) 無理を重ねると、心や体のビョウキにつながる。 | (12) 乗客は非常口から安全にダッシュツした。 |
| (5) 天然痘を防ぐシュトウの歴史を学んだ。 | (13) 夏を前に髪を短くサンパツした。 |
| (6) 輸送中に箱がソンショウし、中の商品が割れた。 | (14) 悪質な勧誘のドクガにかからないよう注意する。 |
| (7) 緊張でノドモトが乾き、水を一口飲んだ。 | (15) 武術館で中国のケンポウを習った。 |
| (8) 都合の悪いこともショウジキに伝えた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 拳 () | (17) 眉間 () | (18) 眺望 () | (19) 腎臓 () | (20) 唾液 () |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

からだの地図に書く

体育のあと、悠人は「何となく具合が悪い」と言った。保健室の先生は、すぐに病名を決めず、「どこが、いつから、どのように変わったか」を聞いた。喉が痛むのか、胴体が重いのか、筋肉に傷があるのかで、必要な手当ては異なる。

真央は、体の絵に症状を書き込む「からだの地図」を作った。眉間の痛み、頭髮の生え際の汗、握った拳の震えまで位置を示す。目で直接見える傷だけでなく、本人にしか分からない感覚も、言葉で地図に置いていく。

【伝える順序】場所／感覚／始まった時刻／強さの変化／発汗や食事など一緒に起きたこと

悠人は、朝から発汗が多く、水をほとんど飲んでいなかったと話した。先生は脱水の可能性を考え、休ませて水分を取らせた。大胆に病名を当てるのではなく、危険な変化を見落とさないために情報を集めるのである。

保健室の壁には、医療に関わった人の肖像と、水痘の予防を説明する資料があった。天然痘や種痘の歴史にも触れている。病気の名前を知ることは大切だが、名前が同じでも症状の出方は一人ずつ違うと書かれていた。

先生は、腎臓が体内の水分を調整し、唾液が口の中で消化を助けることも説明した。喉の乾きだけで体のすべては分からない。象牙のような硬い牙や、拳の形を眺めるだけでは、人の内側の働きが見えないのと同じである。

看護では、本人の言葉と観察した事実の両方を記録する。悠人が「つらい」と言ったことも、顔色や体温と同じく大切な情報である。痛みを大げさだと決めつけず、負傷や発病の可能性を順に確かめる姿勢が必要になる。

休んだあと、悠人の具合は落ち着いた。真央は地図を見直し、「具合が悪い」を、場所・感覚・時間に分けると、助けを求めやすくなると気づいた。健康について学ぶことは、体の字を覚えるだけでなく、自分の状態を他者へ渡す言葉を育てることでもある。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「汗が出ること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ダッスイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「看護」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 病名を一度で決めて知らせること。

イ 病人やけが人の生活と回復を支えること。

ウ 遠くの景色を長く眺めること。

エ 体の外側だけを絵に描くこと。

(4) 先生がすぐに病名を決めなかったのはなぜか。

ア 病気の名前を一つも知らなかったから。

イ 体の絵を描くことだけが治療になるから。

ウ 場所や時間、変化を集め、危険な状態を見落とさず必要な手当てを判断するため。

エ 本人の感じ方は健康の判断に使えないから。

(5) 「からだの地図」に、本人にしか分からない感覚も書くことが大切なのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「直接」「看護」の二語を用い、体の状態を正確に伝える方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (1) エ 病気やけがを診て治すための働き。 | (4) ア けがをすること。 |
| (2) ウ 体を動かしたり姿勢を保ったりする組織。 | (5) エ 思い切って行動する様子。 |
| (3) イ 病気の症状が現れること。 | (6) ウ 頭や手足を除いた体の中心部分。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 医療 | (8) 咽喉 |
| (2) 筋肉 | (9) 直接 |
| (3) 発病 | (10) 看護 |
| (4) 負傷 | (11) 発汗 |
| (5) 大胆 | (12) 脱水 |
| (6) 胴体 | (13) 頭髮 |
| (7) 水痘 | (14) 象牙 |

使い分けを確かめよう：医療は診断や治療を含む広い働き、看護は病人やけが人の生活と回復を支える働きである。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 医療は診断や治療を含む広い働き、看護は病人やけが人の生活と回復を支える働きである。

用例：地域医療を整える／患者を看護する

(2) ア 発汗は汗が出ること、脱水は体から水分が失われて不足した状態を表す。

用例：運動で発汗する／脱水を防ぐ

(3) ウ 眺めるはある程度の時間、広がりや全体に目を向けること、見るは目で捉える行為を広く表す。

用例：山並みを眺める／傷口を見る

(4) ア 負傷は人がけがをすること、損傷は体の組織や物が傷つき壊れることに広く使う。

用例：転倒して負傷する／筋肉が損傷する

(5) ウ A=負傷、B=損傷。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A=発汗、B=脱水。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 医師	(11) 冷汗
(2) 落胆	(12) 脱出
(3) 肉体	(13) 散髪
(4) 病気	(14) 毒牙
(5) 種痘	(15) 拳法
(6) 損傷	(16) こぶし
(7) 喉元	(17) みけん
(8) 正直	(18) ちょうぼう
(9) 不肖	(19) じんぞう
(10) 看病	(20) だえき

七 文章の中で考えよう

- (1) 発汗 本文中では「発汗」と表されている。
- (2) 脱水
- (3) イ 病人やけが人の生活と回復を支えること。
- (4) ウ 場所や時間、変化を集め、危険な状態を見落とさず必要な手当てを判断するため。
- (5) 解答例（49 字）

外から見える傷や数値だけでは不調の全体が分からず、本人の感覚も手当てを考える大切な情報になるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（77 字）

直接見える傷だけで判断せず、痛む場所、感覚、始まった時刻、強さの変化を本人の言葉で確かめる。
観察した事実と合わせて記録すれば、看護や手当てにつなげやすい。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第五回

性質と気持ち

一度の行動を、その人全体の性質だと決めつけない。

今日の中心漢字

必 性 忠 恭 慢 衷 煩 憤

いっしょに覚える漢字

急	苦	善	敬	朗	侮
嫌	賢	淑	愚	穩	羞

性質・態度・気持ちを表す語を確かめたあと、人物に貼った短い評価を、具体的な行動へ戻して考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
必	ヒツ・かならず	欠かせない／必ず 必要・必死・必然	慢	マン	おごる／だらける 慢心・自慢・怠慢
性	セイ・ショウ	生まれつきの傾向／性質 性質・個性・性格	衷	チュウ	心の奥／まんなか 衷心・苦衷・折衷
忠	チュウ	まごころを尽くす 忠実・忠告・忠誠	煩	ハン・ボン・わず らう	心を悩ます／入り組む 煩う・煩雑・煩惱
恭	キョウ・うやうや しい	礼を尽くす 恭しい・恭順・恭敬	憤	フン・いきどおる	強く怒る 憤る・憤慨・憤激

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
急	キュウ・いそぐ	速い／突然 急ぐ・急速・緊急	嫌	ケン・ゲン・きら う・いや	いやがる 嫌う・嫌悪・機嫌
苦	ク・くるしい・に がい	つらい／にがい 苦しい・苦勞・苦心	賢	ケン・かしこい	よく考え判断できる 賢い・賢明・賢人
善	ゼン・よい	正しくよい 善い・善意・改善	淑	シュク	品よく善い 淑女・貞淑・淑徳
敬	ケイ・うやまう	相手を大切にする 敬う・尊敬・敬意	愚	グ・おろか	考えが足りない 愚か・愚問・愚直
朗	ロウ・ほがらか	明るくはっきり 朗らか・朗読・明朗	穩	オン・おだやか	落ち着いて静か 穩やか・平穩・穩当
侮	ブ・あなどる	相手を軽く見る 侮る・侮辱・輕侮	羞	シュウ・はじらう	恥ずかしく思う 羞恥・含羞

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「必要」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア なくてはならないこと。
- イ 内容や相手に背かず正確に従うこと。
- ウ 自分を優れていると思い油断すること。
- エ 物事が込み入っていて面倒なこと。

(2) 「性質」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 相手を敬い礼儀正しい様子。
- イ 苦しい事情を抱えた心の内。
- ウ 不当なことに強く怒ること。
- エ そのものに備わる特徴や傾向。

(3) 「忠実」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分を優れていると思い油断すること。
- イ 物事が込み入っていて面倒なこと。
- ウ 内容や相手に背かず正確に従うこと。
- エ なくてはならないこと。

(4) 「恭しい」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 苦しい事情を抱えた心の内。
- イ 相手を敬い礼儀正しい様子。
- ウ 不当なことに強く怒ること。
- エ そのものに備わる特徴や傾向。

(5) 「慢心」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分を優れていると思い油断すること。
- イ 物事が込み入っていて面倒なこと。
- ウ なくてはならないこと。
- エ 内容や相手に背かず正確に従うこと。

(6) 「苦衷」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 不当なことに強く怒ること。
- イ そのものに備わる特徴や傾向。
- ウ 相手を敬い礼儀正しい様子。
- エ 苦しい事情を抱えた心の内。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 必要 苦衷 善意 性質 煩雑 敬意 忠実 憤慨 朗らか 恭しい 緊急 悔る 慢心 苦心

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| (1) 申請には本人確認書類が（ ）だ。 | (8) 理不尽な扱いを知り、多くの人が（ ）した。 |
| (2) 水は温度によって状態を変える（ ）がある。 | (9) 救急隊へ（ ）の連絡が入った。 |
| (3) 原作の内容を（ ）に映像化した。 | (10) 設計者は限られた土地の使い方に（ ）した。 |
| (4) 案内役は来賓に（ ）態度で一礼した。 | (11) 匿名の（ ）で、被災地へ多くの物資が届いた。 |
| (5) 一度の成功で（ ）せず、基本を見直した。 | (12) 異なる文化に（ ）を払い、決めつけを避ける。 |
| (6) 断りたいが恩もあるという（ ）を、手紙ににじませた。 | (13) 彼はいつも（ ）で、場の空気を明るくする。 |
| (7) 手続きが（ ）で、完了までに何度も確認が必要。 | (14) 相手が初心者だからと（ ）と、思わぬ反撃を受ける。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「忠実」と「従順」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 従順は内容や相手に背かず確かに行うこと、忠実は人の指示に素直に従う性質を表す。
- イ 忠実には内容や相手に背かず確かに行うこと、従順は人の指示に素直に従う性質を表す。
- ウ 忠実には「指示に（ ）である」だけに、従順は「原文に（ ）に写す」だけに使う。
- エ 「原文に（ ）に写す」と「指示に（ ）である」では、忠実と従順を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「慢心」と「自信」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 自信は自分を過大に見て油断すること、慢心は自分の力や判断を信じる気持ちである。
- イ 慢心は「練習から（ ）を得る」だけに、自信は「成功して（ ）する」だけに使う。
- ウ 「成功して（ ）する」と「練習から（ ）を得る」では、慢心と自信を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 慢心は自分を過大に見て油断すること、自信は自分の力や判断を信じる気持ちである。

(3) 「苦衷」と「本心」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 本心は苦しい事情を抱えた心の内、苦衷は飾らない本当の気持ちを広く表す。
- イ 苦衷は苦しい事情を抱えた心の内、本心は飾らない本当の気持ちを広く表す。
- ウ 苦衷は「（ ）を打ち明ける」だけに、本心は「断る（ ）を語る」だけに使う。
- エ 「断る（ ）を語る」と「（ ）を打ち明ける」では、苦衷と本心を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「憤る」と「怒る」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 怒るは不正や不当さに対する強い怒り、憤るは不満や刺激による怒りを広く表す。
- イ 憤るは「約束違反に（ ）」だけに、怒るは「差別に（ ）」だけに使う。
- ウ 「差別に（ ）」と「約束違反に（ ）」では、憤ると怒るを意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 憤るは不正や不当さに対する強い怒り、怒るは不満や刺激による怒りを広く表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「原文に（A）に写す」 B「指示に（B）である」

- ア A=忠実／B=従順 イ A=従順／B=忠実
- ウ A=忠実／B=忠実 エ A=従順／B=従順

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「断る（A）を語る」 B「（B）を打ち明ける」

- ア A=本心／B=苦衷 イ A=苦衷／B=本心
- ウ A=苦衷／B=苦衷 エ A=本心／B=本心

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 締切に間に合わせようと、ヒッシに資料を整えた。 | (9) 空腹になると、少しキゲンが悪くなる。 |
| (2) 成功をジマンするだけでなく、支えた人へ感謝した。 | (10) 失敗を重ねたが、そのクロウが後で役立った。 |
| (3) 一人一人のコセイを生かした役割を考えた。 | (11) 案内表示をカイゼンし、出口を分かりやすくした。 |
| (4) 皆様の親切に、チュウシンより御礼申し上げます。 | (12) 詩を声に出してロウドクし、響きを味わった。 |
| (5) 危険だという友人のチュウコクを素直に聞いた。 | (13) 人前で相手をブジョクする発言は許されない。 |
| (6) 新しい政権にキョウジュンする意思を示した。 | (14) 資料を比べたうえで、最もケンメイな案を選んだ。 |
| (7) 不当な扱いを知り、人々は激しくフンゲキした。 | (15) 舞踏会には、上品な装いのシュクジョが集まった。 |
| (8) 通信技術は近年キュウソクに進歩した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 賢明 () | (17) 淑女 () | (18) 愚直 () | (19) 穩当 () | (20) 羞恥 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

性格の札を外す

町の発表会を前に、班の作業が遅れていた。真央は、資料の整理を忘れた悠人を見て、「怠慢だ」と言いそうになった。別の生徒は、説明を何度も直す真央を「煩雑なことが好きな人」と評した。短い言葉は便利だが、一度の行動から性質全体を決める危険がある。

先生は、人物評価の札を外し、実際に起きたことを書き直すよう求めた。「必要な資料が二枚不足した」「忠実に写そうとして確認に時間がかかった」と表せば、直すべき行動が見える。愚か、賢明、朗らかといった言葉だけでは、何が起きたかは分からない。

【評価を行動へ戻す】 いつ／何をしたか／だれにどう影響したか／本人にはどんな事情や苦衷があったか

悠人は、家で緊急の連絡を受け、作業を途中でやめたと説明した。真央は、自分が事情を聞かずに憤慨していたことに気づいた。善意から急いで注意したつもりでも、相手の事情を侮る言い方になれば、敬意は伝わらない。

一方、悠人にも直す点はあった。事情を言わず、皆が困ると分かっているながら連絡を後回しにしたからである。恭しい言葉だけで謝っても、次の行動が変わらなければ十分ではない。二人は、責任と性格を分けて話し合った。

発表原稿には、昔の「淑女」像や、羞恥を表に出さないことを善いとした時代の考えも出てきた。先生は、そうした呼び名が人を一つの型に入れる場合があると説明した。性格語には、使う側の価値判断が含まれることがある。

真央は、嫌悪や怒りの感情そのものを否定する必要はないと思った。不当なことに憤るのは大切である。ただし、強い気持ちをそのまま相手の人格評価に変えると、「あなたは悪い人だ」という札になる。穏当な言い方とは、怒りを弱めることではなく、対象を正確にすることだ。

二人は、担当と期限を決め直した。悠人は苦心して資料を整え、真央は確認方法を簡潔にした。慢心せず、互いの行動を具体的に確かめると、批判は改善へつながった。人を理解するには、性質を表す語を知るだけでなく、その語をいつ外すかも必要なのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「苦しい事情を抱えた心の内」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ケイイ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「穏当」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 相手への怒りを完全になくすこと。

イ どんな失敗も注意せず許すこと。

ウ 無理がなく落ち着いていて適切なこと。

エ 人を一つの性格語で決めること。

(4) 「性格の札を外す」とは、どのように考え直すことか。

ア 性格を表す言葉を一切使わないこと。

イ 人を短い評価語で決めつけず、実際の行動と事情、影響に分けて捉え直すこと。

ウ 失敗した人の責任をすべてなくすこと。

エ 明るい性格語だけを選んで人をほめること。

(5) 真央が「怠慢だ」という評価を、具体的な事実へ書き直したのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「敬意」「苦衷」の二語を用い、相手の行動を注意するときに必要な姿勢を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| (1) ア なくてはならないこと。 | (4) イ 相手を敬い礼儀正しい様子。 |
| (2) エ そのものに備わる特徴や傾向。 | (5) ア 自分を優れていると思い油断すること。 |
| (3) ウ 内容や相手に背かず正確に従うこと。 | (6) エ 苦しい事情を抱えた心の内。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|----------|
| (1) 必要 | (8) 憤慨 |
| (2) 性質 | (9) 緊急 |
| (3) 忠実 | (10) 苦心 |
| (4) 恭しい | (11) 善意 |
| (5) 慢心 | (12) 敬意 |
| (6) 苦衷 | (13) 朗らか |
| (7) 煩雑 | (14) 悔る |

使い分けを確かめよう：忠実は内容や相手に背かず確かに行うこと、従順は人の指示に素直に従う性質を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 忠実は内容や相手に背かず確かに行うこと、従順は人の指示に素直に従う性質を表す。

用例：原文に忠実に写す／指示に従順である

(2) エ 慢心は自分を過大に見て油断すること、自信は自分の力や判断を信じる気持ちである。

用例：成功して慢心する／練習から自信を得る

(3) イ 苦衷は苦しい事情を抱えた心の内、本心は飾らない本当の気持ちを広く表す。

用例：断る苦衷を語る／本心を打ち明ける

(4) エ 憤るは不正や不当さに対する強い怒り、怒るは不満や刺激による怒りを広く表す。

用例：差別に憤る／約束違反に怒る

(5) ア A＝忠実、B＝従順。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝苦衷、B＝本心。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 必死	(11) 改善
(2) 自慢	(12) 朗読
(3) 個性	(13) 侮辱
(4) 衷心	(14) 賢明
(5) 忠告	(15) 淑女
(6) 恭順	(16) けんめい
(7) 憤激	(17) しゅくじょ
(8) 急速	(18) ぐちよく
(9) 機嫌	(19) おんとう
(10) 苦勞	(20) しゅうち

七 文章の中で考えよう

- (1) 苦衷 本文中では「苦衷」と表されている。
- (2) 敬意
- (3) ウ 無理がなく落ち着いていて適切なこと。
- (4) イ 人を短い評価語で決めつけず、実際の行動と事情、影響に分けて捉え直すこと。
- (5) 解答例（47 字）

一度の行動を性質全体だと決めず、何が不足し、どの行動を具体的に直せばよいかを明らかにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

強い評価語で人格を決めつけず、起きた事実と影響を具体的に示す。そのうえで本人の苦衷を聞き、責任と事情を分けて、敬意を失わない改善方法をともに考える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第六回

言葉としるし

書く・話す・歌うという違いを、届く相手から考える。

今日の中心漢字

発 調 訓 詩 載 詐 唄 詮

いっしょに覚える漢字

和	向	刊	訪	呈	吳
乞	喝	嘆	彙	楷	伝※

文字・音声・出版・伝達を表す語を確かめたあと、町の案内を異なる相手へ伝えるため、言葉としるしを選び直す文章を読みます。 ※再会漢字：伝（第二冊第五回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
発	ハツ・ホツ・たつ	外へ出す／起こる 発表・発行・出発	載	サイ・のせる	上に置く／誌面に出す 載せる・掲載・記載
調	チョウ・しらべる・ととのう	調べる／整える 調査・調整・調子	詐	サ	いつわり欺く 詐欺・詐称・詐取
訓	クン	教え／漢字の日本語の読み 訓読み・教訓・訓練	唄	うた	歌／節をつけた声 唄・小唄・長唄
詩	シ	言葉で心や情景を表す作品 詩・詩人・詩集	詮	セン	詳しく調べる／結局 詮議・所詮

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
和	ワ・オ・やわらぐ・なごむ	調和／日本 和らぐ・調和・和語	乞	キツ・こう	願い求める 乞う・命乞い・乞食
向	コウ・むく・むかう	ある方へ進む 向く・方向・傾向	喝	カツ	大声を出す 一喝・喝采・喝破
刊	カン	本などを世に出す 刊行・週刊・創刊	嘆	タン・なげく	深く感じる／悲しむ 嘆く・感嘆・嘆願
訪	ハウ・たずねる・おとずれる	人や場所をたずねる 訪ねる・訪問・来訪	彙	イ	同類を集める 語彙・字彙
呈	テイ	差し出す／様子を示す 呈する・贈呈・進呈	楷	カイ	整った手本 楷書・楷模
呉	ゴ・くれる	中国の国名／与える 呉・呉音・呉服	伝 ※	デン・つたえる・つたわる	再会：人から人へ渡す 伝える・伝達・伝統

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「発表」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 漢字を日本語の意味に当てた読み方。
- イ 考えや調べたことを人前で示すこと。
- ウ 文章や写真を新聞や冊子に載せること。
- エ 短く親しみやすい歌曲。

(2) 「調査」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 事実や状態を詳しく調べること。
- イ 複数の詩を集めた本。
- ウ 名前や資格などを偽って名乗ること。
- エ 細かな事情まで調べて話し合うこと。

(3) 「訓読み」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 文章や写真を新聞や冊子に載せること。
- イ 短く親しみやすい歌曲。
- ウ 考えや調べたことを人前で示すこと。
- エ 漢字を日本語の意味に当てた読み方。

(4) 「詩集」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 名前や資格などを偽って名乗ること。
- イ 細かな事情まで調べて話し合うこと。
- ウ 複数の詩を集めた本。
- エ 事実や状態を詳しく調べること。

(5) 「掲載」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 短く親しみやすい歌曲。
- イ 文章や写真を新聞や冊子に載せること。
- ウ 考えや調べたことを人前で示すこと。
- エ 漢字を日本語の意味に当てた読み方。

(6) 「詐称」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 名前や資格などを偽って名乗ること。
- イ 細かな事情まで調べて話し合うこと。
- ウ 事実や状態を詳しく調べること。
- エ 複数の詩を集めた本。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 発表 詐称 刊行 調査 小唄 訪問 訓読み 詮議 贈呈 詩集 和語 呉音 掲載 方向

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| (1) 調べた結果を図にまとめ、教室で（ ）した。 | (8) 関所の役人は、旅人の素性を厳しく（ ）した。 |
| (2) 住民への聞き取り（ ）を来月から始める。 | (9) 「ころ」や「やま」は、日本で古くから使われてきた（ ）である。 |
| (3) 「生」の（ ）は「いきる」「うまれる」など複数ある。 | (10) 地図と方位磁針で進む（ ）を確かめた。 |
| (4) 旅先で出会った景色を題材にした（ ）を刊行した。 | (11) 創刊号から10年を記念して、特別号を（ ）した。 |
| (5) 投稿した写真が地域の広報紙に（ ）された。 | (12) 予約した時刻に研究室を（ ）した。 |
| (6) 他人の資格を（ ）して契約を結ぶことは許されない。 | (13) 優勝者には記念の盾が（ ）された。 |
| (7) 祭りの夜、三味線に合わせて土地の（ ）が歌われた。 | (14) 仏教語には、漢字を（ ）で読むものが多い。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「掲載」と「刊行」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 掲載は文章や写真を誌面などに載せること、刊行は本や冊子そのものを世に出すことを表す。
- イ 刊行は文章や写真を誌面などに載せること、掲載は本や冊子そのものを世に出すことを表す。
- ウ 掲載は「記念誌を（ ）する」だけに、刊行は「写真を（ ）する」だけに使う。
- エ 「写真を（ ）する」と「記念誌を（ ）する」では、掲載と刊行を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「詐称」と「誤記」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 誤記は意図して名前や資格を偽ること、詐称は誤って文字や内容を書き違えることを表す。
- イ 詐称は「日付を（ ）する」だけに、誤記は「資格を（ ）する」だけに使う。
- ウ 詐称は意図して名前や資格を偽ること、誤記は誤って文字や内容を書き違えることを表す。
- エ 「資格を（ ）する」と「日付を（ ）する」では、詐称と誤記を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「感嘆」と「嘆く」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 感嘆は深く感じて感心すること、嘆くは悲しみや残念さを強く表すことに使いやすい。
- イ 嘆くは深く感じて感心すること、感嘆は悲しみや残念さを強く表すことに使いやすい。
- ウ 感嘆は「失敗を（ ）」だけに、嘆くは「技に（ ）する」だけに使う。
- エ 「技に（ ）する」と「失敗を（ ）」では、感嘆と嘆くを意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「語彙」と「言葉」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 言葉はある言語や分野で用いる語の集まり、語彙は個々の語や表現、発言を広く表す。
- イ 語彙は「（ ）を選ぶ」だけに、言葉は「（ ）を増やす」だけに使う。
- ウ 語彙はある言語や分野で用いる語の集まり、言葉は個々の語や表現、発言を広く表す。
- エ 「（ ）を増やす」と「（ ）を選ぶ」では、語彙と言葉を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「資格を（A）する」 B「日付を（B）する」

- ア A＝誤記／B＝詐称 イ A＝詐称／B＝詐称
- ウ A＝詐称／B＝誤記 エ A＝誤記／B＝誤記

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）を増やす」 B「（B）を選ぶ」

- ア A＝言葉／B＝語彙 イ A＝語彙／B＝語彙
- ウ A＝言葉／B＝言葉 エ A＝語彙／B＝言葉

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 地域新聞は、毎月一日にハッコウされる。 | (9) 色と形のチョウワが取れた落ち着いた部屋だ。 |
| (2) 申込書には、緊急連絡先もキサイする。 | (10) 住民の意識には、世代ごとの違いがあるケイコウだ。 |
| (3) 体のチョウシが悪い日は、無理をせず休む。 | (11) 駅で買ったシュウカン誌を、車内で読んだ。 |
| (4) 電話を使ったサギの手口が巧妙になっている。 | (12) 海外からのライホウ者を、市長が迎えた。 |
| (5) この失敗を次の仕事へのキョウクンとした。 | (13) 来場者へ記念品をシンテイした。 |
| (6) 三味線に合わせて、役者がナガウタをうたった。 | (14) 祭りの日には、祖母がゴフクを着て出かけた。 |
| (7) そのシジンは、旅先の風景を短い作品にした。 | (15) 騒いでいた生徒を、先生がイッカツした。 |
| (8) ショセンは仮の案なので、必要なら作り直せる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 喝采 () | (17) 感嘆 () | (18) 語彙 () | (19) 楷書 () | (20) 伝達 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一つの案内を三つの形へ

町の文化祭を知らせるため、悠人と真央の班は案内を作った。最初の手稿には、開催の方向、訪問の方法、詩集の贈呈など多くの情報が一段落に詰め込まれていた。先生は「だれに、どの形で伝えるのかを分けよう」と言った。

班は、冊子に掲載する文章、会場で読む発表、子どもが口ずさめる短い唄の三つを作ることにした。冊子は後から詮議できるよう日付と場所を詳しく記載し、発表は耳で聞いて分かる順序に調整する。唄は大切な語を繰り返した。

【伝達の点検】読む人か聞く人か／後で見直せるか／必要な語彙は何か／誤解を招く表現はないか

会場では、漢字の音読みと訓読みを紹介する展示も行う。呉音の説明や、和語との違いは、楷書で大きく書いた。難しい語には短い言い換えを添えた。伝える相手が変われば、同じ内容でも示し方を変える必要がある。

途中、実在しない資格を名乗る出展者がいるという情報が届いた。調査すると、詐称ではなく、担当者が肩書を誤記しただけだと分かった。強く一喝して訂正を乞う前に、事実を確かめることが必要だった。

冊子を刊行した日、長唄の発表には大きな喝采が起きた。真央は演者の声に感嘆したが、案内を読めず来られなかった人がいたことを聞き、皆に届いたと考えた自分の早さを嘆いた。次は音声版も作ろうと決めた。

言葉を伝えるとは、同じ文をあらゆる場所へ置くことではない。相手が読むのか聞くのか、何を知っているのかを考え、語彙や順序を選ぶ。情報を減らす場合も、必要な内容を落とさないよう慎重に調整する。

悠人は、第二冊で学んだ「伝」の字にもう一度向き合った。伝達は、発した側で終わらず、相手が受け取れる形になって初めて成り立つ。書く・話す・歌うという違いを知ることが、町の案内を広く届ける力になるのだ。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「本や冊子を印刷して世に出すこと」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「ゴイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「詐称」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 文字や日付をうっかり書き違えること。

イ 本や冊子を印刷して世に出すこと。

ウ 声を上げて発表をほめること。

エ 名前や資格などを意図して偽って名乗ること。

(4) 班が案内を三つの形に分けたのはなぜか。

ア 読む・聞くなど受け取り方の違いに合わせ、同じ内容を分かりやすく届けるため。

イ 一つの案内に使える漢字の数が決まっていたから。

ウ 冊子には日付や場所を書いてはいけなかったから。

エ 唄ならどんな情報も正確に伝えられるから。

(5) 真央が、案内が皆に届いたと考えた自分の早さを嘆いたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「語彙」「伝達」の二語を用い、相手に届く案内を作る方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| (1) イ 考えや調べたことを人前で示すこと。 | (4) ウ 複数の詩を集めた本。 |
| (2) ア 事実や状態を詳しく調べること。 | (5) イ 文章や写真を新聞や冊子に載せること。 |
| (3) エ 漢字を日本語の意味に当てた読み方。 | (6) ア 名前や資格などを偽って名乗ること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 発表 | (8) 詮議 |
| (2) 調査 | (9) 和語 |
| (3) 訓読み | (10) 方向 |
| (4) 詩集 | (11) 刊行 |
| (5) 掲載 | (12) 訪問 |
| (6) 詐称 | (13) 贈呈 |
| (7) 小唄 | (14) 呉音 |

使い分けを確かめよう：掲載は文章や写真を誌面などに載せること、刊行は本や冊子そのものを世に出すことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 掲載は文章や写真を誌面などに載せること、刊行は本や冊子そのものを世に出すことを表す。

用例：写真を掲載する／記念誌を刊行する

(2) ウ 詐称は意図して名前や資格を偽ること、誤記は誤って文字や内容を書き違えることを表す。

用例：資格を詐称する／日付を誤記する

(3) ア 感嘆は深く感じて感心すること、嘆くは悲しみや残念さを強く表すことに使いやすい。

用例：技に感嘆する／失敗を嘆く

(4) ウ 語彙はある言語や分野で用いる語の集まり、言葉は個々の語や表現、発言を広く表す。

用例：語彙を増やす／言葉を選ぶ

(5) ウ A＝詐称、B＝誤記。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝語彙、B＝言葉。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 発行	(11) 週刊
(2) 記載	(12) 来訪
(3) 調子	(13) 進呈
(4) 詐欺	(14) 呉服
(5) 教訓	(15) 一喝
(6) 長唄	(16) かつさい
(7) 詩人	(17) かんたん
(8) 所詮	(18) ごい
(9) 調和	(19) かいしょ
(10) 傾向	(20) でんたつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 刊行 本文中では「刊行」と表されている。
- (2) 語彙
- (3) エ 名前や資格などを意図して偽って名乗ること。
- (4) ア 読む・聞くなど受け取り方の違いに合わせ、同じ内容を分かりやすく届けるため。
- (5) 解答例 (45 字)

冊子と会場発表だけでは情報を受け取れず、文化祭へ来られなかった人がいたと後から知ったから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (73 字)

相手が読むのか聞くのか、何を知っているかを確かめ、必要な語彙と順序を選ぶ。文章・音声・唄など複数の形を用意し、受け取れる形まで含めて伝達を考える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第七回

考えの形をつかむ

短く言い切る前に、根拠と例外が残っているか確かめる。

今日の中心漢字

不 以 故 難 冗 享 糾 敢

いっしょに覚える漢字

大	小	歴	延	即	摘
融	汎	微	漫	昧	剝

理由・方法・程度を表す語を確かめたあと、長い説明から冗長さを除きつつ、考えの骨組みを残す推敲について読む文章です。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
不	フ・ブ	そうでない／足りない 不足・不安・不明	冗	ジョウ	余分で長い 冗長・冗談・冗費
以	イ	ある所を基準にする 以上・以下・以後	享	キョウ	受け取って味わう 享受・享年・享楽
故	コ・ゆえ	理由／古いこと 故に・事故・故郷	糾	キュウ	より合わせる／問いたす 糾合・紛糾・糾弾
難	ナン・かたい・むずかしい	難しい／災い 困難・難問・避難	敢	カン・あえて	思い切って行う 敢えて・勇敢・果敢

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
大	ダイ・タイ・おおきい	大きい／重要 大きい・重大・大学	融	ユウ・とける	とけ合う／通じる 融合・融資・融通
小	ショウ・ちいさい・こ	小さい／わずか 小さい・縮小・小数	汎	ハン	広く及ぶ 汎用・広汎
歴	レキ	時の積み重なり 歴史・経歴・歴然	微	ビ	ごく小さい／細かい 微小・微妙・微量
延	エン・のびる・のばす	長くする／遅らせる 延長・延期・延べ	漫	マン	広がる／しまりがない 漫然・散漫・漫画
即	ソク・つく	すぐ／そのものに合う 即時・即座・即する	昧	マイ	はっきりしない 曖昧・三昧
摘	テキ・つむ	つまみ取る／選び出す 摘む・指摘・摘出	剝	ハク・はがす・はがれる	表面をはぎ取る 剥がす・剥離・剥奪

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「不明」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 前の事柄を理由として後を導く語。
- イ 必要以上に長く要点がつかみにくいこと。
- ウ はっきり分らないこと。
- エ 意見がもつれてまとまらなくなる事。

(2) 「以後」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 解くことが難しい問題。
- イ その時や場所から後。
- ウ 利益やよさを受け取り自分のものとする事。
- エ 決断して思い切りよく行う様子。

(3) 「故に」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 前の事柄を理由として後を導く語。
- イ 必要以上に長く要点がつかみにくいこと。
- ウ 意見がもつれてまとまらなくなる事。
- エ はっきり分らないこと。

(4) 「難問」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 利益やよさを受け取り自分のものとする事。
- イ 決断して思い切りよく行う様子。
- ウ その時や場所から後。
- エ 解くことが難しい問題。

(5) 「冗長」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 意見がもつれてまとまらなくなる事。
- イ はっきり分らないこと。
- ウ 必要以上に長く要点がつかみにくいこと。
- エ 前の事柄を理由として後を導く語。

(6) 「享受」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 決断して思い切りよく行う様子。
- イ 利益やよさを受け取り自分のものとする事。
- ウ その時や場所から後。
- エ 解くことが難しい問題。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 不明 享受 経歴 以後 紛糾 延期 故に 果敢 即座 難問 重大 指摘 冗長 縮小

(1) 原因は現在も（ ）で、追加の調査が続いている。

(8) 救助隊は悪天候の山へ（ ）に踏み込んだ。

(2) 改定日（ ）の申請には、新しい様式を用いる。

(9) 小さな亀裂でも、橋では（ ）な問題になりうる。

(3) この主張は前提が誤っている。（ ）、結論も成り立たない。

(10) 利用者の減少に合わせ、施設の規模を（ ）した。

(4) 最後の一題は、専門家でも迷う（ ）だった。

(11) 応募書類には、これまでの（ ）を簡潔に記した。

(5) 説明が（ ）にならないよう、重複する部分を削った。

(12) 台風の接近により、競技は翌週へ（ ）された。

(6) 市民は安全な水道や交通の恩恵を（ ）している。

(13) 警報を聞いた職員は（ ）に避難を呼びかけた。

(7) 議長の選び方をめぐって会議が（ ）した。

(14) 査読者は、資料の不足を具体的に（ ）した。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「故」と「理由」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 理由は文章で前の事柄を受けて結論へ導く硬い言い方、故はそうなるわけを広く表す。
- イ 故は「()を説明する」だけに、理由は「()に見直しが要る」だけに使う。
- ウ 「()に見直しが要る」と「()を説明する」では、故と理由を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 故は文章で前の事柄を受けて結論へ導く硬い言い方、理由はそうなるわけを広く表す。

(2) 「冗長」と「詳しい」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 詳しいは必要以上に長く要点が見えにくいこと、冗長は必要な情報が細かく示されることを表す。
- イ 冗長は必要以上に長く要点が見えにくいこと、詳しいは必要な情報が細かく示されることを表す。
- ウ 冗長は「()手順を書く」だけに、詳しいは「()な前置きを削る」だけに使う。
- エ 「()な前置きを削る」と「()手順を書く」では、冗長と詳しいを意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「享受」と「受領」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 受領は利益やよさを受け取り味わうこと、享受は物や書類を正式に受け取ることを表す。
- イ 享受は「書類を()する」だけに、受領は「自由を()する」だけに使う。
- ウ 「自由を()する」と「書類を()する」では、享受と受領を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 享受は利益やよさを受け取り味わうこと、受領は物や書類を正式に受け取ることを表す。

(4) 「指摘」と「批判」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 批判は問題となる点を取り上げて示すこと、指摘は根拠をもとに価値や妥当性を検討することを表す。
- イ 指摘は問題となる点を取り上げて示すこと、批判は根拠をもとに価値や妥当性を検討することを表す。
- ウ 指摘は「制度を()する」だけに、批判は「誤りを()する」だけに使う。
- エ 「誤りを()する」と「制度を()する」では、指摘と批判を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「自由を(A)する」 B「書類を(B)する」

- ア A=享受/B=受領 イ A=受領/B=享受
- ウ A=享受/B=享受 エ A=受領/B=受領

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)に見直しが要る」 B「(B)を説明する」

- ア A=理由/B=故 イ A=故/B=理由
- ウ A=故/B=故 エ A=理由/B=理由

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 説明がフソクしていたため、例を二つ加えた。 | (9) 銀行から設備資金のユウシを受けた。 |
| (2) 緊張をほぐそうとしたジョウダンで、皆が笑った。 | (10) 整数とショウスウを分けて計算した。 |
| (3) 十八歳イジョウの人が申し込める。 | (11) 町のレキシを、古文書と地図からたどった。 |
| (4) その作家は八十歳をキョウネンとして亡くなった。 | (12) 雨で試合時間が三十分エンチョウされた。 |
| (5) 小さな油断が大きなジコにつながった。 | (13) 事故の知らせを受け、ソクジに現場へ向かった。 |
| (6) 散らばっていた団体を一つにキュウゴウした。 | (14) 手術で腫瘍をテキシュツした。 |
| (7) 大きなコンナンに直面しても、協力して進んだ。 | (15) 家庭でも職場でも使えるハンヨウの道具だ。 |
| (8) 兄は春から国立ダイガクへ通う。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 汎用 () | (17) 微妙 () | (18) 散漫 () | (19) 曖昧 () | (20) 剥離 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

削って残すもの

町の案内文を短くするため、悠人は長い原稿から文を次々に削った。完成した文は簡潔だったが、「雨天の場合は延期する」という重大な条件まで消えていた。短い文が必ず分かりやすいとは限らない。

真央は、原稿を「結論・理由・例・条件」に分けた。散漫な前置きや同じ説明の繰り返しは冗長なので縮小できる。しかし、なぜその結論になるのかを示す理由と、例外となる条件は残す必要がある。

【削る前の点検】結論は何か／故にと続く理由はあるか／以後の行動が分かるか／不明な指示語はないか

二人の意見は一度紛糾した。悠人は果敢に削るべきだと言い、真央は詳しいほど親切だと考えた。先生は、どちらかを即座に選ぶのではなく、読む人が行動するために必要な情報を指摘するよう求めた。

案内を読み直すと、「会場の魅力を享受できます」という表現は、何を体験できるのか曖昧だった。展示と対話会が融合した企画だと具体的に書き、汎用の決まり文句は外した。微妙な意味の違いも、目的に即して選び直した。

壁から古い表示を剥がす作業の説明にも問題があった。「表面を取る」とだけ書くと、塗装まで傷つけるおそれがある。剥離してよい層と残す層を示すと、難問に見えた作業の範囲が明らかになった。

先生は、考えを短くすることを、内容の表面をただ剥がすことに例えた。必要な根拠まで奪えば、文は軽くなるが骨組みを失う。反対に、経歴や背景をすべて載せれば、重要な点が埋もれる。

二人は、結論と理由を残し、重複だけを削った。以後の予定と延期の条件も一行で示した。短さは文字数だけで決まらない。読む人が考えの形をたどれるよう、何を残し何を削るか判断することが、推敲なのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「必要以上に長く要点がつかみにくい」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「アイマイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「即座」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア その場ですぐに。

イ 必要以上に長いまま。

ウ 表面の層をはがして。

エ 異なるものを混ぜずに。

(4) 本文でいう「骨組み」とは、何を指しているか。

ア 文章に使われている漢字の画数。

イ 古い表示の下にある壁の材料。

ウ 案内に関係する人の経歴のすべて。

エ 読み手が結論へ至る道筋をたどるために必要な理由や条件。

(5) 悠人の最初の案内文が、短くても分かりやすくなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「冗長」「指摘」の二語を用い、文章を短くするときの手順を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| (1) ウ はっきり分らないこと。 | (4) エ 解くことが難しい問題。 |
| (2) イ その時や場所から後。 | (5) ウ 必要以上に長く要点がつかみにくいこと。 |
| (3) ア 前の事柄を理由として後を導く語。 | (6) イ 利益やよさを受け取り自分のものとする事。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 不明 | (8) 果敢 |
| (2) 以後 | (9) 重大 |
| (3) 故に | (10) 縮小 |
| (4) 難問 | (11) 経歴 |
| (5) 冗長 | (12) 延期 |
| (6) 享受 | (13) 即座 |
| (7) 紛糾 | (14) 指摘 |

使い分けを確かめよう：故は文章で前の事柄を受けて結論へ導く硬い言い方、理由はそうなるわけを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 故は文章で前の事柄を受けて結論へ導く硬い言い方、理由はそうなるわけを広く表す。

用例：故に見直しが要る／理由を説明する

(2) イ 冗長は必要以上に長く要点が見えにくいこと、詳しいは必要な情報が細かく示されることを表す。

用例：冗長な前置きを削る／詳しい手順を書く

(3) エ 享受は利益やよさを受け取り味わうこと、受領は物や書類を正式に受け取ることを表す。

用例：自由を享受する／書類を受領する

(4) イ 指摘は問題となる点を取り上げて示すこと、批判は根拠をもとに価値や妥当性を検討することを表す。

用例：誤りを指摘する／制度を批判する

(5) ア A=享受、B=受領。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A=故、B=理由。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 不足	(11) 歴史
(2) 冗談	(12) 延長
(3) 以上	(13) 即時
(4) 享年	(14) 摘出
(5) 事故	(15) 汎用
(6) 糾合	(16) はんよう
(7) 困難	(17) びみょう
(8) 大学	(18) さんまん
(9) 融資	(19) あいまい
(10) 小数	(20) はくり

七 文章の中で考えよう

- (1) 冗長 本文中では「冗長」と表されている。
- (2) 曖昧
- (3) ア その場ですぐに。
- (4) エ 読み手が結論へ至る道筋をたどるために必要な理由や条件。
- (5) 解答例 (46 字)

重複だけでなく、雨天時の延期という行動に必要な条件まで削り、読む人が判断できなくなったから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (77 字)

まず結論・理由・例・条件に分け、読む人が行動するために必要な点を指摘する。そのうえで、同じ説明や散漫な前置きなど冗長な部分だけを削り、考えの骨組みを残す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第八回

身近な動作

動詞の向きと対象を確かめ、行動の順が見える形にする。

今日の中心漢字

出 立 引 提 処 寄 為 携

いっしょに覚える漢字

入	逆	振	扱	抛	殴
踏	撤	循	敷	逐	踐

出入り・持ち運び・操作を表す語を確かめたあと、防災訓練の手順を動作ごとに分け、安全に実践する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
出	シュツ・スイ・で る・だす	内から外へ 出る・提出・出発	処	ショ	その場に応じて扱う 処理・処置・対処
立	リツ・リュウ・た つ	まっすぐ立つ／成り立つ 立つ・独立・設立	寄	キ・よる・よせる	近づく／集める 寄る・寄付・寄せる
引	イン・ひく	手前へ動かす／導く 引く・引用・引率	為	イ・ため・なす	行う／目的 行為・為す・ため
提	テイ・さげる	差し出す／掲げる 提げる・提案・提出	携	ケイ・たずさえる	身につけて持つ／組む 携える・携帯・提携

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
入	ニウ・いる・は いる	外から内へ 入る・入口・記入	踏	トウ・ふむ・ふま える	足を置く／経験する 踏む・踏切・踏襲
逆	ギャク・さか・さ からう	反対の向き 逆・逆転・逆行	撤	テツ	取り除く／引き上げる 撤去・撤回・撤退
振	シン・ふる・ふる う	動かす／割り当てる 振る・振動・振替	循	ジュン	めぐる／順にたどる 循環・循序
扱	あつかう	手で動かす／取り上げる 扱う・取扱い・扱い	敷	フ・しく	広げて置く 敷く・敷地・屋敷
抛	キョ・コ・よる	よりどころ／場所を占める 根拠・拠点・占拠	逐	チク	追う／順に進める 逐次・駆逐
殴	オウ・なぐる	強く打つ 殴る・殴打	践	セン	踏む／実際に行う 実践・実践的

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「提出」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人々を連れて行くこと。
- イ 起きたことに応じて処理すること。
- ウ 人が意志をもってすること。
- エ 書類や作品を差し出すこと。

(2) 「設立」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 考えや方法を示して相談に出すこと。
- イ お金や物を役立ててもらうため差し出すこと。
- ウ 組織や施設を新しくつくること。
- エ 身につけて持ち歩くこと。

(3) 「引率」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 起きたことに応じて処理すること。
- イ 人々を連れて行くこと。
- ウ 人が意志をもってすること。
- エ 書類や作品を差し出すこと。

(4) 「提案」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 考えや方法を示して相談に出すこと。
- イ お金や物を役立ててもらうため差し出すこと。
- ウ 身につけて持ち歩くこと。
- エ 組織や施設を新しくつくること。

(5) 「対処」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人が意志をもってすること。
- イ 書類や作品を差し出すこと。
- ウ 人々を連れて行くこと。
- エ 起きたことに応じて処理すること。

(6) 「寄付」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 身につけて持ち歩くこと。
- イ 組織や施設を新しくつくること。
- ウ お金や物を役立ててもらうため差し出すこと。
- エ 考えや方法を示して相談に出すこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 提出 寄付 振動 設立 行為 取扱い 引率 携帯 拠点 提案 記入 殴打 対処 逆行

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| (1) 申込書は金曜日までに窓口へ（ ）する。 | (8) 山歩きでは地図と飲み水を必ず（ ）する。 |
| (2) 住民が資金を出し合い、新しい協同組合を（ ）した。 | (9) 緊急時の連絡先を欄内に（ ）してください。 |
| (3) 教師が児童を（ ）して博物館を見学した。 | (10) 時代の流れに（ ）する制度は、やがて行き詰まる。 |
| (4) 会議で、空き教室を自習室にする案を（ ）した。 | (11) 近くを大型車が通るたび、窓ガラスが（ ）した。 |
| (5) 機器の故障にも落ち着いて（ ）できる手順を整えた。 | (12) 薬品の（ ）には、十分な注意が必要だ。 |
| (6) 卒業生から図書館へ多くの本が（ ）された。 | (13) この港を（ ）として、離島へ物資を運ぶ。 |
| (7) 相手を傷つける（ ）には、責任が伴う。 | (14) 駅前で通行人が（ ）され、警察が捜査を始めた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「携える」と「持つ」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 持つは身につけて一緒に運ぶこと、携えるは手に取ることや所有することを広く表す。
- イ 携えるは「荷物を（ ）」だけに、持つは「地図を（ ）」だけに使う。
- ウ 携えるは身につけて一緒に運ぶこと、持つは手に取ることや所有することを広く表す。
- エ 「地図を（ ）」と「荷物を（ ）」では、携えると持つを意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「寄る」と「近づく」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 寄るは目的の場所へ立ち寄ることにも使い、近づくは距離が小さくなることを広く表す。
- イ 近づくは目的の場所へ立ち寄ることにも使い、寄るは距離が小さくなることを広く表す。
- ウ 寄るは「出口へ（ ）」だけに、近づくは「拠点に（ ）」だけに使う。
- エ 「拠点に（ ）」と「出口へ（ ）」では、寄ると近づくを意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「撤去」と「移動」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 移動は不要・危険な物をその場所から取り除くこと、撤去は位置を変えることを広く表す。
- イ 撤去は「机を（ ）する」だけに、移動は「障害物を（ ）する」だけに使う。
- ウ 撤去は不要・危険な物をその場所から取り除くこと、移動は位置を変えることを広く表す。
- エ 「障害物を（ ）する」と「机を（ ）する」では、撤去と移動を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「実践」と「練習」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 実践は考えや方法を実際のある場で行うこと、練習は上達や準備のため繰り返すことを表す。
- イ 練習は考えや方法を実際の場で行うこと、実践は上達や準備のため繰り返すことを表す。
- ウ 実践は「合図を（ ）する」だけに、練習は「避難方法を（ ）する」だけに使う。
- エ 「避難方法を（ ）する」と「合図を（ ）する」では、実践と練習を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「避難方法を（A）する」 B「合図を（B）する」

- ア A=練習／B=実践 イ A=実践／B=実践
- ウ A=実践／B=練習 エ A=練習／B=練習

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「拠点に（A）」 B「出口へ（B）」

- ア A=近づく／B=寄る イ A=寄る／B=寄る
- ウ A=近づく／B=近づく エ A=寄る／B=近づく

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 列車は予定どおり駅をシュッパツした。 | (9) 参加費は、指定の口座へフリカエてください。 |
| (2) 集めたデータを分類してショリした。 | (10) 主張を支えるコンキョを、本文から示した。 |
| (3) 植民地だった国がドクリツを果たした。 | (11) 使われなくなった看板をテッキョした。 |
| (4) 他人の文章をインヨウするときは、出典を示す。 | (12) 水は蒸発と降雨を繰り返してジュンカンする。 |
| (5) 二社が研究開発でテイケイすることになった。 | (13) 学校のシキチには、古い桜の木がある。 |
| (6) 建物のイリグチに、案内板が立っている。 | (14) 新しい薬によって、病原菌をクチクする。 |
| (7) 警報が鳴っているフミキリには入らない。 | (15) 学んだ知識を、実際の対話でジッセンした。 |
| (8) 後半に得点を重ね、試合をギャクテンした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 撤去 () | (17) 循環 () | (18) 敷地 () | (19) 逐次 () | (20) 実践 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

動きを一つずつ置く

地域の防災訓練で、悠人たちの班は避難手順を作った。最初の案には「荷物を持って外へ出る」としか書かれていない。だが、入口へ逆行する人がいたり、重い物を携帯したまま走ったりすれば危険である。

真央は、行為を一つずつ分ける提案をした。名簿へ記入する、非常袋を携える、列を作って立つ、引率者の合図で出る、拠点へ寄る。動詞の対象と順番を明らかにすると、だれが何をするかが見えてくる。

【手順の書き方】動作／対象／向き／担当／次の動作へ移る条件を逐次示す

体育館の敷地には、古い看板と壊れた柵があった。班は障害物を撤去し、床に誘導線を敷いた。振動で柵が倒れた場合の対処も考え、物の取扱いを確かめた。

訓練では、前の方法をそのまま踏襲せず、車いすの人や小さい子どもの動きも試した。助けるために腕を強く引くと、かえって転倒することがある。殴打するような力ではなく、本人に声をかけ、支え方を相談する。助ける側の速さを押しつけず、相手が動き始める合図を待つことも手順に加えた。

避難所では、水を配り、使った容器を回収する循環も必要になる。寄付された物を受け取るだけでなく、種類ごとに処理し、必要な人へ届ける流れを設立時から考えておくことが大切だった。

一度の練習で、手順どおりに動けない場面がいくつも見つかった。悠人は失敗を消すのではなく、どこで逆行や混雑が起きたかを記録した。根拠のない命令を増やすより、実際の動きを見て手順を直すほうがよい。

最後に、班は修正版をもう一度実践した。動作を細かく書くことは、人を機械のように動かすためではない。異なる人が安全に行動し、状況に応じて判断できるよう、動きの道筋を共有するためなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「決めた順に一つずつ進めること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「テッキョ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「踏襲」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 反対の方向へ進むこと。

イ 前の方法や形式を受け継ぐこと。

ウ 置かれた物を取り除くこと。

エ お金や物を差し出すこと。

(4) 動作を一つずつ分けて手順に書く目的は何か。

ア 全員を同じ速さで機械的に動かすこと。

イ 失敗した人を見つけて責任を問うこと。

ウ 動作の対象・向き・担当を明らかにし、異なる人が安全に判断して動けるようにすること。

エ 前の訓練方法を一切変えずに残すこと。

(5) 班が、前の避難方法をそのまま踏襲しなかったのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「逐次」「実践」の二語を用い、安全な手順を作る方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) エ 書類や作品を差し出すこと。 | (4) ア 考えや方法を示して相談に出すこと。 |
| (2) ウ 組織や施設を新しくつくること。 | (5) エ 起きたことに応じて処理すること。 |
| (3) イ 人々を連れて行くこと。 | (6) ウ お金や物を役立ててもらうため差し出すこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 提出 | (8) 携帯 |
| (2) 設立 | (9) 記入 |
| (3) 引率 | (10) 逆行 |
| (4) 提案 | (11) 振動 |
| (5) 対処 | (12) 取扱い |
| (6) 寄付 | (13) 拠点 |
| (7) 行為 | (14) 殴打 |

使い分けを確かめよう：携えるは身につけて一緒に運ぶこと、持つは手に取ることや所有することを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) ウ 携えるは身につけて一緒に運ぶこと、持つは手に取ることや所有することを広く表す。
用例：地図を携える／荷物を持つ
- (2) ア 寄るは目的の場所へ立ち寄ることに使い、近づくは距離が小さくなることを広く表す。
用例：拠点に寄る／出口へ近づく
- (3) ウ 撤去は不要・危険な物をその場所から取り除くこと、移動は位置を変えることを広く表す。
用例：障害物を撤去する／机を移動する
- (4) ア 実践は考えや方法を実際のある場で行うこと、練習は上達や準備のため繰り返すことを表す。
用例：避難方法を実践する／合図を練習する
- (5) ウ A=実践、B=練習。(4)の使い分けを参照。
- (6) エ A=寄る、B=近づく。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 出発	(11) 撤去
(2) 処理	(12) 循環
(3) 独立	(13) 敷地
(4) 引用	(14) 駆逐
(5) 提携	(15) 実践
(6) 入口	(16) てっきょ
(7) 踏切	(17) じゅんかん
(8) 逆転	(18) しきち
(9) 振替	(19) ちくじ
(10) 根拠	(20) じっせん

七 文章の中で考えよう

- (1) 逐次 本文中では「逐次」と表されている。
- (2) 撤去
- (3) イ 前の方法や形式を受け継ぐこと。
- (4) ウ 動作の対象・向き・担当を明らかにし、異なる人が安全に判断して動けるようにすること。
- (5) 解答例（47 字）

車いすの人や幼い子どもなど、動き方の異なる人にも安全な手順かを実際に確かめる必要があったから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（72 字）

動作の対象・向き・担当と次へ移る条件を逐次示し、異なる人が使えるか実践して確かめる。混雑や逆行が起きた場所を記録し、その根拠から手順を修正する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第九回

状態の違いを見る

一枚の印象で決めず、時間を置いて状態の変化を比べる。

今日の中心漢字

重 有 太 若 困 辛 茂 寂

いっしょに覚える漢字

反	段	絶	措	壮	濃
冶	旺	織	涉	捻	変※

重さ・濃さ・盛衰など状態を表す語を確かめたあと、町の空き地が変わる過程を継続して記録する文章を読みます。 ※再会漢字：変（第一冊第四回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
重	ジュウ・チョウ・ おもい・かさねる	重い／重なる 重い・重要・重複	困	コン・こまる	動けず苦しむ 困る・困難・困窮
有	ユウ・ウ・ある	存在する／持つ 有る・所有・有効	辛	シン・からい・つ らい	からい／つらい 辛い・辛苦・辛抱
太	タイ・タ・ふとい	太い／大きい 太い・太陽・太字	茂	モ・しげる	草木が盛んに生える 茂る・繁茂
若	ジャク・ニャク・ わかい	年が少ない／いくらか 若い・若者・若干	寂	ジャク・セキ・さ びしい	静か／さびしい 寂しい・静寂・寂然

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
反	ハン・ホン・タ ン・そる	反対／はね返る 反対・反応・違反	冶	ヤ	金属をとかして整える 冶金・鍛冶・陶冶
段	ダン	段差／程度の区切り 段階・手段・階段	旺	オウ	勢いが盛ん 旺盛・健旺
絶	ゼツ・たえる・た つ	切れる／この上ない 絶える・絶対・断絶	織	セン	細い／細やか 織細・繊維
措	ソ	置く／取り計らう 措置・措辞	捗	チョク	仕事が進む 進捗
壮	ソウ	力強く大きい 壮大・壮年・悲壮	捻	ネン・ひねる	ねじる／工夫して生む 捻る・捻出
濃	ノウ・こい	色や中身が多い 濃い・濃度・濃厚	変 ※	ヘン・かわる・か える	再会：前と違う状態になる 変わる・変化・変換

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「重要」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 特に大切に影響が大きいこと。
- イ 線を太くして目立たせた文字。
- ウ 生活などに必要なものが足りず苦しむこと。
- エ 草木が盛んに生い茂ること。

(2) 「有効」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア それほど多くない程度。
- イ つらく苦しい経験。
- ウ 物音がなく静かなこと。
- エ 効果や働きがあること。

(3) 「太字」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活などに必要なものが足りず苦しむこと。
- イ 草木が盛んに生い茂ること。
- ウ 線を太くして目立たせた文字。
- エ 特に大切に影響が大きいこと。

(4) 「若干」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア つらく苦しい経験。
- イ それほど多くない程度。
- ウ 物音がなく静かなこと。
- エ 効果や働きがあること。

(5) 「困窮」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活などに必要なものが足りず苦しむこと。
- イ 草木が盛んに生い茂ること。
- ウ 特に大切に影響が大きいこと。
- エ 線を太くして目立たせた文字。

(6) 「辛苦」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物音がなく静かなこと。
- イ 効果や働きがあること。
- ウ それほど多くない程度。
- エ つらく苦しい経験。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 重要 辛苦 断絶 有効 繁茂 措置 太字 静寂 壮大 若干 反応 濃度 困窮 段階

(1) 結論に関わる () な資料だけを先に確認した。 (8) 雪の朝、山小屋の周りを深い () が包んだ。

(2) 古い設備でも、手入れをすればまだ () に使える。 (9) 薬を飲んだ後の体の () を記録した。

(3) 注意事項は () にして、見落としにくくした。 (10) 計画はまだ準備の () で、実施には至っていない。

(4) 募集枠には () 名の余裕がある。 (11) 国交の () が、家族の往来まで難しくした。

(5) 洪水で家を失った家族は、長く () した。 (12) 感染拡大を防ぐため、臨時の () が取られた。

(6) 開拓者たちは多くの () を重ねて水路を完成させた。 (13) 山脈を越えて続く () な景色に息をのんだ。

(7) 雨の多い森では、木々や草が一面に () している。 (14) 水槽では、塩分の () を一定に保っている。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「重要」と「重い」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 重いは意味や影響が大きく大切なこと、重要は重量や負担、気分などを広く表す。
- イ 重要は意味や影響が大きく大切なこと、重いは重量や負担、気分などを広く表す。
- ウ 重要は「() 石」だけに、重いは「() な記録」だけに使う。
- エ 「() な記録」と「() 石」では、重要と重いを意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「困難」と「辛い」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 辛いは達成や解決が難しいこと、困難は経験する人の苦しさや味の刺激を表す。
- イ 困難は「別れが()」だけに、辛いは「作業が() だ」だけに使う。
- ウ 「作業が() だ」と「別れが()」では、困難と辛いを意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 困難は達成や解決が難しいこと、辛いは経験する人の苦しさや味の刺激を表す。

(3) 「静寂」と「寂しい」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 寂しいは周囲に物音がない状態、静寂は孤独や物足りなさを感じる気持ちを表す。
- イ 静寂は周囲に物音がない状態、寂しいは孤独や物足りなさを感じる気持ちを表す。
- ウ 静寂は「一人で()」だけに、寂しいは「森の()」だけに使う。
- エ 「森の()」と「一人で()」では、静寂と寂しいを意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「進捗」と「変化」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 変化は計画や仕事がどこまで進んだか、進捗は前とは異なる状態になったことを広く表す。
- イ 進捗は「水質の() を記録する」だけに、変化は「工事の() を確認する」だけに使う。
- ウ 「工事の() を確認する」と「水質の() を記録する」では、進捗と変化を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 進捗は計画や仕事がどこまで進んだか、変化は前とは異なる状態になったことを広く表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A) な記録」 B「(B) 石」

- ア A=重要/B=重い イ A=重い/B=重要
- ウ A=重要/B=重要 エ A=重い/B=重い

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「森の(A)」 B「一人で(B)」

- ア A=寂しい/B=静寂 イ A=静寂/B=寂しい
- ウ A=静寂/B=静寂 エ A=寂しい/B=寂しい

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 同じ説明のジュウフクを避け、文章を短くした。 | (9) 限られた時間で調べるシュダンを考えた。 |
| (2) この森は国がショユウし、保護している。 | (10) 約束はゼツタイに守ると、強い口調で言った。 |
| (3) 結果が出るまで、焦らずシンボウした。 | (11) 柔らかなソジを選び、断りの手紙を書いた。 |
| (4) 朝になると、タイヨウの光が窓へ差し込む。 | (12) 三十代から五十代をソウネン期と呼ぶことがある。 |
| (5) 地域のワカモノが、祭りの運営を支えている。 | (13) 花からノウコウな香りが漂っていた。 |
| (6) 寺の庭はジャクネンとして、鳥の声だけが響いた。 | (14) 学ぶ意欲がオウセイで、質問が尽きない。 |
| (7) 規則へのイハンが見つかり、改善を求められた。 | (15) 相手の気持ちを傷つけないセンサイな配慮が要る。 |
| (8) 金属を加工するヤキン技術が発達した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 旺盛 () | (17) 繊細 () | (18) 進捗 () | (19) 捻出 () | (20) 変化 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一枚では見えない変化

駅裏の空き地を公園に変える計画が始まり、悠人たちは毎月写真を撮ることになった。最初の一枚には草が繁茂し、古い鍛冶工房だけが静寂の中に残っていた。写真だけを見ると、何も進んでいないように見えた。

真央は、進捗を「終わった・終わらない」の二つで示すのではなく、段階に分けた。土の調査、危険物への措置、設計、工事、植栽である。若干の遅れがあっても、どの段階にいるかを見れば、作業の状態を具体的に説明できる。

【月ごとの記録】写真／作業の段階／水の濃度／植物の反応／困ったこと／次に必要な措置

調査では、土に含まれる成分の濃度が高い場所が見つかった。そこは使用をいったん止め、専門家が繊細な検査を行った。早く完成させることより、安全を確かめることが重要だった。

計画が遅れると、利用を待つ若者から不満も出た。工事費を捻出できるか不安になり、担当者は困窮している店への影響も調べた。公園の壮大な完成図だけでは、途中の辛苦や負担は見えない。

一方で、地域の参加意欲は旺盛だった。古い工房と町のつながりを断絶させず、鍛冶の道具を展示する案が出た。過去を残すことと、新しい用途をつくることは、必ずしも反対ではない。

半年分の写真を並べると、土の色、草の量、人の動きが少しずつ変わっていた。太字で「完成」と書ける日はまだ先でも、小さな変化には有効な働きがある。記録の項目を重ねることで、一枚では見えなかった流れが現れた。

悠人は、第一冊で学んだ「変」に再会し、変化には速いものと遅いもの、目立つものと目立たないものがあると知った。状態を比べるには、同じ場所を同じ方法で見続ける必要がある。記録は、途中を消さずに未来を考えるための道具なのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「仕事や計画がどこまで進んだか」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「ハンモ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「措置」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 仕事を一度ですべて完成させること。

イ 写真の文字を太くすること。

ウ 状況に応じて必要な処理をすること。

エ 人の気持ちを静かにすること。

(4) 進捗を段階に分けることには、どのような利点があるか。

ア 工事の遅れを記録から消せること。

イ 完成していなくても、何が済み、どこで課題が生じているかを具体的に示せること。

ウ 完成図だけで途中の負担まで分かること。

エ 毎月の写真を撮らなくてもよくなること。

(5) 古い工房を残す案が、計画の妨げだけとは考えられなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「段階」「変化」の二語を用い、進み方の遅い計画を記録する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) ア 特に大切に影響が大きいこと。 | (4) イ それほど多くない程度。 |
| (2) エ 効果や働きがあること。 | (5) ア 生活などに必要なものが足りず苦しむこと。 |
| (3) ウ 線を太くして目立たせた文字。 | (6) エ つらく苦しい経験。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 重要 | (8) 静寂 |
| (2) 有効 | (9) 反応 |
| (3) 太字 | (10) 段階 |
| (4) 若干 | (11) 断絶 |
| (5) 困窮 | (12) 措置 |
| (6) 辛苦 | (13) 壮大 |
| (7) 繁茂 | (14) 濃度 |

使い分けを確かめよう：重要は意味や影響が大きく大切なこと、重いは重量や負担、気分などを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 重要は意味や影響が大きく大切なこと、重いは重量や負担、気分などを広く表す。

用例：重要な記録／重い石

(2) エ 困難は達成や解決が難しいこと、辛いは経験する人の苦しさや味の刺激を表す。

用例：作業が困難だ／別れが辛い

(3) イ 静寂は周囲に物音がない状態、寂しいは孤独や物足りなさを感じる気持ちを表す。

用例：森の静寂／一人で寂しい

(4) エ 進捗は計画や仕事がどこまで進んだか、変化は前とは異なる状態になったことを広く表す。

用例：工事の進捗を確認する／水質の変化を記録する

(5) ア A＝重要、B＝重い。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝静寂、B＝寂しい。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 重複	(11) 措辞
(2) 所有	(12) 壮年
(3) 辛抱	(13) 濃厚
(4) 太陽	(14) 旺盛
(5) 若者	(15) 繊細
(6) 寂然	(16) おうせい
(7) 違反	(17) せんさい
(8) 冶金	(18) しんちよく
(9) 手段	(19) ねんしゅつ
(10) 絶対	(20) へんか

七 文章の中で考えよう

- (1) 進捗 本文中では「進捗」と表されている。
- (2) 繁茂
- (3) ウ 状況に応じて必要な処理をすること。
- (4) イ 完成していなくても、何が済み、どこで課題が生じているかを具体的に示せること。
- (5) 解答例 (45 字)

町とのつながりを断絶させず、鍛冶の道具を新しい公園の展示として生かせる可能性があったから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (76 字)

完成か未完成かで分けず、調査・措置・工事などの段階ごとに同じ項目を記録する。写真や数値を時間順に比べれば、小さな変化と途中で生じた課題を捉えられる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十回

社会の仕組み

「みんなのため」を、異なる立場から確かめ直す。

今日の中心漢字

会 公 部 員 団 私 班 宴

いっしょに覚える漢字

格	統	閉	異	郵	庶
豪	網	閑	冥	斬	翼

組織・公共・集まりを表す語を確かめたあと、町の会館をだれもが使える場にする仕組みについて考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
会	カイ・エ・あう	集まる／組織 会う・会議・社会	団	ダン・トン	まとまった集まり 団体・集団・団結
公	コウ・おおやけ	皆に開かれたもの 公共・公園・公表	私	シ・わたくし・わ たし	自分／公でない 私・私立・公私・私的
部	ブ	全体の一部分／組織 部分・部屋・部員	班	ハン	小さく分けた組 班・班長・各班
員	イン	組織を構成する人 会員・店員・委員	宴	エン	酒食をともにする集まり 宴・宴会・祝宴

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
格	カク・コウ	身分／基準／骨組み 資格・格式・合格	豪	ゴウ	力が強い／ぜいたく 豪雨・豪華・富豪
統	トウ・すべる	一つにまとめる 統一・統計・伝統	網	モウ・あみ	糸を組んだもの／つながり 網・網羅・通信網
閉	ヘイ・とじる・し まる	とじる／終える 閉じる・閉会・閉鎖	閑	カン	ひま／静か 閑静・閑散・農閑期
異	イ・ことなる	違っている 異なる・異議・異文化	冥	メイ・ミョウ	暗い世界／死後 冥福・冥界・冥想
郵	ユウ	手紙や荷物を送る 郵便・郵送・郵便局	斬	ザン・きる	刀で切る／鋭く新しい 斬る・斬新・斬首
庶	ショ	多くの人／一般 庶民・庶務・庶子	翼	ヨク・つばさ	鳥のつばさ／支える部分 翼・左翼・一翼

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「会議」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 部に所属する人。
- イ 人が集まり議題について話し合うこと。
- ウ 同じ目的などで集まった人々。
- エ 班をまとめる人。

(2) 「公共」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会の多くの人に関わること。
- イ 会に所属する人。
- ウ 個人に関すること。
- エ 人が集まり飲食を楽しむ会。

(3) 「部員」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 同じ目的などで集まった人々。
- イ 班をまとめる人。
- ウ 人が集まり議題について話し合うこと。
- エ 部に所属する人。

(4) 「会員」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 個人に関すること。
- イ 人が集まり飲食を楽しむ会。
- ウ 会に所属する人。
- エ 社会の多くの人に関わること。

(5) 「団体」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 班をまとめる人。
- イ 同じ目的などで集まった人々。
- ウ 人が集まり議題について話し合うこと。
- エ 部に所属する人。

(6) 「私的」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 個人に関すること。
- イ 人が集まり飲食を楽しむ会。
- ウ 社会の多くの人に関わること。
- エ 会に所属する人。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 会議 私的 閉鎖 公共 班長 異議 部員 宴会 郵送 会員 資格 庶務 団体 統計

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) 午後の（ ）で、来年度の方針を話し合う。 | (8) 式の後、来賓を招いて小さな（ ）が開かれた。 |
| (2) 道路や公園は、多くの人が使う（ ）の場所である。 | (9) 受験に必要な（ ）を満たしているか確認する。 |
| (3) 吹奏楽部の（ ）が、放課後に練習を始めた。 | (10) 人口の変化を（ ）から読み取った。 |
| (4) 登録した（ ）には、毎月会報が届く。 | (11) 老朽化した橋は、安全のため一時（ ）された。 |
| (5) 複数の市民（ ）が、川の清掃に参加した。 | (12) 提案の一部に（ ）を唱える意見も出た。 |
| (6) 職場の機器を（ ）な目的で使ってはいけない。 | (13) 完成した書類を本部へ（ ）した。 |
| (7) （ ）が作業の分担と進み具合を確認した。 | (14) 備品の管理や連絡などの（ ）を担当する。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「公共」と「私的」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 公共は社会の多くの人に関わること、私的は個人や限られた仲間に関することを表す。
- イ 私的は社会の多くの人に関わること、公共は個人や限られた仲間に関することを表す。
- ウ 公共は「（ ）な集まり」だけに、私的は「（ ）施設を使う」だけに使う。
- エ 「（ ）施設を使う」と「（ ）な集まり」では、公共と私的を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「部」と「班」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 班は目的をもつ比較的大きな組織や全体の一部分、部は作業のため小さく分けた組を表す。
- イ 部は「調査（ ）を作る」だけに、班は「美術（ ）に入る」だけに使う。
- ウ 部は目的をもつ比較的大きな組織や全体の一部分、班は作業のため小さく分けた組を表す。
- エ 「美術（ ）に入る」と「調査（ ）を作る」では、部と班を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「閉会」と「中止」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 閉会は会を予定どおり、または途中で終えること、中止は行う予定そのものを取りやめることを表す。
- イ 中止は会を予定どおり、または途中で終えること、閉会は行う予定そのものを取りやめることを表す。
- ウ 閉会は「催しを（ ）する」だけに、中止は「式を（ ）する」だけに使う。
- エ 「式を（ ）する」と「催しを（ ）する」では、閉会と中止を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「網羅」と「列举」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 列举は必要な事柄を広く残さず取り入れること、網羅は事柄を順に並べて挙げることを表す。
- イ 網羅は「課題を（ ）する」だけに、列举は「意見を（ ）する」だけに使う。
- ウ 網羅は必要な事柄を広く残さず取り入れること、列举は事柄を順に並べて挙げることを表す。
- エ 「意見を（ ）する」と「課題を（ ）する」では、網羅と列举を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「美術（A）に入る」 B「調査（B）を作る」

- ア A＝班／B＝部 イ A＝部／B＝部
- ウ A＝部／B＝班 エ A＝班／B＝班

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「意見を（A）する」 B「課題を（B）する」

- ア A＝列举／B＝網羅 イ A＝網羅／B＝網羅
- ウ A＝列举／B＝列举 エ A＝網羅／B＝列举

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 大人数のシュウダンでは、役割分担が大切だ。 | (9) 表記をひらがなにトウイツし、読みやすくした。 |
| (2) 休日のコウエンで、地域の催しが開かれた。 | (10) 議長の挨拶で会議がヘイカイした。 |
| (3) 彼は公立ではなくシリツの学校を選んだ。 | (11) 手紙をユウビンで送り、到着を待った。 |
| (4) 壊れたブブンだけを取り替え、道具を使い続けた。 | (12) 昔のショミンの暮らしを、絵巻から読み取った。 |
| (5) 店のテンインに、商品の違いを尋ねた。 | (13) 関係する資料をモウラシ、一覧にまとめた。 |
| (6) 結婚を祝うシュクエンに、多くの人が集まった。 | (14) 住宅街のカンセイな一角に図書館がある。 |
| (7) 古い家のカクシキを保ちながら、内部を改修した。 | (15) 亡くなった方のメイフクを静かに祈った。 |
| (8) 会場は花と灯りでゴウカに飾られていた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 網羅 () | (17) 閑散 () | (18) 冥福 () | (19) 斬新 () | (20) 一翼 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

だれのための会館か

町の会館を改修するため、利用者会議が開かれた。会員、文化部の部員、地域の団体、郵便局の職員などが集まった。班長の真央は、公共の場だから多数の希望を採用すればよいと考えていた。

統計では、昼間の利用が多く、夜は閑散としていた。そこで宴会用の部屋を増やす斬新な案が出た。しかし、静かな読書会や冥福を祈る集まりに使う人からは、音への異議が示された。

【利用を考える視点】人数／時間帯／資格の有無／私的利用と公共利用／使えていない人の声

悠人は、今いる利用者の希望を網羅するだけでは足りないと言った。入口の段差のため来られない人や、申込書を郵送できず利用を諦めた人は、統計に表れにくい。閉鎖された倉庫を活用し、相談窓口を置く案も出た。

豪雨のとき、会館は避難所になる。平常時の便利さだけでなく、非常時に異なる人が安全に過ごせるかも公共性の一部である。庶務を担当する職員は、部屋の鍵、食料、通信網の管理まで検討した。

会議は一度では閉会できなかった。私的な宴会の自由も大切だが、音や時間がほかの活動を妨げる場合がある。利用を禁止するのではなく、部屋の配置と時間帯を分けることで、異なる目的を両立できる。

最終案では、大広間だけでなく小部屋、静かな区画、子どもの場所を設けた。文化団体だけでなく、まだ会員でない人も予約できる。会館を支える一翼を、利用者自身が担う仕組みも作った。受付の説明は複数の方法で示し、初めて来る人も庶務の担当へ相談できるようにした。

真央は、「みんなのため」という言葉の中に、今ここにいない人も含める必要があると知った。社会の仕組みは、同じ人を集めるだけではない。異なる立場の人が同じ場を使えるよう、条件と調整の方法を整えるものなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「必要な事柄を広く残さず取り入れること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「コウキョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「庶務」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 死後の幸福を祈ること。
- イ 新しい表現だけを考える仕事。
- ウ 会員の資格を取り消すこと。
- エ 組織のさまざまな事務を扱う仕事。

(4) 悠人が、現在の利用者の希望だけでは足りないと考えたのはなぜか。

- ア 会館を使えない事情をもつ人の声は、利用者の統計や会議に表れにくいから。
- イ 現在の利用者は会館について何も知らないから。
- ウ 公共施設では利用者の意見を聞いてはいけないから。
- エ 夜の利用者だけが豪雨の避難所を使うから。

(5) 宴会の自由を認めながら、静かな活動も守るために、どのような工夫をしたか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「公共」「統計」の二語を用い、会館の仕組みを考えるとときに必要な視点を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) イ 人が集まり議題について話し合うこと。 | (4) ウ 会に所属する人。 |
| (2) ア 社会の多くの人に関わること。 | (5) イ 同じ目的などで集まった人々。 |
| (3) エ 部に所属する人。 | (6) ア 個人に関すること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 会議 | (8) 宴会 |
| (2) 公共 | (9) 資格 |
| (3) 部員 | (10) 統計 |
| (4) 会員 | (11) 閉鎖 |
| (5) 団体 | (12) 異議 |
| (6) 私的 | (13) 郵送 |
| (7) 班長 | (14) 庶務 |

使い分けを確かめよう：公共は社会の多くの人に関わること、私的は個人や限られた仲間に関することを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 公共は社会の多くの人に関わることを、私的は個人や限られた仲間に関することを表す。

用例：公共施設を使う／私的な集まり

(2) ウ 部は目的をもつ比較的大きな組織や全体の一部分、班は作業のため小さく分けた組を表す。

用例：美術部に入る／調査班を作る

(3) ア 閉会は会を予定どおり、または途中で終えること、中止は行う予定そのものを取りやめることを表す。

用例：式を閉会する／催しを中止する

(4) ウ 網羅は必要な事柄を広く残さず取り入れること、列挙は事柄を順に並べて挙げることを表す。

用例：意見を網羅する／課題を列挙する

(5) ウ A＝部、B＝班。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝網羅、B＝列挙。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 集団	(11) 郵便
(2) 公園	(12) 庶民
(3) 私立	(13) 網羅
(4) 部分	(14) 閑静
(5) 店員	(15) 冥福
(6) 祝宴	(16) もうら
(7) 格式	(17) かんさん
(8) 豪華	(18) めいふく
(9) 統一	(19) ざんしん
(10) 閉会	(20) いちよく

七 文章の中で考えよう

- (1) 網羅 本文中では「網羅」と表されている。
- (2) 公共
- (3) エ 組織のさまざまな事務を扱う仕事。
- (4) ア 会館を使えない事情をもつ人の声は、利用者の統計や会議に表れにくいから。
- (5) 解答例 (45 字)

一方の利用を禁止せず、部屋の配置と使う時間帯を分けて、音がほかの活動を妨げないようにした。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

現在の利用者数を示す統計だけで決めず、段差や申込方法のため利用できない人の事情も調べる。平常時と災害時の両方から、異なる人が使える公共の条件を整える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十一回

公共とルール

禁止の言葉だけでなく、だれを何から守る規則かを読む。

今日の中心漢字

正 当 相 刑 妃 帝 吏 効

いっしょに覚える漢字

自	捕	抗	刺	控	伐
銃	窃	虜	獄	朕	傑

正当性・刑罰・統治を表す語を確かめたあと、古い法令と現在の校則を比べ、ルールの根拠を考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
正 当 相 刑	セイ・ショウ・た だしい・まさ	ただしい／まっすぐ 正しい・正確・正義	妃	ヒ	王や皇族の妻 王妃・皇太子妃
	トウ・あたる・あ てる	当てはまる／受け持つ 当然・担当・正当	帝	テイ	国を治める君主 皇帝・帝国・帝王
	ソウ・ショウ・あ い	互いに／姿を見る 相手・相談・首相	吏	リ	役所の役人 官吏・吏員・獄吏
	ケイ	法律による罰 刑・刑罰・刑法	劾	ガイ	罪や責任を問いたす 弾劾

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
自 捕 抗 刺 控 伐	ジ・シ・みずから	自分／ひとりで 自分・自由・自然	銃	ジュウ	弾丸を発射する武器 銃・銃弾・拳銃
	ホ・とらえる・つ かまえる	つかまえる 捕える・逮捕・捕獲	窃	セツ・ぬすむ	ひそかに盗む 窃盗・窃取・盗窃
	コウ・あらがう	逆らう／抵える 抵抗・抗議・抗争	虜	リョ・とりこ	捕らえられた人 捕虜・虜囚・とりこ
	シ・さす・ささる	突き入れる／刺激する 刺す・刺激・名刺	獄	ゴク	牢／裁判や刑罰 監獄・獄中・地獄
	コウ・ひかえる	差し止める／記録する 控える・控室・控訴	朕	チン	天皇・皇帝の自称 朕
	バツ・ハツ・カ・ きる	木を切る／攻める 伐採・討伐・征伐	傑	ケツ	特に優れている 英傑・傑作・豪傑

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「正確」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 問題について話し合い考えを求めること。
- イ 王の妻。
- ウ 誤りがなく確かなこと。
- エ 国や役所の仕事をする役人。

(2) 「正当」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 犯罪に対して法律に基づき科される罰。
- イ 道理や根拠にかなっていること。
- ウ 帝国を治める君主。
- エ 公職者の責任を正式に追及すること。

(3) 「相談」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 問題について話し合い考えを求めること。
- イ 王の妻。
- ウ 国や役所の仕事をする役人。
- エ 誤りがなく確かなこと。

(4) 「刑罰」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 帝国を治める君主。
- イ 公職者の責任を正式に追及すること。
- ウ 道理や根拠にかなっていること。
- エ 犯罪に対して法律に基づき科される罰。

(5) 「王妃」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 国や役所の仕事をする役人。
- イ 誤りがなく確かなこと。
- ウ 王の妻。
- エ 問題について話し合い考えを求めること。

(6) 「皇帝」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 公職者の責任を正式に追及すること。
- イ 帝国を治める君主。
- ウ 道理や根拠にかなっていること。
- エ 犯罪に対して法律に基づき科される罰。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 正確 皇帝 抗議 正当 官吏 刺激 相談 弾劾 控訴 刑罰 自由 伐採 王妃 逮捕

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| (1) 時刻と場所を（ ）に記録した。 | (8) 議会は重大な不正を理由に、大統領の（ ）手続きを始めた。 |
| (2) 事情を踏まえた（ ）な理由があれば、欠席も認められる。 | (9) 互いの（ ）を守るため、意見の違いも認め合う。 |
| (3) 一人で抱え込まず、信頼できる人に（ ）した。 | (10) 警察は令状に基づいて容疑者を（ ）した。 |
| (4) 法律は犯罪の種類に応じて（ ）を定めている。 | (11) 住民は工事計画の見直しを求めて（ ）した。 |
| (5) （ ）は国王とともに式典へ出席した。 | (12) 強い光は目への（ ）になる。 |
| (6) 古代ローマでは、（ ）が広い領土を統治した。 | (13) 一審判決に納得できず、上級裁判所へ（ ）した。 |
| (7) 地方の（ ）が、都へ税の記録を送った。 | (14) 森の無計画な（ ）が、土砂災害の危険を高めた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「正当」と「正しい」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 正しいは根拠や手続にかなうこと、正当は誤りがないことや道理にかなうことを広く表す。
- イ 正当は「答えが（ ）」だけに、正しいは「（ ）な理由」だけに使う。
- ウ 「（ ）な理由」と「答えが（ ）」では、正当と正しいを意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 正当は根拠や手続にかなうこと、正しいは誤りがないことや道理にかなうことを広く表す。

(2) 「逮捕」と「捕える」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 捕えるは法律上の手続で身体を拘束すること、逮捕は逃げる人や動物などをつかまえることを広く表す。
- イ 逮捕は法律上の手続で身体を拘束すること、捕えるは逃げる人や動物などをつかまえることを広く表す。
- ウ 逮捕は「逃げた犬を（ ）」だけに、捕えるは「被疑者を（ ）する」だけに使う。
- エ 「被疑者を（ ）する」と「逃げた犬を（ ）」では、逮捕と捕えるを意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「抵抗」と「抗議」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 抗議は力や働きに逆らう行為を広く表し、抵抗は反対の意思を言葉や行動で伝えることを表す。
- イ 抵抗は「決定に（ ）する」だけに、抗議は「圧力に（ ）する」だけに使う。
- ウ 「圧力に（ ）する」と「決定に（ ）する」では、抵抗と抗議を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 抵抗は力や働きに逆らう行為を広く表し、抗議は反対の意思を言葉や行動で伝えることを表す。

(4) 「弾劾」と「批判」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 批判は公職者の責任を正式な手続で追及すること、弾劾は考えや行為を検討し問題を指摘することを表す。
- イ 弾劾は公職者の責任を正式な手続で追及すること、批判は考えや行為を検討し問題を指摘することを表す。
- ウ 弾劾は「政策を（ ）する」だけに、批判は「大統領を（ ）する」だけに使う。
- エ 「大統領を（ ）する」と「政策を（ ）する」では、弾劾と批判を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「圧力に（A）する」 B「決定に（B）する」

- ア A=抵抗／B=抗議 イ A=抗議／B=抵抗
- ウ A=抵抗／B=抵抗 エ A=抗議／B=抗議

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）な理由」 B「答えが（B）」

- ア A=正しい／B=正当 イ A=正当／B=正しい
- ウ A=正当／B=正当 エ A=正しい／B=正しい

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) 約束をしたなら、守るのはトウゼンだ。 | (9) 戦後、ホリヨとなった兵士が故郷へ戻った。 |
| (2) 広大な領土を治めた古代テイコクを学んだ。 | (10) 受付で名前を伝え、メイシを渡した。 |
| (3) 話すアイテの立場を考え、言葉を選んだ。 | (11) 出演者は開演までヒカエシツで待機した。 |
| (4) 役所のリインが、税の記録を管理していた。 | (12) 領主は反乱を起こした集団のトウバツを命じた。 |
| (5) 犯罪と刑罰を定めるケイホウを調べた。 | (13) 調査のため、野生の鳥を一時的にホカクした。 |
| (6) まずジブンの考えを、短い言葉で書き出した。 | (14) 店の商品を盗むセツトウ事件が起きた。 |
| (7) 警察官が所持していたケンジュウを確認した。 | (15) 古いカンゴクの跡が、史跡として公開されている。 |
| (8) 住民は不当な命令にテイコウした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| (16) 窃盗 () | (17) 捕虜 () | (18) 獄中 () | (19) 朕 () | (20) 傑作 () |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

禁止の向こうにある理由

図書室の展示で、悠人たちは古い法令と現在の校則を比べた。昔の文書には、皇帝が「朕」と名乗り、官吏へ命令する文がある。王妃や帝国、討伐、捕虜、獄中といった語から、強い統治の姿が見えた。

別の資料には、窃盗への刑罰、銃弾の所持、森林の伐採を禁じる規定があった。禁止事項だけを列べると厳しく見えるが、財産・生命・環境の何を守るかによって、規則の正当性は異なる。

【ルールを読む問い】だれを守るか／何を制限するか／根拠は正確か／異議や控訴の方法はあるか

真央は、校則の「廊下を走らない」も同じだと言った。自由を制限する文だが、衝突から人を守る理由がある。一方、理由が示されず、特定の人だけを不利にする規則なら、抗議や相談の道が必要になる。

先生は、逮捕と刑罰を同じだと思わないよう注意した。逮捕は捜査のための手続で、有罪の罰そのものではない。第一審の判断に対して控訴できる場合もある。力を用いる制度ほど、手続を正確に区別しなければならない。

歴史上は、君主に逆らう者をただちに捕えたり、責任を問う弾劾が権力争いに使われたりした。英傑の傑作として語られる法典にも、現代から見れば不平等な規定がある。古い制度をたたえるだけでは、その影を見落とす。

悠人は、ルールを守ることと、ルールを問い直すことは反対ではないと考えた。人を守る働きがあるかを確認、根拠が弱ければ相談する。刺激の強い言葉で相手を責める前に、どの条文と事実の問題があるかを示す。

展示の結論には、「禁止には理由と手続が必要」と書いた。公共のルールは、命令する側の力だけで正しくなるのではない。制限される側が理由を知り、異議を述べ、判断を見直せる仕組みがあってこそ、正当なものになるのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「公職者の責任を正式に追及すること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「セイトウ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「控訴」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 第一審の判決を不服として上級裁判所に訴えること。

イ 犯罪に対して直ちに刑罰を科すこと。

ウ 森林の木をまとめて切ること。

エ 反対の意思を相手へ伝えること。

(4) 本文によれば、公共のルールが正当であるために何が必要か。

ア 命令する人が強い権力をもっていること。

イ 禁止事項ができるだけ多く並んでいること。

ウ 古い法令と同じ言葉を使っていること。

エ 守る目的と制限の根拠が示され、異議や見直しの手続が用意されていること。

(5) 先生が、逮捕と刑罰を区別するよう注意したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「正当」「抗議」の二語を用い、ルールを問い直すときに必要なことを 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| (1) ウ 誤りがなく確かなこと。 | (4) エ 犯罪に対して法律に基づき科される罰。 |
| (2) イ 道理や根拠にかなっていること。 | (5) ウ 王の妻。 |
| (3) ア 問題について話し合い考えを求めること。 | (6) イ 帝国を治める君主。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 正確 | (8) 弾劾 |
| (2) 正当 | (9) 自由 |
| (3) 相談 | (10) 逮捕 |
| (4) 刑罰 | (11) 抗議 |
| (5) 王妃 | (12) 刺激 |
| (6) 皇帝 | (13) 控訴 |
| (7) 官吏 | (14) 伐採 |

使い分けを確かめよう：正当は根拠や手続にかなうこと、正しいは誤りがなくことや道理にかなうことを広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 正当は根拠や手続にかなうこと、正しいは誤りがないことや道理にかなうことを広く表す。

用例：正当な理由／答えが正しい

(2) イ 逮捕は法律上の手続で身体を拘束すること、捕えるは逃げる人や動物などをつかまえることを広く表す。

用例：被疑者を逮捕する／逃げた犬を捕える

(3) エ 抵抗は力や働きに逆らう行為を広く表し、抗議は反対の意思を言葉や行動で伝えることを表す。

用例：圧力に抵抗する／決定に抗議する

(4) イ 弾劾は公職者の責任を正式な手続で追及すること、批判は考えや行為を検討し問題を指摘することを表す。

用例：大統領を弾劾する／政策を批判する

(5) ア A=抵抗、B=抗議。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A=正当、B=正しい。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 当然	(11) 控室
(2) 帝国	(12) 討伐
(3) 相手	(13) 捕獲
(4) 吏員	(14) 窃盗
(5) 刑法	(15) 監獄
(6) 自分	(16) せつとう
(7) 拳銃	(17) ほりよ
(8) 抵抗	(18) ごくちゅう
(9) 捕虜	(19) ちん
(10) 名刺	(20) けっさく

七 文章の中で考えよう

- (1) 弾劾 本文中では「弾劾」と表されている。
- (2) 正当
- (3) ア 第一審の判決を不服として上級裁判所に訴えること。
- (4) エ 守る目的と制限の根拠が示され、異議や見直しの手続が用意されていること。
- (5) 解答例 (46 字)

逮捕は捜査のために身体を拘束する手続であり、有罪と判断した後に科す刑罰そのものではないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (71 字)

だれを何から守る規則か、制限の根拠と手続が正当かを確かめる。問題があれば感情だけで責めず、事実と条文を示して抗議し、相談や見直しの道を求める。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十二回

仕事とお金

値札の数字から、生産・流通・支える仕事をさかのぼる。

今日の中心漢字

用 売 束 富 費 済 届 舗

いっしょに覚える漢字

事	作	績	蔵	宝	卸
畜	坑	需	勃	勲	価※

売買・費用・生産を表す語を確かめたあと、町の店の値段がどのような仕事と費用から生まれるかを調べる文章を読みます。 ※再会漢字：価（第一冊第十六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
用 売 束 富	ヨウ・もちいる	使う／必要な働き 用いる・使用・費用	費 済 届 舗	ヒ・ついやす・つ いえる	お金や力を使う 費用・消費・学費
	パイ・うる・うれ る	代金と引き換えに渡す 売る・売上・販売		サイ・すむ・すま す	終える／助ける 済む・経済・救済
	ソク・たば・つか	まとめてしばる／制限 束・一束・約束・拘束		とどく・とどける	目的の所まで達する 届く・届出・届け物
	フ・フウ・とむ・ とみ	財産が多い／豊か 富む・富・豊富		ホ	店／道に敷く 店舗・舗装・老舗

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
事 作 績 蔵 宝 卸	ジ・ズ・こと	できごと／仕事 事・仕事・記事	畜 坑 需 勃 勲 価 ※	チク	家畜を飼う／たくわえる 家畜・牧畜・畜産
	サク・サ・つくる	つくる／働く 作る・作業・作品		コウ	地中に掘った穴 坑道・炭坑・坑内
	セキ	積み重ねた成果 成績・実績・紡績		ジュ	必要として求める 需要・需給・軍需
	ゾウ・くら	物をしまう場所 蔵・貯蔵・冷蔵		ボツ・ホツ	勢いよく起こる 勃興・勃発
	ホウ・たから	大切に価値あるもの 宝・国宝・宝石		クン	優れた働きの功績 勲章・勲功・勲位
	おろす・おろし	まとめて小売へ売る 卸す・卸売・卸値		カ・あたい	再会：ねうち／値段 価値・価格・評価

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「使用」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア まとめてしばったものを一つと数える言い方。
- イ 物事をするために必要なお金。
- ウ 決められた事柄を役所などへ知らせること。
- エ 道具や場所などを使うこと。

(2) 「売上」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 量や種類がたくさんあること。
- イ 生産・流通・消費に関わる社会の働き。
- ウ 商品やサービスを売って得た代金の合計。
- エ 商品やサービスを提供する店の建物。

(3) 「一束」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事をするために必要なお金。
- イ まとめてしばったものを一つと数える言い方。
- ウ 決められた事柄を役所などへ知らせること。
- エ 道具や場所などを使うこと。

(4) 「豊富」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 量や種類がたくさんあること。
- イ 生産・流通・消費に関わる社会の働き。
- ウ 商品やサービスを提供する店の建物。
- エ 商品やサービスを売って得た代金の合計。

(5) 「費用」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 決められた事柄を役所などへ知らせること。
- イ 道具や場所などを使うこと。
- ウ まとめてしばったものを一つと数える言い方。
- エ 物事をするために必要なお金。

(6) 「経済」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 商品やサービスを提供する店の建物。
- イ 商品やサービスを売って得た代金の合計。
- ウ 生産・流通・消費に関わる社会の働き。
- エ 量や種類がたくさんあること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 使用 経済 実績 売上 届出 貯蔵 一束 店舗 国宝 豊富 仕事 卸売 費用 作業

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| (1) 道具は目的に合った方法で（ ）する。 | (8) 商店街には小さな（ ）が軒を連ねている。 |
| (2) 新商品の（ ）が、前年同月を上回った。 | (9) 暮らしを支える（ ）に誇りを持つ。 |
| (3) 市場で花を（ ）買い、玄関に飾った。 | (10) 二人で（ ）を分担し、予定より早く終えた。 |
| (4) この地域は水産資源が（ ）だ。 | (11) これまでの販売（ ）が評価された。 |
| (5) 修理にかかる（ ）を事前に見積もった。 | (12) 収穫した穀物を乾燥させ、倉に（ ）する。 |
| (6) 観光客の減少が、地域の（ ）に影響した。 | (13) この寺の壁画は、国の（ ）に指定されている。 |
| (7) 住所を変更したら、役所へ（ ）を出す。 | (14) 生産者から仕入れた品を、小売店へ（ ）する。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「費用」と「価格」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 価格は物事を行うために必要なお金、費用は商品やサービスにつけられた値段を表す。
- イ 費用は「商品の（ ）」だけに、価格は「運送の（ ）」だけに使う。
- ウ 費用は物事を行うために必要なお金、価格は商品やサービスにつけられた値段を表す。
- エ 「運送の（ ）」と「商品の（ ）」では、費用と価格を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「売上」と「利益」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 売上は売って得た代金の合計、利益は売上から費用などを差し引いて残るもうけを表す。
- イ 利益は売って得た代金の合計、売上は売上から費用などを差し引いて残るもうけを表す。
- ウ 売上は「（ ）を確保する」だけに、利益は「（ ）が増える」だけに使う。
- エ 「（ ）が増える」と「（ ）を確保する」では、売上と利益を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「届出」と「申請」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 申請は決められた事実を知らせること、届出は許可や給付などを求めて願い出ることを表す。
- イ 届出は「使用を（ ）する」だけに、申請は「開業の（ ）」だけに使う。
- ウ 届出は決められた事実を知らせること、申請は許可や給付などを求めて願い出ることを表す。
- エ 「開業の（ ）」と「使用を（ ）する」では、届出と申請を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「需要」と「注文」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 需要は市場全体で買い求められる量、注文は個人や店が品物やサービスを具体的に求める行為である。
- イ 注文は市場全体で買い求められる量、需要は個人や店が品物やサービスを具体的に求める行為である。
- ウ 需要は「商品を（ ）する」だけに、注文は「（ ）を予測する」だけに使う。
- エ 「（ ）を予測する」と「商品を（ ）する」では、需要と注文を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を予測する」 B「商品を(B)する」

- ア A=注文／B=需要 イ A=需要／B=需要
- ウ A=需要／B=注文 エ A=注文／B=注文

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)が増える」 B「(B)を確保する」

- ア A=利益／B=売上 イ A=売上／B=売上
- ウ A=利益／B=利益 エ A=売上／B=利益

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 必要な費用を抑え、電力のショウヒも減らした。 | (9) 魚は低い温度でレイゾウし、鮮度を保った。 |
| (2) 農家が朝採れの野菜を市場でハンバイした。 | (10) 青く輝くハウセキが、指輪にはめ込まれている。 |
| (3) 災害で住まいを失った人へのキュウサイが始まった。 | (11) 生産者から仕入れる商品のオロシネが上がった。 |
| (4) 自由をコウソクする規則は、慎重に検討すべきだ。 | (12) 鉱山のコウドウを進み、採掘跡を調べた。 |
| (5) 歩きやすいよう、でこぼこの道をホソウした。 | (13) 季節によって、暖房器具のジュヨウが変わる。 |
| (6) 牧場では、牛や羊などのカチクを飼っている。 | (14) 港町の発展とともに、新しい産業がボッコウした。 |
| (7) 展覧会に、今年完成したサクヒンを出した。 | (15) 長年の功績をたたえ、クンショウが授与された。 |
| (8) 試験のセイセキだけで、努力の全ては測れない。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 坑道 () | (17) 需要 () | (18) 勃興 () | (19) 勲章 () | (20) 価格 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

値札の向こうをたどる

商店街の調査で、悠人と真央は一つのパンの価格をたどった。店舗の値札は百八十円だが、その数字には小麦、畜産品、作業する人の仕事、焼くための燃料、包装、配送の費用が含まれている。

店主は、売上と利益は同じではないと説明した。売上が豊富に見えても、材料費や人件費を差し引けば残る額は小さい。価格だけを下げると、作業を担う人へ十分な賃金が届かない場合がある。

【価格をたどる項目】原料／生産／貯蔵／卸売／運送／店舗での作業／売れ残り

小麦は一束で届くのではなく、産地で収穫され、貯蔵庫を経て卸売の会社へ運ばれる。鉾山の坑道から得た燃料が使われた時代もあった。運ぶ距離や保存方法が変われば、必要な費用も変わる。経済は、見えない多くの場所と仕事をつないでいる。

真央は、人気商品なら需要に合わせて多く作ればよいと思った。しかし、多く作りすぎれば売れ残り、食材を捨てることになる。少なすぎれば買えない人が出る。需給を見ながら生産量を調整する必要がある。

近年は、地域の新しい食品産業が勃興し、昔ながらの製法にも再び注目が集まっていた。長年の実績をたたえる勲章や、国宝のような特別な指定がなくても、日々の仕事には暮らしを支える価値がある。

店を開くには役所への届出が必要で、衛生の基準も守らなければならない。こうした手続は面倒に見えるが、買う人の安全を守る働きがある。使用する材料と作業方法を記録することも、信頼につながる。

悠人は、第一冊で学んだ「価」を、今度は価格と仕事のつながりから考えた。値札は商品のすべてを語らない。生産から販売までをさかのぼり、だれの働きとどの費用が含まれるかを見ると、値段の向こうにある社会が見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「商品やサービスを買求めようとする量」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「オロシウリ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「売上」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 売った代金から費用を引いた後のもうけ。

イ 商品やサービスを売って得た代金の合計。

ウ 物事を行うために必要なお金。

エ 商品につけられた一つ一つの値段。

(4) 店主が、価格だけを下げることには注意を促したのはなぜか。

ア 価格を下げると必ず需要がなくなるから。

イ 値札には数字を書いてはいけないから。

ウ 材料費や人件費などをまかなえず、作業する人へ十分な賃金が届かない場合があるから。

エ 売上と利益はいつも同じ額だから。

(5) 需要に合わせて、ただ多く作ればよいとは言えないのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「価格」「費用」の二語を用い、値札の向こうにある仕事を捉える方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (1) エ 道具や場所などを使うこと。 | (4) ア 量や種類がたくさんあること。 |
| (2) ウ 商品やサービスを売って得た代金の合計。 | (5) エ 物事をするために必要なお金。 |
| (3) イ まとめてしばったものを一つと数える言い方。 | (6) ウ 生産・流通・消費に関わる社会の働き。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 使用 | (8) 店舗 |
| (2) 売上 | (9) 仕事 |
| (3) 一束 | (10) 作業 |
| (4) 豊富 | (11) 実績 |
| (5) 費用 | (12) 貯蔵 |
| (6) 経済 | (13) 国宝 |
| (7) 届出 | (14) 卸売 |

使い分けを確かめよう：費用は物事を行うために必要なお金、価格は商品やサービスにつけられた値段を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 費用は物事を行うために必要なお金、価格は商品やサービスにつけられた値段を表す。

用例：運送の費用／商品の価格

(2) ア 売上は売って得た代金の合計、利益は売上から費用などを差し引いて残るもうけを表す。

用例：売上が増える／利益を確保する

(3) ウ 届出は決められた事実を知らせること、申請は許可や給付などを求めて願い出ることを表す。

用例：開業の届出／使用を申請する

(4) ア 需要は市場全体で買い求められる量、注文は個人や店が品物やサービスを具体的に求める行為である。

用例：需要を予測する／商品を注文する

(5) ウ A＝需要、B＝注文。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝売上、B＝利益。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 消費	(11) 卸値
(2) 販売	(12) 坑道
(3) 救済	(13) 需要
(4) 拘束	(14) 勃興
(5) 舗装	(15) 勲章
(6) 家畜	(16) こうどう
(7) 作品	(17) じゅよう
(8) 成績	(18) ぼっこう
(9) 冷蔵	(19) くんしょう
(10) 宝石	(20) かかく

七 文章の中で考えよう

- (1) 需要 本文中では「需要」と表されている。
- (2) 卸売
- (3) イ 商品やサービスを売って得た代金の合計。
- (4) ウ 材料費や人件費などをまかなえず、作業する人へ十分な賃金が届かない場合があるから。
- (5) 解答例（48 字）

多く作りすぎると売れ残りや廃棄が生じ、少なすぎると必要な人が買えないため、需給の調整が要るから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（80 字）

商品の価格だけを見るのではなく、原料、生産、貯蔵、卸売、運送、店舗での作業を順にたどる。それぞれに必要な費用と働く人への支払いを確かめれば、値段の根拠が見える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十三回

空と大地

空模様と足元の変化を、同じ時刻に記録して結ぶ。

今日の中心漢字

山 川 空 土 候 灰 潮 曇

いっしょに覚える漢字

晴	泳	景	染	宙	浪
滯	洪	爆	壤	漬	濯

山・川・天候・水の動きを表す語を確かめたあと、雨の前後に川辺で起きた変化を観察記録から読む文章です。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
山	サン・やま	高く盛り上がった地形 山・山地・火山	候	コウ・そうろう	時節／様子を待つ 気候・天候・候補
川	セン・かわ	地表を流れる水 川・河川・川岸	灰	カイ・はい	燃えたあとに残る粉 灰・火山灰・石灰
空	クウ・そら・あく	そら／中がない 空・空気・空間	潮	チョウ・しお	海水の満ち引き 潮・満潮・潮流
土	ド・ト・つち	地面を作るもの 土・土地・土砂	曇	ドン・くもる	雲で光が遮られる 曇る・曇天・雨曇り

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
晴	セイ・はれる・は らす	雲がなくなる／疑いが消える 晴れる・晴天・快晴	滞	タイ・とどこおる	一か所にとどまる 滞る・滞在・停滞
泳	エイ・およぐ	水中を進む 泳ぐ・水泳・遠泳	洪	コウ	大きくあふれる水 洪水・洪積
景	ケイ	見える眺め／様子 景色・風景・背景	爆	バク	急に破裂する 爆発・爆音・爆風
染	セン・そめる・し みる	色がつく／広がる 染める・染色・感染	壤	ジョウ	作物を育てる土 土壤・沃壤
宙	チュウ	空中／宇宙 宇宙・宙返り・宙づり	漬	シ・つける・つか る	液体にひたす 漬ける・漬物・水漬け
浪	ロウ	波／定まらず移る 波浪・浪費・放浪	濯	タク・すすぐ・ゆ すぐ	水で洗う 洗濯・濯ぐ

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「山地」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 山が広がる地域。
- イ 物が存在したり活動したりする広がり。
- ウ ある地域で長く見られる天気の種類。
- エ 海面が最も高くなる状態。

(2) 「河川」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 土と砂。
- イ 火山の噴火で出る細かな物質。
- ウ 空一面が雲に覆われた天気。
- エ 地表のくぼみを流れる水の道。

(3) 「空間」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある地域で長く見られる天気の種類。
- イ 海面が最も高くなる状態。
- ウ 物が存在したり活動したりする広がり。
- エ 山が広がる地域。

(4) 「土砂」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 火山の噴火で出る細かな物質。
- イ 土と砂。
- ウ 空一面が雲に覆われた天気。
- エ 地表のくぼみを流れる水の道。

(5) 「気候」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある地域で長く見られる天気の種類。
- イ 海面が最も高くなる状態。
- ウ 山が広がる地域。
- エ 物が存在したり活動したりする広がり。

(6) 「火山灰」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 空一面が雲に覆われた天気。
- イ 地表のくぼみを流れる水の道。
- ウ 土と砂。
- エ 火山の噴火で出る細かな物質。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 山地 火山灰 風景 河川 満潮 染色 空間 曇天 宇宙 土砂 晴天 波浪 気候 水泳

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) この作物は、冷涼な（ ）でもよく育つ。 | (8) ()でも紫外線は地上に届いている。 |
| (2) 大雨の後、地域の（ ）の水位が上がった。 | (9) 翌日は（ ）となり、遠くの山までよく見えた。 |
| (3) 机の間に、人が通れる（ ）を空けた。 | (10) 夏休みに毎朝（ ）の練習を続けた。 |
| (4) 斜面から大量の（ ）が道路へ流れ込んだ。 | (11) 展望台から湖と山の（ ）を眺めた。 |
| (5) 海に近い土地は、一年を通して温暖な（ ）だ。 | (12) 職人が布を藍で（ ）した。 |
| (6) 噴火で町に（ ）が降り積もった。 | (13) 望遠鏡で、遠い（ ）の姿を観測する。 |
| (7) ()になると、岩場への道が海に沈む。 | (14) 防波堤は強い（ ）から港を守っている。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「気候」と「天気」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 天気は地域で長い期間に見られる天気の傾向、気候はある時刻や日の大気の状態を表す。
- イ 気候は地域で長い期間に見られる天気の傾向、天気はある時刻や日の大気の状態を表す。
- ウ 気候は「今日の（ ）」だけに、天気は「温暖な（ ）」だけに使う。
- エ 「温暖な（ ）」と「今日の（ ）」では、気候と天気を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「潮」と「波」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 波は海水面の満ち引きや流れ、潮は風などで水面が上下する動きを表す。
- イ 潮は「（ ）が高い」だけに、波は「（ ）が満ちる」だけに使う。
- ウ 「（ ）が満ちる」と「（ ）が高い」では、潮と波を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 潮は海水面の満ち引きや流れ、波は風などで水面が上下する動きを表す。

(3) 「洪水」と「浸水」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 浸水は川などの水が増えてあふれる現象、洪水は水が建物や土地へ入り込む状態を表す。
- イ 洪水は川などの水が増えてあふれる現象、浸水は水が建物や土地へ入り込む状態を表す。
- ウ 洪水は「床下が（ ）する」だけに、浸水は「（ ）が起きる」だけに使う。
- エ 「（ ）が起きる」と「床下が（ ）する」では、洪水と浸水を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「洗濯」と「洗淨」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 洗淨は主に衣類を洗うこと、洗濯は器具や部品などの汚れを洗い落とすことを広く表す。
- イ 洗濯は「容器を（ ）する」だけに、洗淨は「服を（ ）する」だけに使う。
- ウ 「服を（ ）する」と「容器を（ ）する」では、洗濯と洗淨を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 洗濯は主に衣類を洗うこと、洗淨は器具や部品などの汚れを洗い落とすことを広く表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「温暖な(A)」 B「今日の(B)」

- ア A=気候/B=天気 イ A=天気/B=気候
- ウ A=気候/B=気候 エ A=天気/B=天気

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)が起きる」 B「床下が(B)する」

- ア A=浸水/B=洪水 イ A=洪水/B=浸水
- ウ A=洪水/B=洪水 エ A=浸水/B=浸水

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) 島の中央には、今も活動するカザンがある。 | (9) 展望台から、町と海のケシキを眺めた。 |
| (2) 山のテンコウは変わりやすく、急に霧が出た。 | (10) 手洗いは、病気のカンセンを防ぐ基本である。 |
| (3) 川のカワギシに立ち、水の速さを測った。 | (11) 作物に合ったドジョウを選び、畑を整えた。 |
| (4) 畑の土にセツカイを混ぜ、酸性を弱めた。 | (12) 必要のない買い物は、時間とお金のロウヒになる。 |
| (5) 窓を開けて、部屋のクウキを入れ替えた。 | (13) 新しいトチに、学校を建てる計画がある。 |
| (6) 海のチョウリュウを読み、船の進路を決める。 | (14) 大雨で川があふれ、町にコウズイが起きた。 |
| (7) 調査のため、島に一週間タイザイした。 | (15) 容器の中で気体が急にバクハツした。 |
| (8) 湖を横切るエンエイ大会が開かれた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| (16) 洪水 () | (17) 爆発 () | (18) 土壌 () | (19) 水漬け () | (20) 洗濯 () |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

空と足元を同時に見る

梅雨の観察で、悠人と真央は山から川、海へ続く水の動きを調べた。朝は曇天で、昼には晴天になった。空だけを見れば天気は回復したように見えるが、川の水位はその後もしばらく上がり続けた。

前日に山地へ降った雨は、土壌へしみ込み、土砂を含んで河川へ流れる。海が満潮になる時刻と重なると、川の水が海へ出にくくなる。天候の変化と足元の変化には、時間のずれがある。上流・中流・河口では、水位が変わる時刻も同じではない。

【同時に記録するもの】雲／雨量／川の水位／潮／土の湿り／流れてきた物／観察時刻

川岸の風景には、上流から運ばれた枝や、染色工房から流れ出ないよう管理された水の設備も見えた。水泳をする場所は閉鎖され、洗濯物は水漬けにならないよう高い所へ移された。

先生は、洪水と爆発のような急な出来事だけに注意するのではなく、停滞する水も見よう言った。流れが遅い場所では、泥がたまり、地面の状態が変わる。晴れたあとにも危険が残ることがある。

資料には、火山灰が土壌へ積もった地域や、宇宙から見た雲の画像もあった。大きな視点では雲の帯が見え、地上では一つの水たまりが見える。尺度を変えると、同じ現象の別の面が現れる。

海では風による波浪と潮流が重なっていた。波が静かでも潮が速い場合があるため、見た目だけで安全とは言えない。真央は、空・川・海を別々に記録していた表を、同じ時刻の一行へまとめ直した。観察地点の写真にも時刻を書き、あとから数値と風景を対応させた。

すると、雨がやんだ後に水位が最大になったことが分かった。悠人は、自然を見るには、一つの場所の今だけでなく、上流で起きたことと後から現れる変化を結ぶ必要があると知った。観察記録は、空と大地の時間をつなぐ。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「物事が進まず同じ状態にとどまること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「ドジョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「満潮」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 川の水が土地へあふれる現象。

イ 空一面が雲に覆われた天気。

ウ 海面が最も高くなる状態。

エ 布や糸に色をつける作業。

（4）空が晴れたあとにも、川の水位が上がることもあるのはなぜか。

ア 晴天になると山の土がすぐに水へ変わるから。

イ 上流の雨水が時間をかけて流れ、満潮時には川の水が海へ出にくくなるから。

ウ 空の雲が川底へ落ちて水位を上げるから。

エ 洗濯した水がすべて川へ流れ込むから。

（5）真央が、空・川・海の記録を同じ時刻の一行へまとめ直したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「土壌」「満潮」の二語を用い、雨の前後に川の変化を観察する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| (1) ア 山が広がる地域。 | (4) イ 土と砂。 |
| (2) エ 地表のくぼみを流れる水の道。 | (5) ア ある地域で長く見られる天気の種類。 |
| (3) ウ 物が存在したり活動したりする広がり。 | (6) エ 火山の噴火で出る細かな物質。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 山地 | (8) 曇天 |
| (2) 河川 | (9) 晴天 |
| (3) 空間 | (10) 水泳 |
| (4) 土砂 | (11) 風景 |
| (5) 気候 | (12) 染色 |
| (6) 火山灰 | (13) 宇宙 |
| (7) 満潮 | (14) 波浪 |

使い分けを確かめよう：気候は地域で長い期間に見られる天気の種類、天気はある時刻や日の大気の状態を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 気候は地域で長い期間に見られる天気の影響、天気はある時刻や日の大気の状態を表す。

用例：温暖な気候／今日の天気

(2) エ 潮は海水面の満ち引きや流れ、波は風などで水面が上下する動きを表す。

用例：潮が満ちる／波が高い

(3) イ 洪水は川などの水が増えてあふれる現象、浸水は水が建物や土地へ入り込む状態を表す。

用例：洪水が起きる／床下が浸水する

(4) エ 洗濯は主に衣類を洗うこと、洗浄は器具や部品などの汚れを洗い落とすことを広く表す。

用例：服を洗濯する／容器を洗浄する

(5) ア A＝気候、B＝天気。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝洪水、B＝浸水。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 火山	(11) 土壌
(2) 天候	(12) 浪費
(3) 川岸	(13) 土地
(4) 石灰	(14) 洪水
(5) 空気	(15) 爆発
(6) 潮流	(16) こうずい
(7) 滞在	(17) ばくはつ
(8) 遠泳	(18) どじょう
(9) 景色	(19) みずづけ
(10) 感染	(20) せんたく

七 文章の中で考えよう

- (1) 停滞 本文中では「停滞」と表されている。
- (2) 土壌
- (3) ウ 海面が最も高くなる状態。
- (4) イ 上流の雨水が時間をかけて流れ、満潮時には川の水が海へ出にくくなるから。
- (5) 解答例（46 字）

別々の場所の変化がどの時間差でつながり、雨がやんだ後に川の水位が最大になったかを比べるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

空模様だけでなく、上流の雨量、土壌の湿り、川の水位を同じ時刻に記録する。海が満潮になる時間も重ねれば、雨がやんだ後まで水位が変わる理由を考えられる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十四回

植物と動物

一つの実りを、土・生き物・人の働きのつながりから見る。

今日の中心漢字

実 花 木 根 植 種 茎 稻

いっしょに覚える漢字

米	松	蚕	穀	芝	藤
狩	桑	駄	椎	猿	駒

植物・作物・動物を表す語を確かめたあと、地域の畑で一粒の種から実りまでに関わる生き物を観察する文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
実	ジツ・み・みのる	中身／果実／本当 実・果実・事実	植	ショク・うえる・ うわる	植物を地に置き育てる 植える・植物・植林
花	カ・はな	植物の生殖に関わる部分 花・開花・花粉	種	シュ・たね	植物のたね／種類 種・種子・種類
木	ボク・モク・き・ こ	樹木／木材 木・木材・樹木	茎	ケイ・くき	根と葉や花をつなぐ部分 茎・地下茎・球茎
根	コン・ね	地中で支え吸収する部分 根・根毛・根拠	稲	トウ・いね・いな	米を実らせる作物 稲・稲作・稲穂

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
米	ベイ・マイ・こめ	稲から取れる穀物 米・白米・米国	狩	シュ・かる・かり	野生動物を追って捕る 狩る・狩猟・狩人
松	ショウ・まつ	常緑の針葉樹 松・松林・松葉	桑	ソウ・くわ	蚕の餌となる木 桑・桑畑・山桑
蚕	サン・かいこ	絹糸を作る幼虫 蚕・養蚕・蚕糸	駄	ダ	荷を運ぶ馬／役に立たない 駄馬・無駄・駄作
穀	コク	米や麦などの実 穀物・雑穀・穀倉	椎	ツイ・しい	シイの木／背骨の骨 椎・椎茸・脊椎
芝	シ・しば	地面を覆う細い草 芝・芝生・芝居	猿	エン・さる	霊長類の動物 猿・野猿・類人猿
藤	トウ・ふじ	つる性の木 藤・藤棚・葛藤	駒	ク・こま	若い馬／盤上のこま 駒・若駒・持ち駒

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「果実」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 建築や道具に使うため加工する木。
- イ 植物の花のあとにでき、種を含む部分。
- ウ 森林を育てるため木を植えること。
- エ 地中を横に伸びる茎。

(2) 「開花」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 花が開くこと。
- イ 植物の根の表面にある細かな毛。
- ウ 植物が次の世代を作るもと。
- エ 稲を育てて米を生産すること。

(3) 「木材」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 森林を育てるため木を植えること。
- イ 地中を横に伸びる茎。
- ウ 植物の花のあとにでき、種を含む部分。
- エ 建築や道具に使うため加工する木。

(4) 「根毛」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 植物が次の世代を作るもと。
- イ 稲を育てて米を生産すること。
- ウ 植物の根の表面にある細かな毛。
- エ 花が開くこと。

(5) 「植林」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 地中を横に伸びる茎。
- イ 森林を育てるため木を植えること。
- ウ 植物の花のあとにでき、種を含む部分。
- エ 建築や道具に使うため加工する木。

(6) 「種子」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 植物が次の世代を作るもと。
- イ 稲を育てて米を生産すること。
- ウ 花が開くこと。
- エ 植物の根の表面にある細かな毛。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 果実 種子 養蚕 開花 地下茎 穀物 木材 稲作 芝生 根毛 白米 藤棚 植林 松林

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 秋になると枝に赤い（ ）が実る。 | (8) 平野では古くから（ ）が盛んだった。 |
| (2) 気温が上がり、桜の（ ）が例年より早まった。 | (9) 精米した（ ）を炊いて、朝食にした。 |
| (3) 間伐した（ ）を乾かし、机の材料にした。 | (10) 海岸近くの（ ）を風が通り抜ける。 |
| (4) 植物は（ ）から水や養分を吸収する。 | (11) かつてこの町では、蚕を育てる（ ）が盛んだった。 |
| (5) 荒れた山に苗を植える（ ）活動へ参加した。 | (12) 米や麦などの（ ）を倉庫に蓄える。 |
| (6) 畑にまいた（ ）から小さな芽が出た。 | (13) 校庭の（ ）を傷めないよう、立入区域を決めた。 |
| (7) ジャガイモは土の中の（ ）に養分を蓄える。 | (14) 庭の（ ）から紫の花房が垂れている。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「実」と「種」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 実とは花のあとにでき種を包む部分、種は発芽して次の植物になるもとを表す。
- イ 種は花のあとにでき種を包む部分、実は発芽して次の植物になるもとを表す。
- ウ 実とは「()をまく」だけに、種は「()が熟す」だけに使う。
- エ 「()が熟す」と「()をまく」では、実と種を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「植林」と「栽培」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 栽培は森林を育てるため木を植えること、植林は作物や草木を育てることを広く表す。
- イ 植林は「野菜を()する」だけに、栽培は「山に()する」だけに使う。
- ウ 植林は森林を育てるため木を植えること、栽培は作物や草木を育てることを広く表す。
- エ 「山に()する」と「野菜を()する」では、植林と栽培を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「稲」と「米」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 稲は田で育つ植物、米は稲の実からもみ殻などを除いて食用にするものを表す。
- イ 米は田で育つ植物、稲は稲の実からもみ殻などを除いて食用にするものを表す。
- ウ 稲は「()を炊く」だけに、米は「()を刈る」だけに使う。
- エ 「()を刈る」と「()を炊く」では、稲と米を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「駒」と「馬」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 馬は若い馬や将棋などのこまを指し、駒は動物としての種類を広く表す。
- イ 駒は「()を飼う」だけに、馬は「若()が走る」だけに使う。
- ウ 駒は若い馬や将棋などのこまを指し、馬は動物としての種類を広く表す。
- エ 「若()が走る」と「()を飼う」では、駒と馬を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「山に(A)する」 B「野菜を(B)する」

- ア A=栽培/B=植林 イ A=植林/B=植林
- ウ A=植林/B=栽培 エ A=栽培/B=栽培

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「若(A)が走る」 B「(B)を飼う」

- ア A=馬/B=駒 イ A=駒/B=駒
- ウ A=馬/B=馬 エ A=駒/B=馬

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 見たジジツと、そこからの推測を分けて書いた。 | (9) 冬も緑を保つマツバが、地面に積もっていた。 |
| (2) 日光の向きによって、ショクブツの茎が曲がる。 | (10) 製糸業では、カイコから取るサンシを利用した。 |
| (3) 春はカフンが多く飛び、目がかゆくなる。 | (11) 米に豆や粟を加えたザッコクご飯を炊いた。 |
| (4) 同じ鳥にも、羽の色が違うシュルイがいる。 | (12) 休日に、家族で小さなシバイを観た。 |
| (5) 公園の古いジュモクを、樹医が診断した。 | (13) 進むか戻るか、心の中でカットウが続いた。 |
| (6) 球根に似たキュウケイへ養分を蓄える植物もある。 | (14) 丘のクワバタケで、蚕の餌となる葉を摘んだ。 |
| (7) 秋の田では、黄金色のイナホが風に揺れる。 | (15) 荷を積んだダバが、山道をゆっくり進んだ。 |
| (8) 森で暮らすカリユウドが、動物の跡を見分けた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 桑畑 () | (17) 駄馬 () | (18) 椎茸 () | (19) 野猿 () | (20) 若駒 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一粒を支えるもの

地域の畑で、悠人たちは稲作と野菜の栽培を手伝った。種子をまけば自然に実と思っていたが、根毛が水を吸い、茎が葉と花を支え、開花のあとに果実ができるまでには、多くの条件が必要だった。

畑の端には桑畑と藤棚があり、松林から落ち葉も運ばれてきた。昔は養蚕が盛んで、蚕の繭を売ったという。米や雑穀だけでなく、木材や椎茸も、植物と人の暮らしを結んでいた。

【畑の関係図】土―根―茎―花―実―種／昆虫・鳥・人・水がどこで関わるかを書き込む

花には虫が集まり、花粉を運ぶ。野猿が果実を食べ、別の場所へ種を運ぶこともある。一方で、作物を荒らす場合もある。虫の数が減れば実り方が変わり、動物が増えれば畑の守り方も変わる。生き物を役に立つか無駄かだけで分けると、関係の一面しか見えない。

古い記録には、駄馬が肥料を運び、若駒が田の近くで育った様子が描かれていた。狩猟で動物の数を調整した時代もある。人は自然の外から管理するのではなく、その関係の中で働いてきた。

真央は、収穫した白米だけを成果として数えていた。しかし、土を守る芝生、風を弱める林、種を残す植物も次の実りを支える。植林はすぐ食べ物にならなくても、長い時間で水と土を保つ。収穫量だけでは測れない働きも、畑の記録に加える必要があった。

悠人は、一本の稲を「稲一米」とだけ結ぶのでは足りないと思った。根、茎、花、実、種の順序と、そこへ関わる生き物を図に加えた。すると、一粒の米の向こうに広い生態のつながりが現れた。

実りは一つの作物だけの力ではない。土、水、光、生き物、人の仕事が重なって生まれる。植物と動物を名前ごとに覚えることから一歩進み、互いに何を受け渡しているかを見ると、暮らしと環境をともに考えられる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「蚕を飼って繭を取る」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「シュシ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「植林」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 稲を育てて米を生産すること。

イ 野生の鳥や獣を捕らえること。

ウ 桑の葉で蚕だけを育てること。

エ 森林を育てるため木を植えること。

(4) 真央が、白米だけを成果として数える考えを改めたのはなぜか。

ア 土や水を守る植物や林も、すぐには食べ物にならなくても次の実りを支えるから。

イ 白米は植物から作られるものではないから。

ウ 畑には米以外の穀物を植えてはいけないから。

エ 野猿がすべての種を人へ運んでくれるから。

(5) 生き物を「役に立つか、無駄か」だけで分けると不十分なのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「種子」「実り」の二語を用い、一粒の米を環境とのつながりから捉える方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| (1) イ 植物の花のあとにでき、種を含む部分。 | (4) ウ 植物の根の表面にある細かな毛。 |
| (2) ア 花が開くこと。 | (5) イ 森林を育てるため木を植えること。 |
| (3) エ 建築や道具に使うため加工する木。 | (6) ア 植物が次の世代を作るもと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 果実 | (8) 稲作 |
| (2) 開花 | (9) 白米 |
| (3) 木材 | (10) 松林 |
| (4) 根毛 | (11) 養蚕 |
| (5) 植林 | (12) 穀物 |
| (6) 種子 | (13) 芝生 |
| (7) 地下茎 | (14) 藤棚 |

使い分けを確かめよう：実は花のあとにでき種を包む部分、種は発芽して次の植物になるもとを表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) ア 実(み)は花(はな)のあとにでき種(たね)を包む部分、種(たね)は発芽(はつが)して次の植物(しょくぶつ)になるもとを表す。
用例：実(み)が熟(じやく)す／種(たね)をまく
- (2) ウ 植林(ちりん)は森林(しんりん)を育てるため木(き)を植(う)えること、栽培(かいばい)は作物(さくぶつ)や草木(さくもく)を育てることを広く表す。
用例：山(やま)に植林(ちりん)する／野菜(やさい)を栽培(かいばい)する
- (3) ア 稲(いね)は田(いり)で育(そだ)つ植物(しょくぶつ)、米(こめ)は稲(いね)の実(み)からもみ殻(もみくさ)などを除(の)いて食用(じゆうりやう)にするものを表す。
用例：稲(いね)を刈(かり)る／米(こめ)を炊(炊く)く
- (4) ウ 駒(こま)は若い馬(うま)や将棋(しょうぎ)などのこまを指(さ)し、馬(うま)は動物(どうぶつ)としての種類(しゆるい)を広く表す。
用例：若駒(わかしゅ)が走(はし)る／馬(うま)を飼(か)う
- (5) ウ A＝植林(ちりん)、B＝栽培(かいばい)。(2)の使い分けを参照。
- (6) エ A＝駒(こま)、B＝馬(うま)。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 事実	(11) 雑穀
(2) 植物	(12) 芝居
(3) 花粉	(13) 葛藤
(4) 種類	(14) 桑畑
(5) 樹木	(15) 駄馬
(6) 球茎	(16) くわばたけ
(7) 稲穂	(17) だば
(8) 狩人	(18) しいたけ
(9) 松葉	(19) やえん
(10) 蚕糸	(20) わかごま

七 文章の中で考えよう

- (1) 養蚕 本文中では「養蚕」と表されている。
- (2) 種子
- (3) エ 森林を育てるため木を植えること。
- (4) ア 土や水を守る植物や林も、すぐには食べ物にならなくても次の実りを支えるから。
- (5) 解答例 (45 字)

同じ生き物が花粉や種を運ぶ一方で作物を荒らすこともあり、人との関係には複数の面があるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

根・茎・花から種子ができる順序を確かめ、土、水、光、虫や鳥、人の仕事を書き加える。白米だけを成果とせず、次の実りを支える林や生き物まで関係図で捉える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十五回

色・形・素材

見た目だけでなく、手触り・強さ・作り方から素材を見分ける。

今日の中心漢字

円 金 石 点 鉄 緑 布 網

いっしょに覚える漢字

容	丹	缶	梓	玄	絞
珠	紡	塑	錠	鎌	形※

色・形・金属・繊維を表す語を確かめたあと、町の修理工房で材料を選び、古い道具を直す文章を読みます。 ※再会漢字：形（第一冊第五回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
円	エン・まるい	丸い形／通貨 円・円形・円満	鉄	テツ	強い金属の一種 鉄・鉄道・鉄筋
金	キン・コン・かね・かな	金属／お金 金・金属・金額	緑	リョク・ロク・みどり	緑色／草木 緑・緑地・新緑
石	セキ・シャク・コク・いし	岩のかけら／鉱物 石・岩石・宝石	布	フ・ぬの	織ったぬの／広げる 布・配布・分布
点	テン	小さなし／区切り 点・要点・採点	綱	コウ・つな	太い縄／基本方針 綱・大綱・綱引き

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
容	ヨウ	中に入れる／姿 容器・内容・容姿	珠	シュ	丸い宝石や真珠 真珠・珠玉・数珠
丹	タン	赤い色／まごころ 丹色・丹念・牡丹	紡	ボウ・つむぐ	繊維をより糸にする 紡ぐ・紡績
缶	カン	金属製の入れ物 缶・缶詰・空き缶	塑	ソ	やわらかい材料で形を作る 塑像・彫塑・可塑性
枠	わく	周りを囲むもの 枠・枠組み・窓枠	錠	ジョウ	錠／粒状の薬 錠・錠前・錠剤
玄	ゲン	奥深い／暗い色 玄関・玄人・幽玄	鎌	レン・かま	草などを刈る道具 鎌・鎌倉・大鎌
絞	コウ・しばる・しめる	しめて出す／狭める 絞る・絞り染め・絞殺	形※	ケイ・ギョウ・かた・かたち	再会：外から見える姿／まとめ 形・形状・形式

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「円形」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 鉱物などが集まってできた固い物。
- イ 建物などを補強する鉄の棒。
- ウ 丸い形。
- エ 物事がどこにどれほど広がるか。

(2) 「金属」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事の中で特に大切な点。
- イ 熱や電気を伝えやすい種類の物質。
- ウ 草木が植えられた土地。
- エ 物事の基本となる方針。

(3) 「岩石」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 鉱物などが集まってできた固い物。
- イ 建物などを補強する鉄の棒。
- ウ 物事がどこにどれほど広がるか。
- エ 丸い形。

(4) 「要点」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 草木が植えられた土地。
- イ 物事の基本となる方針。
- ウ 熱や電気を伝えやすい種類の物質。
- エ 物事の中で特に大切な点。

(5) 「鉄筋」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事がどこにどれほど広がるか。
- イ 丸い形。
- ウ 建物などを補強する鉄の棒。
- エ 鉱物などが集まってできた固い物。

(6) 「緑地」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事の基本となる方針。
- イ 草木が植えられた土地。
- ウ 熱や電気を伝えやすい種類の物質。
- エ 物事の中で特に大切な点。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 円形 緑地 缶詰 金属 分布 枠組み 岩石 大綱 玄人 要点 容器 絞り染め 鉄筋 丹念

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| (1) 池の周りに（ ）の遊歩道を設けた。 | (8) 計画の（ ）を先に示し、細部は後で説明する。 |
| (2) 熱をよく伝える（ ）を鍋の材料に使う。 | (9) 液体はふたの閉まる（ ）に入れる。 |
| (3) 地層に含まれる（ ）の種類を調べた。 | (10) 古い資料を一枚ずつ（ ）に調べた。 |
| (4) 長い説明から三つの（ ）を抜き出した。 | (11) 非常時に備えて魚の（ ）を保存している。 |
| (5) 建物の柱には丈夫な（ ）が使われている。 | (12) 議論の（ ）を決めてから、各論を詰めた。 |
| (6) 駅前の（ ）を増やし、木陰をつくった。 | (13) この時計の修理は（ ）に任せたい。 |
| (7) 地図で生物の（ ）を色分けして示した。 | (14) 布を糸でくくって染める（ ）を体験した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「布」と「綱」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 綱は糸を織ったり編んだりした平たい素材、布は繊維などを太くより合わせた長いものを表す。
- イ 布は「（ ）を結ぶ」だけに、綱は「（ ）を裁つ」だけに使う。
- ウ 「（ ）を裁つ」と「（ ）を結ぶ」では、布と綱を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 布は糸を織ったり編んだりした平たい素材、綱は繊維などを太くより合わせた長いものを表す。

(2) 「枠」と「型」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 型は周囲を囲み範囲や構造を定めるもの、枠は同じ形を作る手本や決まった形式を表す。
- イ 枠は周囲を囲み範囲や構造を定めるもの、型は同じ形を作る手本や決まった形式を表す。
- ウ 枠は「（ ）に流し込む」だけに、型は「窓（ ）を直す」だけに使う。
- エ 「窓（ ）を直す」と「（ ）に流し込む」では、枠と型を意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「紡ぐ」と「織る」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 織るは繊維をより合わせて糸にすること、紡ぐは縦糸と横糸を組んで布にすることを表す。
- イ 紡ぐは「糸で布を（ ）」だけに、織るは「綿から糸を（ ）」だけに使う。
- ウ 「綿から糸を（ ）」と「糸で布を（ ）」では、紡ぐと織るを意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 紡ぐは繊維をより合わせて糸にすること、織るは縦糸と横糸を組んで布にすることを表す。

(4) 「形」と「姿」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 姿は物の輪郭や構造を広く表し、形は人や物が外に現している様子を表しやすい。
- イ 形は物の輪郭や構造を広く表し、姿は人や物が外に現している様子を表しやすい。
- ウ 形は「働く（ ）」だけに、姿は「円い（ ）」だけに使う。
- エ 「円い（ ）」と「働く（ ）」では、形と姿を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「綿から糸を（A）」 B「糸で布を（B）」

- ア A＝紡ぐ／B＝織る イ A＝織る／B＝紡ぐ
- ウ A＝紡ぐ／B＝紡ぐ エ A＝織る／B＝織る

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）を裁つ」 B「（B）を結ぶ」

- ア A＝綱／B＝布 イ A＝布／B＝綱
- ウ A＝布／B＝布 エ A＝綱／B＝綱

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 話し合いはエンマンに終わり、全員が納得した。 | (9) 靴を脱いでゲンカンにそろえた。 |
| (2) 新しいテツドウが、二つの町を結んだ。 | (10) 近代には、大規模なボウセキ工場が建てられた。 |
| (3) 請求書のキンガクを、領収書と照らし合わせた。 | (11) 粘土で人物のソゾウを作った。 |
| (4) 山はシンリョクに包まれ、鳥の声が響いた。 | (12) 外出前に、扉のジョウマエを確かめた。 |
| (5) 記述答案をサイテンし、根拠の有無を見た。 | (13) 申請書は、決められたケイシキで提出する。 |
| (6) 見出しから記事のナイヨウを予想した。 | (14) 石や粘土を用いるチョウソの作品を鑑賞した。 |
| (7) 短編集には、シュギョクの作品が収められている。 | (15) 写真だけでヨウシを判断せず、本人と話した。 |
| (8) 古い染色見本には、鮮やかなニイロが残っていた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| (16) 紡績 () | (17) 塑像 () | (18) 錠前 () | (19) 鎌 () | (20) 形状 () |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

材料の声を聞く

町の修理工房で、悠人たちは古い鎌の柄と、布張りの椅子を直した。見た目の形だけをまねればよい思ったが、玄人の職人は、鉄・木・布では力の受け方が違うと説明した。

鎌の刃は鉄で、柄は木材だった。接合部には金属の輪と錠前に似た留め具がある。円形の部品でも、岩石や真珠のように硬いだけの材料では、繰り返す力に耐えない。硬さだけでなく、曲がって戻る性質や、さびへの強さも確かめた。

【素材ノート】色／形状／手触り／曲がり方／水や熱への反応／どの部分に使うか

椅子の布は、繊維を紡績し、糸を織って作られていた。緑の絞り染めには濃淡があり、同じ模様は一つもない。表面だけを丹念に観察すると、修理前の布と新しい布の分布の違いが見えた。

工房には、缶詰の空き缶を容器へ作り替えた物や、粘土の塑像もあった。材料を別の用途へ使うには、元の枠組みに縛られず、強さや加工のしやすさを確かめる必要がある。切った端が危険でないか、水を入れて漏れないかも試した。

職人は、修理の大綱を「残せる部分は残し、安全に使えない部分だけ替える」と決めた。新品のように均一にすることより、道具が使われてきた跡と安全を両立させるのが要点だった。

悠人は、第一冊で学んだ「形」に再会した。形状は外から見えるが、素材の性質は曲げたり触れたりして初めて分かることがある。見た目が同じでも、作り方が違えば働きも変わる。

二人は、色や形だけで材料を分類せず、手触り・強さ・作り方をノートに加えた。試した条件と結果も書き、選ばなかった材料の理由を残した。物を直すことは、欠けた部分を埋めるだけではない。どの材料がどの役割を担ってきたかを読み、次も働ける形へつなぐことなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「物事の中で特に大切な点」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ボウセキ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「杵組み」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 物事を形づくる大まかな構造。

イ 物の表面についた緑色。

ウ 貝の中にできる丸い宝石。

エ 草を刈るための曲がった刃。

(4) 職人が、修理で新品のような均一さを目指さなかったのはなぜか。

ア 古い材料はすべて新品より強いから。

イ 形状を調べる方法を知らなかったから。

ウ 布と鉄はまったく同じ性質をもつから。

エ 使われてきた跡を残しながら、安全に働かない部分だけを替えることを重視したから。

(5) 素材ノートに、色や形だけでなく、手触りや曲がり方も記したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「形状」「要点」の二語を用い、古い道具の材料を選んで修理する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) ウ 丸い形。 | (4) エ 物事の中で特に大切な点。 |
| (2) イ 熱や電気を伝えやすい種類の物質。 | (5) ウ 建物などを補強する鉄の棒。 |
| (3) ア 鉱物などが集まってできた固い物。 | (6) イ 草木が植えられた土地。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|-----------|
| (1) 円形 | (8) 大綱 |
| (2) 金属 | (9) 容器 |
| (3) 岩石 | (10) 丹念 |
| (4) 要点 | (11) 缶詰 |
| (5) 鉄筋 | (12) 枠組み |
| (6) 緑地 | (13) 玄人 |
| (7) 分布 | (14) 絞り染め |

使い分けを確かめよう：布は糸を織ったり編んだりした平たい素材、綱は繊維などを太くより合わせた長いものを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 布は糸を織ったり編んだりした平たい素材、綱は繊維などを太くより合わせた長いものを表す。

用例：布を裁つ／綱を結ぶ

(2) イ 枠は周囲を囲み範囲や構造を定めるもの、型は同じ形を作る手本や決まった形式を表す。

用例：窓枠を直す／型に流し込む

(3) エ 紡ぐは繊維をより合わせて糸にすること、織るは縦糸と横糸を組んで布にすることを表す。

用例：綿から糸を紡ぐ／糸で布を織る

(4) イ 形は物の輪郭や構造を広く表し、姿は人や物が外に現している様子を表しやすい。

用例：円い形／働く姿

(5) ア A＝紡ぐ、B＝織る。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝布、B＝綱。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 円満	(11) 塑像
(2) 鉄道	(12) 錠前
(3) 金額	(13) 形式
(4) 新緑	(14) 彫塑
(5) 採点	(15) 容姿
(6) 内容	(16) ぼうせき
(7) 珠玉	(17) そぞう
(8) 丹色	(18) じょうまえ
(9) 玄関	(19) かま
(10) 紡績	(20) けいじょう

七 文章の中で考えよう

- (1) 要点 本文中では「要点」と表されている。
- (2) 紡績
- (3) ア 物事を形づくる大まかな構造。
- (4) エ 使われてきた跡を残しながら、安全に働かない部分だけを替えることを重視したから。
- (5) 解答例（45 字）

見た目が同じ材料でも、触れたときの性質や力の受け方が異なり、安全に使える場所も変わるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（72 字）

部品の形状だけをまねず、素材の手触り、強さ、水や熱への反応を確かめる。使われてきた跡を残し、安全に働かない部分だけ替えることを修理の要点とする。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十六回

食べる・着る・住む

毎日の道具と食事から、土地ごとの暮らしの工夫を読む。

今日の中心漢字

活 休 味 塩 喫 齋 井 煮

いっしょに覚える漢字

戸	版	菜	養	麻	扇
枕	棚	酪	錦	酎	寮

食事・衣服・住まいを表す語を確かめたあと、学生寮の一日を調べ、身近な暮らしに重なる文化と仕事を
読む文章です。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
活	カツ	生きる／勢いよく動く 生活・活動・活用	喫	キツ	食べる／飲む／受ける 喫茶・喫食・満喫
休	キュウ・やすむ・やすめる	動きを止めてやすむ 休む・休日・休息	斎	サイ	心身を清める／部屋 斎場・書斎・斎戒
味	ミ・あじ・あじわう	舌で感じるもの／おもしろみ 味・味覚・意味	井	どんぶり・どん	深い鉢／井物 井・牛井・天井
塩	エン・しお	塩分をもつ調味料 塩・食塩・塩分	煮	シャ・にる・にえる・にやす	水分とともに熱する 煮る・煮物・煮沸

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
戸	コ・と	出入口の建具／家 戸・戸口・戸籍	枕	チン・まくら	頭を支える寝具 枕・枕元・氷枕
版	ハン	印刷の板／出版物の形 出版・版画・新版	棚	たな	物を載せる板 棚・本棚・食器棚
菜	サイ・な	食用の草／おかず 菜・野菜・菜食	酪	ラク	乳から作る食品 酪農・乳酪・酪酸
養	ヨウ・やしなう	育てる／力をつける 養う・栄養・養成	錦	キン・にしき	美しい織物 錦・錦絵・錦秋
麻	マ・あさ	繊維を取る植物 麻・麻布・亜麻	酎	チュウ	蒸留した酒 焼酎
扇	セン・おうぎ	風を送る道具／広がる形 扇・扇子・扇風機	寮	リョウ	共同生活する住まい 寮・学生寮・寮生活

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「生活」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 食べ物や飲み物の味を感じる感覚。
- イ 茶などを飲むこと。
- ウ 米飯に煮た牛肉などをのせた料理。
- エ 日々を生きて営むこと。

(2) 「休息」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 塩に由来する成分。
- イ 読書や執筆をするための部屋。
- ウ 仕事や活動をやめて体を休めること。
- エ 食材をだしや汁で煮た料理。

(3) 「味覚」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 茶などを飲むこと。
- イ 食べ物や飲み物の味を感じる感覚。
- ウ 米飯に煮た牛肉などをのせた料理。
- エ 日々を生きて営むこと。

(4) 「塩分」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 塩に由来する成分。
- イ 読書や執筆をするための部屋。
- ウ 食材をだしや汁で煮た料理。
- エ 仕事や活動をやめて体を休めること。

(5) 「喫茶」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 米飯に煮た牛肉などをのせた料理。
- イ 日々を生きて営むこと。
- ウ 食べ物や飲み物の味を感じる感覚。
- エ 茶などを飲むこと。

(6) 「書斎」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 食材をだしや汁で煮た料理。
- イ 仕事や活動をやめて体を休めること。
- ウ 読書や執筆をするための部屋。
- エ 塩に由来する成分。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 生活 書斎 野菜 休息 牛丼 栄養 味覚 煮物 麻布 塩分 戸口 扇子 喫茶 版画

(1) 規則正しい（ ）を心がけ、睡眠時間を確保する。

(8) 夕食には、根菜の（ ）を添えた。

(2) 長い作業の合間に十分な（ ）を取った。

(9) 冷たい風が開いた（ ）から吹き込んだ。

(3) 風邪をひいて、一時的に（ ）が鈍くなった。

(10) 木を彫った版に絵の具を付け、（ ）を刷った。

(4) みそ汁の（ ）を控えめにした。

(11) 旬の（ ）をたっぷり使った料理を作る。

(5) 駅前の店で友人と（ ）を楽しんだ。

(12) 毎日の食事から必要な（ ）を取る。

(6) 父は静かな（ ）で本を読む。

(13) 丈夫な（ ）で道具袋を仕立てた。

(7) 昼食に熱い（ ）を注文した。

(14) 暑い夕方、祖母が（ ）でゆっくり風を送った。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「喫茶」と「飲食」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 飲食は茶などを飲むこと、喫茶は飲むことと食べることの両方を広く表す。
- イ 喫茶は「店内で（ ）する」だけに、飲食は「（ ）を楽しむ」だけに使う。
- ウ 喫茶は茶などを飲むこと、飲食は飲むことと食べることの両方を広く表す。
- エ 「（ ）を楽しむ」と「店内で（ ）する」では、喫茶と飲食を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「煮る」と「焼く」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 煮るは水や汁とともに熱すること、焼くは火や熱を直接または器具を通して当てることを表す。
- イ 焼くは水や汁とともに熱すること、煮るは火や熱を直接または器具を通して当てることを表す。
- ウ 煮るは「魚を（ ）」だけに、焼くは「野菜を（ ）」だけに使う。
- エ 「野菜を（ ）」と「魚を（ ）」では、煮ると焼くを意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「戸」と「扉」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 扉は建物や部屋の出入口を開閉する建具を広く指し、戸は開き戸など一枚ごとの板を意識しやすい。
- イ 戸は「（ ）を開く」だけに、扉は「（ ）を閉める」だけに使う。
- ウ 戸は建物や部屋の出入口を開閉する建具を広く指し、扉は開き戸など一枚ごとの板を意識しやすい。
- エ 「（ ）を閉める」と「（ ）を開く」では、戸と扉を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「寮」と「宿」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 寮は一定の集団が共同生活する住まい、宿は旅行者などが一時的に泊まる場所を表す。
- イ 宿は一定の集団が共同生活する住まい、寮は旅行者などが一時的に泊まる場所を表す。
- ウ 寮は「旅の（ ）に泊まる」だけに、宿は「学生（ ）で暮らす」だけに使う。
- エ 「学生（ ）で暮らす」と「旅の（ ）に泊まる」では、寮と宿を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「学生（A）で暮らす」 B「旅の（B）に泊まる」

- ア A=宿／B=寮 イ A=寮／B=寮
- ウ A=寮／B=宿 エ A=宿／B=宿

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「野菜を（A）」 B「魚を（B）」

- ア A=焼く／B=煮る イ A=煮る／B=煮る
- ウ A=焼く／B=焼く エ A=煮る／B=焼く

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 地域の清掃カツドウに、親子で参加した。 | (9) 熱を出した弟の頭へ、コオリマクラを当てた。 |
| (2) 連休をマンキツし、心身を休めた。 | (10) 小さな出版社から、郷土史がシュッパンされた。 |
| (3) 葬儀は市内のサイジョウで行われた。 | (11) 肉を食べないサイショクの料理を選んだ。 |
| (4) 語のイミを、使われた文脈から考えた。 | (12) 通訳をヨウセイする講座が開かれた。 |
| (5) 昼食に、えびのテンドンを注文した。 | (13) アマの茎から、丈夫な繊維を取る。 |
| (6) 実験で使うショクエン水の濃度を測った。 | (14) 暑い夜は、センプウキで部屋の空気を動かす。 |
| (7) 器具は使う前に、熱湯でシャフツした。 | (15) 読み終えた本をホンダナへ戻した。 |
| (8) 戸籍謄本を取るため、コセキの窓口を訪れた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| (16) 食器棚 () | (17) 酪農 () | (18) 錦絵 () | (19) 焼酎 () | (20) 学生寮 () |
|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

寮の一日をほどく

町の学生寮で、悠人と真央は一日の生活を記録した。朝、戸口が開くと、食堂では野菜の煮物と牛丼の具が作られていた。味覚や栄養だけでなく、塩分、費用、調理時間まで考えて献立が決まる。

食器棚には地域の器が並び、休息の部屋には麻布の座布団と枕が置かれていた。夏は扇子も使う。どれも身近な道具だが、材料を育て、加工し、運び、手入れする仕事が重なっている。

【暮らしの記録】食べる／着る／休む／学ぶ／共有する道具／だれが整えるか

寮の一角には小さな書斎があり、古い版画と錦絵が飾られていた。斎という字には心身を清める意味もある。静かな場所を保つことは、共同生活の中で一人になる時間を守る工夫でもあった。

午後には、近くの酪農家から牛乳が届いた。地域の資料には、焼酎を造る家や、茶を喫する習慣も紹介されている。食べ物や飲み物は栄養だけでなく、土地の気候や行事、人の交流とも結びつく。保存方法や食器の違いにも、その土地で安全に食べるための工夫があった。

真央は、寮生活を「同じ規則で暮らすこと」だと思っていた。しかし、食べられない物、休息の時間、音への感じ方は人によって異なる。全員を一つの型へ合わせるより、選べる献立や静かな時間を用意するほうが暮らしやすい。

悠人は、家事をだれかの善意だけに任せないことも大切だと気づいた。調理、掃除、道具の補充を活動として記録し、担当と休みを分ける。食材の表示や残量も共有すると、急な欠品や食物への配慮もしやすい。見えにくい仕事を言葉にすると、互いの負担を調整できる。

食べる・着る・住むことは、毎日繰り返すため見過ごしやすい。けれども、一つの食事や一枚の布をたどると、自然、技術、文化、人の仕事が見える。暮らしを学ぶとは、日常を細かくほどき、支える関係を結び直すことなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「生き成長するために体へ取り入れる成分」という意味で使われている熟語を抜き出
しなさい。

(2) 「ガクセイリョウ」を漢字 3 字で書きなさい。

(3) 本文中の「休息」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 食材を汁とともに熱すること。

イ 仕事や活動をやめて体を休めること。

ウ 茶などを飲むこと。

エ 学生が共同で暮らす建物。

(4) 真央が、全員を一つの型へ合わせるだけではよくないと考えたのはなぜか。

ア 寮には規則を一つも置けないから。

イ 共同生活では全員が別々の家に住むから。

ウ 食べられない物や休む時間、音の感じ方などが人によって異なるから。

エ 古い版画を全員が好むとは限らないから。

(5) 調理や掃除などの家事を、活動として記録することにはどのような利点があるか。45～55 字で説
明しなさい。

(6) 「生活」「栄養」の二語を用い、寮の食事を文化や仕事との関係から捉える方法を 70～90 字でま
とめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) エ 日々を生きて営むこと。 | (4) ア 塩に由来する成分。 |
| (2) ウ 仕事や活動をやめて体を休めること。 | (5) エ 茶などを飲むこと。 |
| (3) イ 食べ物や飲み物の味を感じる感覚。 | (6) ウ 読書や執筆をするための部屋。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 生活 | (8) 煮物 |
| (2) 休息 | (9) 戸口 |
| (3) 味覚 | (10) 版画 |
| (4) 塩分 | (11) 野菜 |
| (5) 喫茶 | (12) 栄養 |
| (6) 書斎 | (13) 麻布 |
| (7) 牛丼 | (14) 扇子 |

使い分けを確かめよう：喫茶は茶などを飲むこと、飲食は飲むことと食べることの両方を広く表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 喫茶は茶などを飲むこと、飲食は飲むことと食べることの両方を広く表す。

用例：喫茶を楽しむ／店内で飲食する

(2) ア 煮るは水や汁とともに熱すること、焼くは火や熱を直接または器具を通して当てることを表す。

用例：野菜を煮る／魚を焼く

(3) ウ 戸は建物や部屋の出入口を開閉する建具を広く指し、扉は開き戸など一枚ごとの板を意識しやすい。

用例：戸を閉める／扉を開く

(4) ア 寮は一定の集団が共同生活する住まい、宿は旅行者などが一時的に泊まる場所を表す。

用例：学生寮で暮らす／旅の宿に泊まる

(5) ウ A=寮、B=宿。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A=煮る、B=焼く。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 活動	(11) 菜食
(2) 満喫	(12) 養成
(3) 斎場	(13) 亜麻
(4) 意味	(14) 扇風機
(5) 天井	(15) 本棚
(6) 食塩	(16) しょっきだな
(7) 煮沸	(17) らくのう
(8) 戸籍	(18) にしきえ
(9) 氷枕	(19) しょうちゅう
(10) 出版	(20) がくせいりょう

七 文章の中で考えよう

- (1) 栄養 本文中では「栄養」と表されている。
- (2) 学生寮
- (3) イ 仕事や活動をやめて体を休めること。
- (4) ウ 食べられない物や休む時間、音の感じ方などが人によって異なるから。
- (5) 解答例（47 字）

見えにくかった日々の仕事と担当、負担の偏りが分かり、必要な休みを含めて互いに調整しやすくなる。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（73 字）

味や栄養だけでなく、材料の生産、運送、調理、片づけを順に記録する。土地の気候や行事、食べられない物への配慮も含めれば、寮生活を支える関係が見える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十七回

形・構造・技術

部品の名だけでなく、力がどこからどこへ伝わるかを見る。

今日の中心漢字

気 平 度 輪 張 精 拙 朽

いっしょに覚える漢字

車	幹	狙	罌	埋	舟
筒	盤	抹	繰	堆	緯

形・計測・構造を表す語を確かめたあと、町の橋の模型を作り、部品の働きと全体の関係を考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
気	キ・ケ	空気／心の動き／力 空気・気持ち・電気	張	チョウ・はる	引き伸ばす／広げる 張る・張力・緊張・主張
平	ヘイ・ピョウ・た いら・ひら	でこぼこがない／等しい 平ら・平等・水平	精	セイ・ショウ	細かく選び整える 精密・精神・精製
度	ド・ト・タク・た び	程度／回数／角度 温度・程度・角度	拙	セツ・つたない	うまくない 拙い・拙速・拙著
輪	リン・わ	丸くつながるもの 輪・車輪・輪郭	桁	コウ・けた	横に渡す材／数字の位 桁・桁数・橋桁

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
車	シャ・くるま	車輪で動く乗り物 車・車両・風車	筒	トウ・つつ	中が空いた長い形 筒・円筒・封筒
幹	カン・みき	木の中心／物事の中心 幹・幹線・基幹	盤	バン	平たい台／土台 基盤・円盤・地盤
狙	ソ・ねらう	目標を定める 狙う・狙い・狙撃	抹	マツ	こすって消す／細かな粉 抹消・抹茶・一抹
塁	ルイ	土を積んだとりで／球技の塁 塁・塁壁・満塁	繰	くる	順に動かす／繰り返す 繰る・繰り返す・繰越し
埋	マイ・うめる・う まる	土などの中へ入れる 埋める・埋設・埋蔵	堆	タイ	積み重なる 堆積・堆肥・堆積物
舟	シュウ・ふね・ふ な	小さな船 舟・小舟・舟運	緯	イ	横の方向／成り行き 緯度・経緯・緯糸

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「電気」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 電荷の働きによって生じるエネルギー。
- イ 二本の線や面が作る開きの大きさ。
- ウ 物を引っ張ったとき内部に働く力。
- エ 仕上がりより速さを優先して雑になること。

(2) 「水平」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 車を動かす円い輪。
- イ 細かな部分まで正確にできていること。
- ウ 橋を支えて横に渡す構造部分。
- エ 水面のように傾きがないこと。

(3) 「角度」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を引っ張ったとき内部に働く力。
- イ 仕上がりより速さを優先して雑になること。
- ウ 二本の線や面が作る開きの大きさ。
- エ 電荷の働きによって生じるエネルギー。

(4) 「車輪」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 細かな部分まで正確にできていること。
- イ 車を動かす円い輪。
- ウ 橋を支えて横に渡す構造部分。
- エ 水面のように傾きがないこと。

(5) 「張力」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物を引っ張ったとき内部に働く力。
- イ 仕上がりより速さを優先して雑になること。
- ウ 電荷の働きによって生じるエネルギー。
- エ 二本の線や面が作る開きの大きさ。

(6) 「精密」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 橋を支えて横に渡す構造部分。
- イ 水面のように傾きがないこと。
- ウ 車を動かす円い輪。
- エ 細かな部分まで正確にできていること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 電気 精密 狙い 水平 拙速 塋壁 角度 橋桁 埋設 車輪 車両 舟運 張力 幹線

(1) 停電に備え、()を使わない照明も用意した。 (8) 点検で橋の()に小さな亀裂が見つかった。

(2) 棚が()になるよう、脚の高さを調整した。 (9) 貨物()が駅の側線に並んでいる。

(3) 分度器で二本の線の()を測る。 (10) 都市を結ぶ()道路は、物流を支えている。

(4) 荷車の()がぬかるみにはまった。 (11) この調査の()は、利用者の不便を見つけることだ。

(5) 糸にかかる()が強すぎると切れてしまう。 (12) 城跡には、敵を防ぐ高い()が残っている。

(6) この部品は高い()さで加工されている。 (13) 水道管を道路の下に()する。

(7) 急いで決める()な進め方が、かえって手戻りを生んだ。 (14) 川や運河を使う()が、かつて町の交易を支えた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「精密」と「正確」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 正確は構造や測定が細かな部分まで整うこと、精密は内容や数値に誤りがないことを表す。
- イ 精密は構造や測定が細かな部分まで整うこと、正確は内容や数値に誤りがないことを表す。
- ウ 精密は「（ ）な長さ」だけに、正確は「（ ）な模型」だけに使う。
- エ 「（ ）な模型」と「（ ）な長さ」では、精密と正確を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「桁」と「位」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 位は数字の並ぶ位置や横材を表し、桁は数の位置がもつ値や順序上の位置を表す。
- イ 桁は「十の（ ）」だけに、位は「（ ）をそろえる」だけに使う。
- ウ 「（ ）をそろえる」と「十の（ ）」では、桁と位を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 桁は数字の並ぶ位置や横材を表し、位は数の位置がもつ値や順序上の位置を表す。

(3) 「基盤」と「土台」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 土台は物事を成り立たせる基礎を広く表し、基盤は建物や物を下から支える部分を具体的に表しやすい。
- イ 基盤は物事を成り立たせる基礎を広く表し、土台は建物や物を下から支える部分を具体的に表しやすい。
- ウ 基盤は「模型の（ ）」だけに、土台は「交通の（ ）」だけに使う。
- エ 「交通の（ ）」と「模型の（ ）」では、基盤と土台を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「経緯」と「過程」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 過程は現在に至るまでの事情や成り行き、経緯は物事が進み変化する途中の段階を表す。
- イ 経緯は「製作の（ ）」だけに、過程は「決定の（ ）」だけに使う。
- ウ 「決定の（ ）」と「製作の（ ）」では、経緯と過程を意味の違いなく入れ替えられる。
- エ 経緯は現在に至るまでの事情や成り行き、過程は物事が進み変化する途中の段階を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)な模型」 B「(B)な長さ」

- ア A=精密/B=正確 イ A=正確/B=精密
- ウ A=精密/B=精密 エ A=正確/B=正確

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「交通の(A)」 B「模型の(B)」

- ア A=土台/B=基盤 イ A=基盤/B=土台
- ウ A=基盤/B=基盤 エ A=土台/B=土台

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| (1) 発表の直前は、少しキンチョウした。 | (9) 遠くから標的をソゲキする訓練が行われた。 |
| (2) 学ぶ機会は、誰にでもビョウドウに開かれるべきだ。 | (10) 九回裏マンルイの場面で、打者が交代した。 |
| (3) 疲れたときは、セイシンを休める時間も必要だ。 | (11) 地下には、古代の遺物がマイゾウされていた。 |
| (4) 水のオンドを測り、変化を表にした。 | (12) 漁師は小さなコブネで、入り江へ出た。 |
| (5) 拙い本ですが、セツチョをお読みいただき感謝します。 | (13) 信頼は、協力を続けるためのキバンになる。 |
| (6) 山のリンククが、夕空にはっきり浮かんた。 | (14) 誤って登録した名前を、名簿からマッシュウした。 |
| (7) 丘のカザグルマが、強い風を受けて回った。 | (15) 川が運んだ砂が河口にタイセキした。 |
| (8) 鉄道は、地域の交通を支えるキカンである。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| (16) 基盤 () | (17) 抹消 () | (18) 繰越し () | (19) 堆積 () | (20) 経緯 () |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

模型の橋が立つまで

町の川に架かる橋を学ぶため、悠人たちは模型を作った。最初は平らな板を二本の橋桁に載せたただけだったが、重りを置くと中央がたわんだ。見た目の輪郭だけでは、力の流れは分からない。

真央は、柱の角度と橋桁の長さを精密に測った。ひもを張ると張力が生まれ、車両の重さが別の部分へ伝わる。円筒の柱と水平な床が、どのように全体を支えるかを図にした。矢印の太さを変え、力の大きさも表した。

【構造の点検】狙い／部品／接合部／力の向き／土台／繰り返し荷重をかけた結果

橋の近くには、地中へ埋設した電気の線と、町を結ぶ幹線道路がある。昔は舟運が中心だった。交通の基盤が変わった経緯を知ると、橋が単独の建物ではなく、町の流れの一部だと分かる。

模型の土台には砂を使った。砂が一方へ堆積すると柱が傾いたため、塁壁のように周囲を支える工夫を加えた。失敗した記録を抹消せず、どこで傾いたかを書き残した。同じ条件でもう一度試せるよう、重りを置いた位置も測った。

悠人は早く完成させようとして接着を急いだが、拙速な作業で部品がずれた。先生は、同じ重さを繰り返しかけ、変形を測るよう求めた。一度耐えただけでは、長く使える構造か判断できない。

測定値の桁をそろえ、角度と重さの関係を比べると、補強した部分の働きが見えた。模型は小さいが、力の向きと支え方を考える点では実物につながる。予想と異なる結果にも印を付けた。細部を見ることが全体の理解を助ける。

完成した橋は、部品を増やしたから強くなったのではない。どの部品が、どの力を、どこへ渡すかを考えて配置したからである。技術を学ぶとは、物の名前を覚えるだけでなく、働きのつながりを何度も確かめることなのだ。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「物事がそこへ至った成り行き」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ハシゲタ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「張力」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 物が積み重なってできる層。

イ 記録や文字を消す働き。

ウ 物を引っ張ったとき内部に働く力。

エ 地中に管を埋める作業。

(4) 同じ重さを繰り返しかけて測るのはなぜか。

ア 模型の色を実物と同じにするため。

イ 一度耐えるだけでなく、繰り返す力を受けても長く使える構造が確かめるため。

ウ 部品数をできるだけ増やすため。

エ 失敗した記録をすべて消すため。

(5) 橋を、町の流れの一部として見る必要があるのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「精密」「基盤」の二語を用い、橋の模型から構造を学ぶ方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) ア 電荷の働きによって生じるエネルギー。 | (4) イ 車を動かす円い輪。 |
| (2) エ 水面のように傾きがないこと。 | (5) ア 物を引っ張ったとき内部に働く力。 |
| (3) ウ 二本の線や面が作る開きの大きさ。 | (6) エ 細かな部分まで正確にできていること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 電気 | (8) 橋桁 |
| (2) 水平 | (9) 車両 |
| (3) 角度 | (10) 幹線 |
| (4) 車輪 | (11) 狙い |
| (5) 張力 | (12) 塁壁 |
| (6) 精密 | (13) 埋設 |
| (7) 拙速 | (14) 舟運 |

使い分けを確かめよう：精密は構造や測定が細かな部分まで整うこと、正確は内容や数値に誤りがないことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 精密は構造や測定が細かな部分まで整うこと、正確は内容や数値に誤りがないことを表す。

用例：精密な模型／正確な長さ

(2) エ 桁は数字の並ぶ位置や横材を表し、位は数の位置がもつ値や順序上の位置を表す。

用例：桁をそろえる／十の位

(3) イ 基盤は物事を成り立たせる基礎を広く表し、土台は建物や物を下から支える部分を具体的に表しやすい。

用例：交通の基盤／模型の土台

(4) エ 経緯は現在に至るまでの事情や成り行き、過程は物事が進み変化する途中の段階を表す。

用例：決定の経緯／製作の過程

(5) ア A＝精密、B＝正確。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝基盤、B＝土台。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 緊張

(11) 埋蔵

(2) 平等

(12) 小舟

(3) 精神

(13) 基盤

(4) 温度

(14) 抹消

(5) 拙著

(15) 堆積

(6) 輪郭

(16) きばん

(7) 風車

(17) まっしょう

(8) 基幹

(18) くりこし

(9) 狙撃

(19) たいせき

(10) 満塁

(20) けいい

七 文章の中で考えよう

- (1) 経緯 本文中では「経緯」と表されている。
- (2) 橋桁
- (3) ウ 物を引っ張ったとき内部に働く力。
- (4) イ 一度耐えるだけでなく、繰り返す力を受けても長く使える構造か確かめるため。
- (5) 解答例（45 字）

橋は道路や電気の線、昔の舟運などにつながり、人や物を運ぶ町全体の交通基盤を支えているから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（71 字）

部品の長さや角度を精密に測り、重さをかけたときの力の向きを図にする。土台や接合部を直して繰り返し試し、各部品が交通の基盤をどう支えるか考える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十八回

文化と表現

美しさだけでなく、受け継ぐ人と語られにくい記憶を見る。

今日の中心漢字

社 画 写 真 祭 仏 映 舞

いっしょに覚える漢字

易	影	弔	葬	盆	紋
鬼	妖	僧	鼓	霊	美※

絵・写真・祭り・信仰を表す語を確かめたあと、町の記憶を舞台と展示に表すときの選び方を考える文章を読みます。 ※再会漢字：美（第一冊第十六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
社 画 写 真	シャ・やしろ	人の集まり／神を祭る所 社会・会社・神社	祭	サイ・まつる・まつり	神仏を祭る／行事 祭り・祭礼・文化祭
	ガ・カク・え・かく	区切る／絵／計画 絵画・画面・計画	仏	ブツ・ほとけ	仏陀／亡くなった人 仏・仏教・仏像
	シャ・うつす・うつる	そのまま移す 写す・写真・描写	映	エイ・うつる・うつす・はえる	光で像を表す 映る・映画・上映
	シン・ま	本当／まじりけがない 真実・写真・真心	舞	ブ・まう・まい	身ぶりで踊る 舞う・舞台・舞踊

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
易	エキ・イ・やさしい	変わる／容易 容易・貿易・易しい	鬼	キ・おに	想像上の怪物 鬼・鬼門・鬼才
影	エイ・かげ	光が遮られてできる像／影響 影・影絵・影響	妖	ヨウ・あやしい	あやしく人を惑わす 妖怪・妖精・妖艶
吊	チョウ・とむらう	死者をいたむ 吊う・弔辞・弔意	僧	ソウ	出家して仏道を修める人 僧・僧侶・高僧
葬	ソウ・ほうむる	死者を送り埋める 葬る・葬儀・埋葬	鼓	コ・つづみ	打楽器／励ます 太鼓・鼓動・鼓舞
盆	ボン	浅い器／祖先を迎える時期 盆・盆栽・盆踊り	霊	レイ・リョウ・たま	肉体を離れた魂／不思議な力 霊・靈魂・精霊
紋	モン	表面の模様／家の印 紋・紋章・波紋	美※	ビ・うつくしい	再会：うつくしい／よさ 美しい・美術・美

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「神社」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。
- イ 神を祭る建物や場所。
- ウ 神仏を祭るための儀礼や行事。
- エ 映画などをスクリーンに映して見せること。

(2) 「絵画」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 線や色で表した美術作品。
- イ 偽りではない本当の事柄。
- ウ 仏の姿を表した像。
- エ 体の動きで感情や物語を表す芸能。

(3) 「描写」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 神仏を祭るための儀礼や行事。
- イ 映画などをスクリーンに映して見せること。
- ウ 神を祭る建物や場所。
- エ 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。

(4) 「真実」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 仏の姿を表した像。
- イ 体の動きで感情や物語を表す芸能。
- ウ 偽りではない本当の事柄。
- エ 線や色で表した美術作品。

(5) 「祭礼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 映画などをスクリーンに映して見せること。
- イ 神仏を祭るための儀礼や行事。
- ウ 神を祭る建物や場所。
- エ 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。

(6) 「仏像」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 仏の姿を表した像。
- イ 体の動きで感情や物語を表す芸能。
- ウ 線や色で表した美術作品。
- エ 偽りではない本当の事柄。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 神社 仏像 弔意 絵画 上映 葬儀 描写 舞踊 盆踊り 真実 容易 紋章 祭礼 影絵

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 旅の安全を願い、朝早く（ ）へ参拝した。 | (8) 祭典では古くから伝わる（ ）が披露された。 |
| (2) 美術館で近代の（ ）を鑑賞した。 | (9) 雪道では、普段どおりに歩くことも（ ）ではない。 |
| (3) 小説は雨上がりの町を細やかに（ ）している。 | (10) 白い幕の後ろから人形を照らし、（ ）を映した。 |
| (4) 証言と記録を重ね、事件の（ ）に迫る。 | (11) 訃報に接し、遺族へ深い（ ）を表した。 |
| (5) 秋の（ ）に合わせて、町中に提灯が飾られた。 | (12) 親族と親しい友人が（ ）に参列した。 |
| (6) 本堂には平安時代の（ ）が安置されている。 | (13) 広場では地域の人々が輪になって（ ）を楽しんだ。 |
| (7) 完成した映画は、来月から全国で（ ）される。 | (14) 門の上には一族を示す（ ）が刻まれている。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「写真」と「絵画」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 写真は光を用いて像を記録したもの、絵画は線や色を使い人が表現した作品を指す。
- イ 絵画は光を用いて像を記録したもの、写真は線や色を使い人が表現した作品を指す。
- ウ 写真は「風景を（ ）にする」だけに、絵画は「祭りを（ ）に撮る」だけに使う。
- エ 「祭りを（ ）に撮る」と「風景を（ ）にする」では、写真と絵画を意味の違いなく入れ替えられる。

(2) 「映る」と「写る」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 写るは光や像が画面・水面などに現れること、映るは写真などに姿が記録されることを表しやすい。
- イ 映るは「人が写真に（ ）」だけに、写るは「影が壁に（ ）」だけに使う。
- ウ 映るは光や像が画面・水面などに現れること、写るは写真などに姿が記録されることを表しやすい。
- エ 「影が壁に（ ）」と「人が写真に（ ）」では、映ると写るを意味の違いなく入れ替えられる。

(3) 「祭り」と「儀式」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 祭りは信仰や地域の行事を広く表し、儀式は決まった作法と順序で行う行為を表す。
- イ 儀式は信仰や地域の行事を広く表し、祭りは決まった作法と順序で行う行為を表す。
- ウ 祭りは「葬送の（ ）」だけに、儀式は「夏（ ）に参加する」だけに使う。
- エ 「夏（ ）に参加する」と「葬送の（ ）」では、祭りと儀式を意味の違いなく入れ替えられる。

(4) 「妖怪」と「幽霊」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 幽霊は不思議な力をもつ多様な存在、妖怪は亡くなった人の霊が現れたものと考えられる。
- イ 妖怪は「（ ）の話」だけに、幽霊は「河童の（ ）」だけに使う。
- ウ 妖怪は不思議な力をもつ多様な存在、幽霊は亡くなった人の霊が現れたものと考えられる。
- エ 「河童の（ ）」と「（ ）の話」では、妖怪と幽霊を意味の違いなく入れ替えられる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「影が壁に（A）」 B「人が写真に（B）」

- ア A=写る／B=映る イ A=映る／B=映る
- ウ A=映る／B=写る エ A=写る／B=写る

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「河童の（A）」 B「（B）の話」

- ア A=幽霊／B=妖怪 イ A=妖怪／B=妖怪
- ウ A=幽霊／B=幽霊 エ A=妖怪／B=幽霊

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 父のカイシャは、地域の食品を作っている。 | (9) 先生の一言が、進路を選ぶ決心にエイキョウした。 |
| (2) 端末のガメンに、地図を大きく表示した。 | (10) 葬儀で、友人代表がチョウジを読んだ。 |
| (3) 寺院の壁画から、ブッキョウの広がりを学んだ。 | (11) 発掘された人骨を、元の場所へ丁寧にマイソウした。 |
| (4) 古いシャシンに、かつての駅前が写っていた。 | (12) 祭りの始まりを知らせるタイコが鳴った。 |
| (5) 戦後の暮らしを描いたエイガを観た。 | (13) 小さな松を鉢に植え、bonsaiとして育てる。 |
| (6) 手紙に込められたマゴコロが伝わってきた。 | (14) 発言が社会に大きなハモンを広げた。 |
| (7) 港は、海外とのボウエキで栄えた。 | (15) 新しいブタイで、役者が堂々と演じた。 |
| (8) 北東は、この計画を進めるうえでのキモンだ。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 妖怪 () | (17) 僧侶 () | (18) 鼓舞 () | (19) 精霊 () | (20) 美術 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

町の記憶を舞台にのせる

一年の学びの最後に、悠人と真央の班は、町の記憶を舞台と展示にまとめた。神社の祭礼、寺の仏像、盆踊り、古い葬儀の写真を並べ、影絵と舞踊で物語を上映する計画だった。

最初の台本では、鬼と妖怪が登場し、僧侶が太鼓を打って追い払う。分かりやすく華やかだが、地域の信仰を単なる怪談に変えてよいのか、真央は迷った。容易な物語ほど、こぼれ落ちる真実がある。

【表現する前の問い】だれの記憶か／弔意を損なわないか／写真と想像を区別したか／本人の言葉を確かめたか

聞き取りをすると、祭りの紋章には水害から町を守る願いがあり、精霊を迎える舞には亡くなった人への弔意が込められていた。葬儀の写真は、美しい構図だからではなく、家族が大切に残した記録だった。展示してよい範囲も、持ち主へ改めて確かめた。

班は、写真をそのまま背景に映す部分と、想像で描いた絵画を分けた。描写を加えた場面には「聞き取りをもとに再構成」と示す。事実と表現を区別することで、創作をやめずに、記憶への敬意を保てる。

舞台では、鬼を悪者として倒すのではなく、災害への恐れを表す存在として描いた。太鼓の音は人々を鼓舞し、輪になった盆踊りへつながる。影の濃さを変えると、過去と現在が重なるように見えた。妖怪や仏の姿にも、一つの正解を押しつけない説明を添えた。

上映後、町の人「昔と同じではないが、私たちの話を聞いて作ったことが分かる」と言った。悠人は、美術の美は見た目の整いだけでなく、何をどう受け取って表すかにも宿ると思った。

第三冊で二人が調べた数、地図、家族、仕事、自然、道具は、すべて町の文化へつながっていた。表現は記憶を固定するものではない。だれかの経験を受け取り、確かめ、次の人へ渡し直す営みなのである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「亡くなった人をいたむ気持ち」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ブヨウ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「描写」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 映画をスクリーンへ映して見せること。
- イ 亡くなった人を送る儀式。
- ウ 人を励まして気持ちを奮い立たせること。
- エ 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。

(4) 班が、写真と想像で描いた絵画を分けて示したのはなぜか。

- ア 確認できる事実と再構成した表現を区別し、創作しながら記憶への敬意を保つため。
- イ 写真より絵画のほうが必ず美しいから。
- ウ 祭礼の写真を展示してはいけないから。
- エ 聞き取りの内容をすべて隠すため。

(5) 班が、鬼をただの悪者として倒す台本を改めたのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「真実」「美術」の二語を用い、町の記憶を表現するときに必要な姿勢を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) イ 神を祭る建物や場所。 | (4) ウ 偽りではない本当の事柄。 |
| (2) ア 線や色で表した美術作品。 | (5) イ 神仏を祭るための儀礼や行事。 |
| (3) エ 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。 | (6) ア 仏の姿を表した像。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 神社 | (8) 舞踊 |
| (2) 絵画 | (9) 容易 |
| (3) 描写 | (10) 影絵 |
| (4) 真実 | (11) 弔意 |
| (5) 祭礼 | (12) 葬儀 |
| (6) 仏像 | (13) 盆踊り |
| (7) 上映 | (14) 紋章 |

使い分けを確かめよう：写真は光を用いて像を記録したもの、絵画は線や色を使い人が表現した作品を指す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 写真は光を用いて像を記録したもの、絵画は線や色を使い人が表現した作品を指す。

用例：祭りを写真に撮る／風景を絵画にする

(2) ウ 映るは光や像が画面・水面などに現れること、写るは写真などに姿が記録されることを表しやすい。

用例：影が壁に映る／人が写真に写る

(3) ア 祭りは信仰や地域の行事を広く表し、儀式は決まった作法と順序で行う行為を表す。

用例：夏祭りに参加する／葬送の儀式

(4) ウ 妖怪は不思議な力をもつ多様な存在、幽霊は亡くなった人の霊が現れたものと考えられる。

用例：河童の妖怪／幽霊の話

(5) ウ A=映る、B=写る。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A=妖怪、B=幽霊。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 会社	(11) 埋葬
(2) 画面	(12) 太鼓
(3) 仏教	(13) 盆栽
(4) 写真	(14) 波紋
(5) 映画	(15) 舞台
(6) 真心	(16) ようかい
(7) 貿易	(17) そうりょ
(8) 鬼門	(18) こぶ
(9) 影響	(19) せいれい
(10) 弔辞	(20) びじゅつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 弔意 本文中では「弔意」と表されている。
- (2) 舞踊
- (3) エ 言葉や絵で様子を具体的に表すこと。
- (4) ア 確認できる事実と再構成した表現を区別し、創作しながら記憶への敬意を保つため。
- (5) 解答例 (46 字)

鬼が災害への恐れを表し、祭りには町を守る願いもあると聞き、信仰を単純化できないと考えたから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

写真や聞き取りで確かめた真実と、想像で再構成した部分を区別して示す。見た目の美しさだけを求めず、弔意や本人の言葉を尊重して美術へ表すことが大切である。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと